

赤心片々ト云ハ片々ナルハ皆赤心也一片兩片ニアラス片片ナル也

赤心トハアラハナル心ナリ解脱ノ心地也心ノ無邊際ナル道理一法究盡ノ理ヲ如此云也一片トモ兩片トモ難定只片々ナリ

荷葉團々似鏡菱角尖々尖似錐カ、ミニ似タリトイフトモ片々也錐ニ似タリトイフトモ片々也

是ハ荷葉ハ團々トシテマロニテ法界ヲ盡シ菱角ハ尖々トシテスルトニシテ法界ヲ盡ス心地也、不交餘法心地也、圓ナラハ盡十方圓菱角ナラハ盡界菱ナル儀ナリ、詞ハカハレトモ究盡ノ理ハ同カルヘシ、ユヘニカ、ミニ似タレトモ片々錐ニ似タレトモ片々トハ云也

古佛心ト云フハ昔僧アリテ大證國師ニトフイカニアラムカコレ古佛心トキニ國師イハク牆壁瓦礫シカアレハシルヘシ古佛心ハ牆壁瓦礫ニ非ス牆壁瓦礫ヲ古佛心ト云フニアラス古佛心ソレ如此學スル也

是又如常牆壁瓦礫ノ究盡スル時古佛心トイハシ古佛心ノ獨立スル時牆壁瓦礫トイハシト云心地也、是則一法獨立ノ姿ナリ

平常心ト云フハ此界他界トイハス平常心ナリ昔日ハコノ所ヨリサリ今日ハコノ所ヨ

リ來ル去トキハ漫天サリ來時ハ盡地キタルコレ平常心也(平常心トイフ詞ナリ)

實平常心ト云ハム時此界他界ト不可云此去來ノ詞不可同凡見ニ現成公按ニ盡十方界ヲ兩翼三翼トシテ飛去飛來ス盡十方界ヲ三足五足トシテ進歩退歩スルナリト云ヒシ程ノ來去也、盡地盡天トハ、非常天地以心漫天ト仕ヒ、以心盡地ト仕フ程ノ事也、此ノ上ノ去來進歩退歩如右心得ルナリ

平常心此屋裏ニ開門ス千門萬戶一時開閉ナルユヘニ平常也

平常ノ屋裏ニハ開門ノ道理アルヘシ、千門萬戶アルヘシ、開閉ノ道理モアルヘシ、是皆心ノ上ノ功德威儀ノアラハル、カト可心得

今此蓋天蓋地ハヲホヘサル詞ノ如シ噴地ノ一聲ノコトシ、

此蓋天蓋地ハ、全天全地ナルヘシ、蓋ハ盡界ナムト云程ノ義也、今如此イハル、詞、何ニアテ何ヲサシテ云トモ不被心得、噴地ノ一聲トハ、鼻ヲヒルヲ云也、是程ノ事也、此語等也、心等也、法等也、

法モ語モ心モ是程ノ義ヒトシト云心地也、皆此道理ナルヘシ、

壽行生滅ノ刹那ニ生滅スルアレトモ最後身ヨリサキハカツテシラスシラサレトモ發心スレハ必菩提ノ道ニス、ムナリ、

實我等ガ時々刻々ニ生ヨリ死ニウツサル、マテ刹那生滅スルスカタ、被轉モテユク
機惣不覺不知也、最後身外ハ不知之、シラサレトモ發心スレハ、菩提ノ道ニハス、ム也
不可疑、

ステニ此所アリサラニアヤシムヘキニアラスアヤシム事有スナハチ平常也、

是ハステニ此道理アリ、非可疑、タトヒアヤシム事アリトモ、此アヤシム心地則平常心
トナリ、

身學道ト云ハ身ニテ學道スル也、赤肉團ノ學道ナリ、身ハ學道ヨリキタリ、學道ヨリ來レ
ルハトモニ身也、

身ニテ學道スルトハ、此凡夫流轉ノ身心ヲ置テ、此上ニ法ヲ學道セムスルヤウニ可心
得非爾、此身カヤカテ學道ニテアルナリ、故如此イハル、也、赤肉團ノ學道也ト云ハ、是
ハアラハニカクレサル心ナリ、赤心片々ナムト云程ノ義ナリ、所詮身與學道ノ至テ親
切ニ、トリハナタルマシキ道理カ、身ハ學道ヨリキタリ、學道ヨリ來ルハトモニ身也ト
ハ被云也、

盡十方界是箇眞實人體也、生死去來眞實人體也、此身體ヲメクラシテ十惡ヲハナレ八戒
ヲタモチ三寶ニ歸依シテ捨家出家スル眞實ノ學道ナリ、コノユヘニ眞實人體ト云フ、

盡十方界眞實人體、生死去來眞實人體ノ様、奥ニ委被釋之、抑盡十方界眞實人體ノ上ニ、
身軀ヲメクラシ、十惡ヲハナレ八戒ヲ保テ、三寶ニ歸依シ、捨家出家セムスラム姿、イカ
ヤウナルヘキソ、尤モ不審也、但盡十方界ト談スル上ニ、受戒シ、十惡ヲハナレ三寶ニ歸
依シ、捨家出家スル殊甚深ノ功德、親切ノ理也、アシク心得テ、盡十方ナラムニハ、何ヲ不
行トモサテアリナム、徒ニ眠イタラム同事也、ナムト云邪見ヲヲコス、盡モ當時多歎、是
レ外道ノ邪見也、不可隨儀ナリ、且ハ非無其證釋、尊已王城ヲ出テ、難行苦行積功累德シ
御ス、迦葉一生之間、十二頭陀ヲ行シテ、暫モ休息セス、是ハ何ノ不足ニテ、如此身ヲクル
シメ給フ乎、尤可思合事也、只又默然シテ、徒ニ眠居タル様ニ、見ユル祖師先達ノ中ニモ
マ、アルカ、但其ハ如前云、只邪見ノ儀ニハ、天地懸隔スヘキナリ、能々可思惟、觀察事也、
又盡十方界眞實人體ノ理ヲ、ヤカテ八戒トモ、離惡トモ、歸依三寶トモ、乃至捨家出家ト
モ、心得ム更不可違理ナリ、●日來ハ以五蘊積聚迷身ヲ、禮佛シ轉經スレハ、滅罪生善シ、
乃至得佛果菩提トコソ心得タルニ、今ハ問訊禮拜燒香坐禪ノ姿カ、不待ニ盡十方界ノ
理ニテ、身心依正シカシナカラ、盡十方界ニ解脫セラレヌル貴事也、是等ノ道理ヲ見聞
スル也、無始曠劫ヨリ難聞カリツル理ヲ、今已アクマテ見聞觸知ス、可隨喜可歡喜、
百丈大智禪師云、若執本清淨本解脫、自是佛自是禪、道解者即屬自然外道、コレヲ閑家ノ破

具ニアラス學道ノ積功累徳也

此百丈ノ詞打任テハ佛道ニ不可遠様ニキコユ、但イカニモ若執本清淨ノ詞モ執ノ分、猶類凡見ニスヘシ、自是佛ノ自ヲモ、自他ノ自ニ心得ヌヘキユヘニ、是心地ヲ被嫌ナリ、閑家ノ破具ニアラストハ、此大智禪師ノ詞ヲ被讚嘆ナリ、イタツラナル家ノ具足ノ破タルニアラス、學道ノ積功累徳也ト被讚也。

踣跳シテ玲瓏八面也、脱落シテ如藤倚樹ナリ、

隱タル所ナキ姿ナリ、是解脱ノ詞ナリ、脱落シテ如藤倚樹モ、解脱ノ詞ニ仕也、打任テハ如藤倚樹ノ詞ヲハ、繫縛ノ心地ニ思ナラハシタリ、樹倒藤枯ヲ解脱ト心得、今ハ共ニ解脱ノ詞也、藤與樹更不可有各別儀、藤與樹與樹也。

或現此身得度而爲說法也、或見他身得度而爲說法也、或不現法身得度而爲說法也、或不現他身得度而爲說法也、乃至不爲說法ナリ……

或此身ヲ現ストハ、盡十方界眞實人躰ノ身ナリ、或現他身得度者而爲說法也トアルモ、盡十方界ノ他身也、ユヘニ自他各別ニアラサル道理アキラケシ、乃至不爲說法ト云、眞實人躰ノ人ヲサシテ、不爲說法トモイハル、ナリ、此說法ノ道理カ、不說法トモ被談ナリ、所詮理タニモ至極シヌレハ、何方ヘイイハル、ニモ聊モ詞ニ不被繫縛也、是ヲ解

脱ノ理トモ云ヒ、佛法トモ談也●依經解義三世佛怨ソ、文字ノ法師ノ見解ニ取ヘキ、離經一字如同魔說ソ、今ノ佛法ノ方ニ取ヘキカ●口業ノ能、上聖ノ下位ニカウフラシムル說法トハ、不可心得盡十方界ノ姿ヲ說法トトルユヘニ、

棄身スル所ニ揚聲止響スル事アリ捨命スル所ニ斷腸得髓スル事アリ、

此詞難心得、先盡十方界眞實人躰身ヲハ、棄不棄何様ナルヘキノ、揚聲止響ノ詞、又不當揚聲セハ不止響サルヘシ、止響セハ揚聲ハ可止ト覺ユ、不被心得、但今ノ道理ハ、盡十方界眞實人躰ナル所カ、揚聲止響ナルヘシ、盡十方界眞實人躰ト談スルソ、揚聲ニハアタルヘキ此道理カ止響トハ云ハル、ナリ揚聲ト響トヲ各別ニ置テアクルソ止ソト論スルニハアラス、捨命ト云モイツクニ、イカニト可捨乎、眞實人躰ト參學スルトコロカ捨命ニハアタルナリ、斷腸得髓モ捨命詞ニ被引寄、揚聲止響ノ理ニ不可違、以是等道理斷腸トモ、得髓トモ談也、

威音王ヨリサキニ發足學道スレトモナヲコレミツカラカ兒孫トシテ增長スル也、

威音王トハ、過去遠々ノサキヲ指歟、今ノ學道ノヤウ、前後遠近ヲ超越スルユヘニ、學道ナラス、時刻アルヘカラサルユヘニ、威音王ヨリサキニ、發足學道スレトモトハアルナリ、ミツカラカ兒孫ト也テ、增長スル也ト云ヘハ、逆ナルヤウニ聞ユ、其故ハ、ミツカラカ

兒孫トサス、自ラハ盡十方界眞實人躰ノ人也、然者威音王ヨリノ學道ハ、ミツカラコソ
兒孫トモ云ハレヌヘケレ、逆ナル様ナレトモ、覺道ノ理今始テ、非可驚過去七佛ハ我弟
子也ト、釋尊ハ被仰非可疑

盡十方世界ト云ハ十方面トモニ盡界也、東西南北四維上下ヲ十方ト云フカノ表裏縱橫
ノ究盡ナル時節ヲ思量スヘシ、

東西南北四維上下ヲフサテテ盡十方世界ト云ト思ヘリ、是ハ東ト云時モ盡十方世界
ナリ、西ヲ云時モ盡十方世界、南モ北モ以同前、四維上下モ同之、一方々々ニテ盡界ヲツ
クス也、故表裏縱橫ノ究盡ナル時節トハ云也

思量スルト云ハ、人躰ハタトヒ自他ニ罣礙セラルト云トモ盡十方也ト諦觀シ決定スル
ナリ……

人躰ハ自他ニ罣礙セラルレトモト云ハ、自他カ脱落ノ人躰ナル故ナリ、縱罣礙セラル
トモ、盡十方也ト諦觀スヘシト也、

方等界等ナルユヘニ、

盡十方ハ前ニ被釋之、今ハ方等界等トハ、盡十方ノ方ト界トヲ被說也、方モヒトシ、界モ
ヒトシト也、

人躰ハ四大五蘊也、大塵トモニ凡夫ノ究盡スル所ニアラス、聖者ノ參究スル所ナリ、
是ハ眞實人躰ノ人躰ヲ被釋ナリ、此四大五蘊モ、凡夫所具ノ四大五蘊ニアラス、故ニ聖
者ノ參究スル所ナリト云也、

又一塵ニ十方ヲ諦觀スヘシ十方ハ一塵ニ囊括スルニアラス、

一塵ハチイサク、十方ハ大ニヒロク思ナラハシタリ、一塵與十方、更廣狹多少ニカ、ハ
ルヘカラス、一塵則十方、十方則一塵ナリ、故十方ハ一塵ニ囊括スルニ非スト云ナリ、

或一塵ニ僧堂佛殿ヲ建立シ、或僧堂佛殿ニ盡界ヲ建立セリ……

一塵ニ僧堂佛殿ヲ建立シカタク、頗難信程ノ事也、但此一塵大小ノ論ヲ超越シヌル
上ハ、非可驚、ヤカテ僧堂佛殿ヲ一塵ト談スル上ハ、非可疑、此上ノ建立ナレハ、非造作義、
僧堂佛殿カ、ヤカテ建立ニテアルナリ、盡界ヲ指テ、建立ト可云歟、故ニ盡界ヲ建立セリ、
コレヨリ建立セリ、建立是ヨリナレリ、恁麼ノ道理、則盡十方界眞實人躰也トハ云ハル
、也、

界量ニアラサレハ、廣狹ニアラス、盡十方界ハ八萬四千ノ說法蘊也、八萬四千ノ三昧也、八
萬四千ノ陀羅尼也、八萬四千ノ說法蘊コレ轉法輪ナルカ、故ニ法輪ノ轉處ハ互時ナリ、互
界也、方域ナキニアラス、眞實人躰也、

今ノ盡十方界ノ様ニ、マコトニ界帯ニ非ス、然者又廣狹ニカ、ハルヘカラサル道理顯
 然ナリ、盡十方ハ只廣ク、無際源ト許心得タル程ニ、今ハ八萬四千說法蘊、已下皆是ヲ盡
 十方界也ト心得、轉法輪ト云モ、盡十方界也、ユヘニ法輪ノ轉處、亘時也、亘界也トアリ、界
 ニワタリ、時ニワタリテ、盡十方界也、方域ナキニアラス、眞實人躰也ト云ナリ、
 今ノ汝今ノ我盡十方界眞實人躰ナル人ナリコレヲ踰過スル事ナク學道スルナリ、
 今ノ汝今ノ我ト云、皆盡十方界ヲ指テ云フナリ、故眞實人躰ナル人也トハ云ナリ、是等
 ヲイタツラニ、スコサス學道セヨト也、

タトヒ三大阿僧祇劫十三大阿僧祇劫無量阿僧祇劫マデモ捨身受身シモテユクカナラ
 ス學道ノ時節ナル進步退歩學道也、

此捨身受身ノ詞、先々事舊了、盡十方界ノ上ノ捨身受身ハ、イカニトアルヘキソ、ヲホツ
 カナシ、但盡十方界眞實人躰ト談スル人ヲ、捨身受身ト云ヘハ、只此捨身受身ハ、盡十方
 界眞實人躰ニテアルナリ、岸ヨリ身ヲナケ虎ニ身ヲカイナムトスルヲ、捨身トハ、努々
 不可心得、此盡十方界ノ道理カ、三大阿僧祇劫乃至無量阿僧祇劫マテモ、學道ノ時節ナ
 ラヌ所アルヘカラス、故以今道理、進步トモ退歩トモ仕フ也、

禮拜問訊スル則勸止威儀也、枯木ヲ磨甃スシハラクノ間斷アラヌ、

禮拜問訊スル姿ヲ、勸止威儀トハ云也、此姿カ則學道也、枯木死灰ハ、二乘等カ見ニ不心
 得、外道ノ邪見ニヒトシムル事ナカレ、今ハ以枯木其理ヲアラハシ、死灰ヲ以テ盡十方
 界ノ道理ノ及所カシハラクモ間斷アラヌトハ云ハル、也、死灰トハサメタル灰ナリ、
 イタツラナル物ニ思ナラハシタリ、

曆日ハ短促也ト云ヘトモ、學道ハ幽遠也、捨家出家スル風流タトモ、蕭然也トモ、樵夫ニ混
 同スル事ナカレ、活計タトヒ、競頭ストモ、佃戸ニ一齊ナルニアラス、迷悟善惡ノ論ニ比ス
 ル事ナカレ、邪正眞僞ノ際ニト、ムル事ナカレ、

實日夜ノ光陰ハ程ナキニ似タレトモ、學道ハ幽遠ニシテ、短促ニカ、ハルヘカラス、捨
 家出家ノ姿、タトヒ蕭然ナリトモ、樵夫カ入山出山スル姿ニヲナシカルヘカラスト也、
 活計タトヒ、競頭ストモ、佃戸ニ一齊ナルニアラストハ、活計トハ、問訊禮拜坐禪辨道ノ
 姿ヲサスカ、佃戸ニヒトシムル事ナカレト也、佃戸トハ、イヤシキ民ノ事也、ユヘニ迷悟
 善惡ノ論ニ比スルコトナカレト也、

生死去來、眞實人躰ト云ハ、イハユル生死ハ、凡夫ノ流轉也ト云ヘトモ、大聖ノ所脫也、超凡
 越聖セム是ヲ眞實躰トスルノミニアラス、是ニ二種七種ノシナアレトモ、究盡スルニ面
 ヲ皆生死ナルユヘニ恐怖スヘキニアラス、

打任テハ、生死ト云ハ、凡夫ノ流轉トシテ、死此生彼スルトノミ思付タリ、是ヲ今ハ盡十方界眞實人跡ノ上ノ生死ハ、全機ノ生全機ノ死ナルユヘニ、大聖ノ所脱也トハ云ハル、也、此理カ又超凡越聖トモイハル、ナリ、又眞實人跡ノミニアラス、二種七種ノ生死シナシナナレトモ、盡十方界ト究盡スル時、面々トハ二種七種ノ生死ノ事也、皆全機ノ生死ナルユヘニ、恐怖スヘキ生死ニアラスト云也、

七種生死者、 分段生死、 變易生死是サ云ニ

流出生死迷心ノ始メ也 返出生死背妄初 因緣生死法性爲因無明爲緣

有後生死位屬等覺 無後生死妙覺位 此五ノ生死ヲ加テ、七種生死トハ云フ也

ユヘイカムトナレハ、イマタ生ヲステサレトモ、今已ニ死ヲミルイマタ死ヲステサレトモ、今已ニ生ヲミル生ハ死ヲ罣礙スルニアラス、死ハ生ヲ罣礙スルニアラス、生死トモニ凡夫ノ非可知、

未生ヲステサレトモ、今已ニ死ヲ見ルトハ、打任テ被心得ヌヘシ、未死ヲステサレトモ、今已ニ生ヲ見ルトハ、頗難心得然而此生カ死ニテアリ、此死カ生ニテアル道理カ、如此イハル、ナリ、生死カモトヨリ、二物對シテナキユエニ、全機ノ生カ死トモ云ハレ、全機ノ死ノウヘニ生トモ被云、理ヲ如此云也、生ハ死ヲ罣礙スルニ非ス、死ハ生ヲ罣礙スル

ニハ非ストハ、生ノ獨立ノ姿、死ノ獨立ノ姿ヲ、暫如此云也、前ニハ生カ死死カ生ナル道理ヲトカレ、今ハ生ハ生、死ハ死、一法ノ究盡スル理ヲ被明、面替タル様ナレトモ、只同心ナルヘシ、此等ノ義トモ、實凡夫ノ所談ニアラサルヘシ、

生ハ栢樹ノコトシ死ハ鐵漢ノ如シ、

此ハ生ハ生也、全機現ニテ、彼此相對セス、死ハ鐵漢ノ如シトハ、死ハ又全機ノ死ニテ如

生ヒトリカタタル死也、前ノ心地ヲニタヒ彼此ニヨセテ被釋歟、

栢樹ハタトヒ栢樹ニ礙セラルトモ、生ハ未死ニ礙セラレサルカユヘニ學道也、

是ハ生死ト栢樹ト鐵漢トノ詞ノ替タルニテ、コソアレ、只前ノ生死ノ所談ノアワヒナ

リ

生ハ一枚ニアラス、死ハ兩足ニアラス、死ノ生ニ相對スルナシ、生ノ死ニ相待スルナシ

生ハ一枚ニ非ストハ、不拘一多、一枚トモ、二枚トモイハルヘカラサル儀也、死ハ兩足ニ

アラスト云モ、一枚二枚程心也、

圓悟禪師曰、生也、全機現死也、全機現、闔塞大虛空、赤心常片々……

生死ノ沙汰ヲ上ニ被舉ニ付テ、今生死ヲ被說、圓悟ノ詞ヲ此次ニ被舉也、全生全死此詞

ニ聞エタリ、片々トハ、一トトウリト云フ也、

圓悟禪師カツテ恁麼云ト云ヘトモ、猶未生死ノ全機ニアマレル事ヲ不知去來ヲ參學スルニ去ニ生死アリ來ニ生死アリ生ニ去來アリ死ニ去來アリ、

圓悟ハ、只生也全機現死也全機現ノ詞斗聞ユ、生死去來眞實人躰ノ詞ノ、去來ヲイヘル詞ナキ所ヲ、如此被舉也、サレハトテ圓悟ノ理ノ上ニ、此詞ノナカルヘキニアラス、圓悟ノ詞ノ理ノヒ、ク所ニカ、ル詞モイテクル也、六祖、イヒノコス事アリナムト云テ、多詞ヲ被舉、是ニ不限、イクラモカ、ル事ハ所々ニ有也、圓悟ヲ被下義トハ不可心得此道理ハ、去ニ生死有トハ、去ノ上ニ生死ヲ可談、ソノユヘハ、去ヲ生ト談シ、死ト談也、來又同之、又以此理生ニモ去來ヲ談シ、死ヲモ去來ト談スルニ不可有相違、打チカヘタル様ナレトモ、只同理ナルヘシ、

去來ハ盡十方界ヲ兩翼三翼トシテ飛去飛來シ盡十方界ヲ三足五足トシテ進歩退歩スル也、

是又不可有別子細、盡十方界ノ道理千變萬化スル時、如此ノ理現前スル也、生死ヲ頭尾トシテ盡十方界眞實人躰ハヨク翻身回腦スル也、

盡十方界眞實人躰ノ人ハ、生死ヲシリトシカシラトシテ翻身回腦スト云ハ、只カシラニ成、尾ニナリテトカク振舞心地也、コレモ只生死ノ邊際ナキ道理ナリ、身ヲ翻ヘシ、腦

ヲメクラストハ、此生死カ内外中間ニカ、ハラストカク此理ノヲヨハサル所ナキ道理ヲ述也、

翻身回腦スルニ如一錢大也似微塵裏也平坦々地ソレ壁立千仞ナリ……

如一錢大何事ソヤト覺エタレトモ、似微塵ニ對シテ、微塵ハチイサク、錢大ト云ヘハ大ナル所ヲ、暫對セラレタリ、平坦々地壁立千仞トハ、ヒラク、ヒキ、ヲ、平坦々地トイヒ、高ク千尺懸崖ナムト云程ノ心地タカキ也、所詮大小高下共ニ、皆盡十方界ト談スル上ハ、是等ニト、コヲラヌ心ナリ、

コノユヘニ南洲北洲ノ面目アリ是ヲ檢シテ學道ス非想非々想ノ骨髓アリ是ヲ杭シテ學道スルノミ也、

南洲北洲ノ面目ト云モ、盡十方界眞實人體ナルヘシ、非想非々想ノ骨髓也トモ、同ク眞實人體ナルヘシトナリ、面目骨髓ノ詞ハ眞實人體ト云、人ニ付テタヨリアル詞ナル故ニ、被出之歟、

▲今ノ身心學道ハ身心ヲヨク學セヨト心得ルナリ身ヲ持テ學シ心ヲモテ學セヨトニハアラス▲身心ヲタツヌルニハ、天台止觀ニアカス、身ノ威儀ト云ハ、常行三昧、常坐三昧、半行半坐三昧、(觀法ニハ坐ハ今ノ)非行非坐三昧等也、意ノ止觀ト云心ニツク、戒ニモ

身口意ヲツクルニ貪瞋痴ハ意ニツクル也▲不道ヲ擬スルニトハ其事ニヲモフク儀也未一定時刻也▲佛道ニハ先不ノ字ヲ心得ル事不似世間不得不知不會ナムト云フヤカテ悟道ノ詞ニ取有無ヲモ有念無念ヲタツルニ無念ヲマサルトス有學無學ノ聖者ヲ立ニモ無學ハマサルヘシト見タリシカラハ今ノ不道モ不得モ不學モ轉遠モ佛法ノ方ニトル心地モアリヌヘケレトモコヽニハ其儀ナシタヽイハサラムハエサル也學セサレハ轉遠ナルヘシステニ大慧禪師ノ詞ニモ修證ハナキニ非ストアリ又佛道ヲ學セサレハ外道闡提ノ道ニ墮在ストアルユヘニ▲佛道ハ言語ニカヽハラス詞ニイハレムハ不可佛道ナムト云邪解ノ盡世間ニ多シ此義不可然佛法ノ詞ヲ知ラサラム人ハ不可云知レラム人ハイハテスクヘカラス理ヲ得レハ必イハルヽ也不得ナラムハ誠ニイハルヘカラス故ニ不道ヲ撥スルニ不得也ト云フ不學又以同前也多聞廣學無詮只一句ヲ了達セムニハ不如シト云聲アリ實一句ヲアキラメム上ハ廣學ナニニカセム且有先蹤六祖傳法シ神秀ハ不得但是等ノ意旨難知廣學多學ニテ夕ニ不被知佛道ヲ一句ニ了達セム事甚不可有謂ソノユヘニ日來ノ百不當今ノ一當トナルトキハ百一當不當不可別▲赤心片々トハアラハナル心地也三界唯心トモ一心トモ學得シヌレハナニノヘタツル所カアラム何ノサハリカアラム故ニ赤心片々ト仕フ

也古佛心也ト云赤心片々ナル也平常心ト云コレ三界一心トク同事也我等カ平常ニハアラス放下拈舉ト云只徒ニハナチクタクセ取リアクナムト云ニアラス思量ニシテ學道ス不思量ニシテ學道スト云程ノ事也身ヲ以テ學シ心ヲ以テ學スト云程ノ放下拈舉也▲拈舉ト云ハ見成公按ニ諸法佛法ナル時節トテ迷悟修行生死諸佛衆生ヲアリアリトトカルヽニアタルヘシ放下トイハムモ又見成公按ニ萬法モトヨリワレニ非ル時節迷ナク悟ナク諸佛ナク衆生ナク生ナク滅ナシトイフニアタルヘシ▲眼睛ニ團シ業識ニ弄ストハ心ヲ三界ト云フ此上眼モ業識モ心ホトナルヘシハ眼睛ヲモ業識ヲモ佛法ノ上ニテ團シ弄也二三解千萬端ト云モ世間ノ員ニ不可數佛性ヲ真如ソ實相ソナムト談スルヲ二三解トモ千萬端トモ云也▲有功ニ賞來リ有賞ニ功未至ト云事功ニヨリテ蒙賞事世間禮也佛道ニハ先有無ヨリ始テ其見不似世間詞ユヘニ功與賞能所各別ニヲカス盡界ヲ功トモ賞トモ可仕▲盡界カ功ナラム時ナニヲカ賞ニハカウフルヘキ功賞ヒトツト云故ニ不待作佛坐禪ナルヘシ不待作佛坐禪ハ功ノミアリテ無賞ト可云歟然而是ハ猶功與賞ニニ心得シ時ノ才學相殘ルニ似タリ有賞ニ功未至トモヒソカニ佛祖ノ鼻孔ヲカリテト云フハ可借用人ナケレトモカクイハル所詮無邊際心也一切衆生悉有佛性トモ欲知佛性義トモ云カヤカテ有賞ニ功

未至ルニテ有也。▲一切衆生有佛性(有實有功)一切衆生無佛性(有實無功)有賞ノ有ハ、有佛性ノ有ナルヘシ。功未至レトモトイフイタリハ若至不至既至ナルヘシ。▲佛祖鼻孔ヲカリテ出氣スト云ハ、一心ヲ以テ出氣シ、三界ヲ拈シテ、印證ストイフタケニ可心得也。▲諸類ノ所見不同、恁麼ナルカニヘニ、一心ノ所見コレ一齊ナル也ト云フハ、各々ノ義アレトモ、一心ノ所見ハタ、一也ト心得ヘシ、一心ノ所見トハ、心學道也、一齊トハヤカテ、一心コレ一齊、一齊トハヤカテ一心是一心ナル一齊也、他物ニヒトシムルニアラス、▲所詮三界唯一心、心外無別法ナル所ヲ、一心ノ所見トサス故ニ一齊ト云也。諸類ノ所見ヲナシカラスト云、マテハ、三界ノ見ヲアケラル、ナリ、一心ノ所見コレ一齊ナルナリト云、解脱也。▲生時ハ一點ヲ増スルカ、増セサルカ、死ニハ一塵ノ去カサラサルカノ詞ハ、此増減ハ何ト一方ニ可取所ナキ事ヲ如此云也、一心ノ所見一齊也ト云程ノ事也、是等已ニ心也ト、擧テ内外也トヤセム、去來也トヤセムト云ツル時ニ、生死カ増減ニカ、ハルマシキコト、内外去來ノ法ニカ、ハラサル程也。▲知家非家、捨家出家ノ學道ト云ハ、三界唯一心ト體脫スルカ、知家非家ニテアル也、是ハ必心ノ學道ニ可取ニモアラス、身學道ニモ通スヘシ。▲鼻祖鼻末ニアマル、向上向下ニアマルトハ、スヘテ量ニカ、ハラサル所ヲアマルト任フ、七尺八尺モ非世間ノ丈數。▲投機アリ、爲自爲他也

ト云フ、投機ト云ハ、機ニ入ト也、是ハ機ニ他カ入トコソ聞レトモ、爲自ト云フ詞出キスレハ、自他各別トハ心得マシ、全機ナルヘシ、佛々要機、祖々機要トキク上ハ機ニ不可迷▲牆壁瓦礫コレ心ナリサラニ三界唯心ニ非ス、法界唯心ニアラス、牆壁瓦礫也ト云此條尤難心得、牆壁瓦礫ヲモ心トトク、三界ヲモ唯心トトク、只一ナル様ニ聞ユルヲ、今ハ又三界唯心ニアラスト嫌テハ、又牆壁瓦礫也ト落居スル事、不審也、但三界唯心ニアラス、法界唯心ニアラスト云心地ハ、三界ヲ法界ソナムト云事廣博也、牆壁ハ其内ノ一法ナレハ、唯心ノ内ニコモルト心得ヌヘキ所ヲアラス非ストアケテサスカ、又牆壁瓦礫古佛心ト云事アレハ、カヘシテ牆壁瓦礫也ト云、是コソ親切ナレト云義アルヘシ、又佛心カ今ノ牆壁瓦礫ト云ハル、タケハ、三界ヲモ脱落シ、法界ヲモ透脫スヘキユヘニヒトシメスシテ、法界ニモ非ス、三界ニモ非スト云テ、牆壁瓦礫ト、令獨立道理アルヘキ也、▲無繩自縛トハ、シハルト云時ハ、尤繩アルヘキ所ニ、今ハ無繩トツカフ、是ハ心モ仕ヒ、カキカヘトモ仕ニ、又云具スヘキモノナキ所ヲ無繩ト云タ、シハル許也、▲玉ヲヒクチカラアリトイフ、壁ハ玉ヲカクストイフコトアリ、其因縁ナリ、水ニ入能トイフ(滯心也、壁ニツ)トクル日アリト云、解説ノ心地也。▲露柱ハ同參セス、燈籠ト交肩セストハ、牆壁ヲ心トトク時、又無別法、ユヘニアラハナル所ヲ、露柱トモ説ク、露柱ハアラハニシテ

カクレヌ也。牆ニモ壁ニモツカスアラハニ出タル柱ヲ露柱ト云、ユヘニ同參セスト云、燈籠又ヲナシ、三界唯燈籠ナルヘシ、燈籠ハツリサケテ、モノニソハスカクレヌ物也、▲無門コレ四面ヲ學セシムト云ハ、所詮此無門無際限ナキ所ヲ無門ト云、不及出入四面ト云ヲハ、ヤカテ無門ト可心得、▲所ヲマツニアラサレトモ、發心ノ所ニサエラレサルアリト云フ、アラサレトモト云テ、サヘラレサルアリト云、詞ノ相應セヌ様ニ、一旦聞ユレトモ、惣テ此發菩提心カ、生死涅槃、又生死涅槃ノ外スヘテ不得所ナクレハ、マツニアラス、又サエラレサルナリ、別ノ義ナシ、▲報地ニヨリテ緣起スルニ非ト云、報地ハ我等カ果報ノ土也、非佛土、又佛土ヲ報土ト云モ、修因感果ノ地ナリ、▲天有情ト云ハ、天上ノ有情也、此サタメテト云、詞不審也、天上ノ有情スヘテ發菩提心ト云事ノアルマシト、諸教ニサタメヲキタルヲ、今此事ウヘカラサルニ非ス得ル事モアルヘキ也ト云様ニ聞ユ非爾、タ、マサニ時節トトモニ、發菩提心スル也、依ニカ、ハラサルユヘニ、發菩提心ノ正當恁麼時ニハ、法界悉發菩提心也ト云、天有情モ發菩提心ナリト心得ヘシ、得不得ノアルヘキニアラス、▲古佛心トソカヘシテ云ハムモ、猶似有能所、タ、親切ニ、牆壁瓦礫ト、ハカリイフヘキ也、大證國師ノ▲敎家ニハ廻身向大ト云、詞ヲハ、エツカハスソノユヘハ、イカニモ見解ヲ心ニ置クユヘナリ、▲揚聲止響事、可思合事アリ、ヨフニ響カヌ

谷ト云、コレコソ揚聲止響ナレ、見成公按、聲聽取スルソ、色ヲ見取スルソトアル、取ノ字ハ、所詮聲ヲモキカス、色ヲモ不見ソ詮ニテアルナリ、不見名如來トモ云フ、陰陽ノ外ノ地ト云事アリ、三界唯一心トモ、盡十方界眞實人跡トモ云コレナリ、無限ト云フ、庭前柏樹歟、又草木國土悉皆成佛トイフトキ、根ノ有無アルヘシヤ、▲此一塵トハ、色聲香味觸ノ五塵一ヲアケテ、一塵トイフ、イタツラナルチリニハアラス、眞實人跡ノユヘニ、諦觀スル也、▲此亘時亘界眞實人跡ヲ、ヤカテ方域ト云ハル、也、世間ノ方域際限ヲサスニ非ス、▲枯木ヲ畫圖シ、死灰ヲ磨瓶スト云、畫圖ト云、詞、喩ヘハ、花サクト云程ノ詞也、二乗ノ成佛ハ、枯タル木ニ花サク程ノ事也、磨瓶ハ、アタ、カナル肉ト死灰ヲ鉢脱スル也、磨瓶ノ所ニ、作鏡ノ道理アラハル、カ如シ、畫圖ト云事、此宗門ノ詞ニ仕習タリ、三世ノ諸佛ヲ圖トモ仕フ、其ノ故ハ、畫圖トハ、諸法ノ姿ヲウツスヲ畫圖ト云、入畫圖ナムト仕モ此心ナルヘシ、諸相佛鉢ニアラサルナシ、磨瓶作鏡ナムト云事モトキテ、後鏡トナルニアラス、ヤガテ磨瓶ノ所ニ作鏡ハ、有トコソ前ニモ沙汰スル時ニ、今モ此心也、欲知ノ所ヲ佛性トモイフ、菩提心ヲ發トサス程ノ義ナリ、▲生死去來眞實人跡、恐怖スヘキニアラスト云、恐怖セストハ、全機ノ生死ト也、生モ全、死モ全ナルニハ、イツレカ何ヲ恐ルヘキソ、又今生ノ生、ツクル様ナレトモ、又生ニコソウツレハ、ツキノ生ニウツル、ナニ

カハ恐ルヘキ此生ヨリモヨキ生ニモウツルヘシ佛ハ摩耶夫人ウミタテマツル七日
 アリテ死ス善子ナレトモ母ノ爲ハ惡子トモイヒヌヘシ死スル故ニ但ヤカテ切利天
 ニ生スルトキニ此界ニアリツルヨリモマサレハ摩耶夫人ノ爲モフロシト難云佛モ
 孝子ナルヘシ恐怖スヘキニアラス是佛法ノ生死事ヲ非云暫世間ニ付テノ事也▲柏
 樹鐵漢ノ如シト云是ヲコヽニ可謂ニモナケレトモ是ハ柏樹ト鐵漢トヲ相對シテ如
 シト非云只柏樹ノ全機鐵漢ノ全機ナリ是ヲ如シト云也

身心學道終

即心是佛 第五

佛々祖々イマタマヌカレス保任シキタレルハ即心是佛ノミ也シカアルヲ西天ニハ即
 心是佛ナシ震且ニハシメテキケリ學者多クアヤマルニヨリテ將錯就錯セス將錯就錯
 セサルユヘニ多外道ニ零落ス

此即心是佛ノ詞ヲ打任テ心得タルニハ此意識ノ心ヲ指テ是則佛也ト云様ニ心得タ
 リ又佛々祖々ハ此即心是佛ヲ保任スルト云ヘハ即心是佛ノ道理ヲ佛々祖々ハ參學
 シ給人ト聞ユ何モ不當ナリ又即心是佛ト云即ノ字ハ只詞是佛ト云是モ佛ヲ差シテ
 云ハム料ト聞エタリ非爾此即心是佛ノ即モ心モ是モ佛モヲノヲノ究盡スル道理奥
 ニ委見タリ西天ニハ梵語也此詞未聞震且ニ始テキケリトハ馬祖大寂禪師諸ノ雲水
 等ヲ指示スル詞ニハ即心是佛ト云ヘリ是ヲ差テ震且ニ始テ聞リトハアル也但是モ
 一筋ニカク許モ不可思即心是佛ノ道理西天ニハナクテ震且ニ有トモ難心得即心是
 佛何トシテカ所ヲワカタム遠磨不來東土二祖不往西天ト云シニテ可心得合也將錯
 就錯トハ打任テハアヤマリト云詞ニツキテハアシクナリタルヤウニ心得ヘキニ此
 アヤマリハ解脫詞也實ニモ佛ヲ誰人カナニトアヤマルヘキノイハ今ノ即心是佛

ノ理カ將錯就錯トハ云ハルヘキ歟エヘニ將錯就錯セサルエヘニ多外道ニ零落スト云也然者凡夫ノ思ナラハシタルアヤマリニ非サル道理顯然也
イハユル即心ノ話ヲキ、テ癡人思ハクハ衆生ノ慮知念覺ノ未發菩提心ナルヲスナハチ佛トスト思ヘリ是ハカツテ正師ニアハサルニヨリテ也……

是ハ又無別子細如文可心得也見解ノアシキヲ被嫌ナリ●西天竺國ニ外道アリ先尼トナスクトテ彼見ヲ被舉如文可心得此見實ニ能々知テ不可隨義ナリ依事多外道見畧也

大唐國大證國師慧忠和尚問僧從何方來僧曰南方來師曰南方有何知識僧曰知識頗多師曰如何示人僧云彼方知識直下示學人即心是佛佛是覺義……

依事多略之所詮今ノ南方知識ノ見解同外道見間被嫌也如文壇經トハ六祖壇經トテアリ彼經文ヲ改カヘテ削除聖意惑亂後徒文以外事也

大證國師ハ會稽古佛ノ上足也天上人間ノ大善知識也……

是ハ國師ヲ被讚嘆詞也實ニモ帝釋ノ請ニ趣テ切利天ニテ說法シ給シ程ノ祖師也故ニ國師ノ示ス宗旨ヲアキラメテ參學ノ龜鏡トスヘシトハ被讚也

近代ハ大宋國ニ諸山ノ主人トアルヤカラ國師ノ如クナルハ不可有……

此後ハ一向國師讚嘆詞如文

イハユル佛祖ノ保任スル即心是佛ハ外道二乘ノユメニモ見所ニアラス唯佛祖與佛祖ノミ即心是佛シキタリ究盡シキタル問著アリ行取アリ證著アリ

問著行取證著ト云モ即心是佛ノ上ノ詞也

佛百草ヲ拈却シキタリ打失シ來シカアレトモ丈六ノ金身ニ說似セス即公接アリ現成ヲ相待セス敗壞ヲ廻避セス是三界アリ退出ニアラス唯心ニアラス心牆壁アリイマタ泥水セスイマタ造作セス

又即心是佛ヲ打返シテ佛即是心ヲ被釋ニ付テ先佛ヲ被釋ニ佛百草ヲ拈却シキタリ打失シ來シ然而丈六ノ金身ニ說似セス文是ハ百草ヲ拈シテ丈六ノ金身ヲ見ト云詞アリ今ハ此百草則佛ナルユヘニ佛百草ト被舉是ハ本ノ詞ヲチカヘテ丈六ニ說似セシ佛百草ハ佛百草ニテ獨立セムトナリ又即公接アリ見成ヲ相待セス敗壞ヲ廻避セス云云佛百草ニ同心ナリ又是三界アリ退出ニアラス唯心ニアラス云云是モ三界ノスル道理暫退出ニアラス唯心ニアラストイハル前ニ佛即是心トアルヲ一ニ被釋也●佛百草ノ詞ハ佛也即公接アリト云ハ即也是三界アリト云ハ是也心牆壁アリト云ハ心也此即是ノ二字ハ詞トコソ聞ユレ然而即ヲ公接トシ三界ヲ是ト談也三界唯心

ト談スル故、三界ハ三界ニテ、唯心ノ詞ヲ加ヘシト也。三界獨立義也、心牆壁アリ、未泥水セス未造作云云、是モ只佛即是同心ナルヘシ、牆壁瓦礫ノ詞ニ付テ、泥水造作ナムト云タヨリアル詞ハイテクル也、是等皆解脫ノ上ノ理也。

アルイハ即心是佛ヲ參究シ心即是佛ヲ參究シ佛即是心ヲ參究シ即心佛是ヲ參究シ是佛心即ヲ參究ス如此ノ參究マサシク即心是佛コレヲ舉シテ即心是佛ニ正傳スル也如此正傳シテ今日ニイタレリ。

トカク入チカヘテ談スレトモ、只即心是佛究盡ノ道理ノミナリ、ユヘニ即心是佛是ヲ舉シテ即心是佛ニ正傳スルナリトハ被決ナリ。

イハユル正傳シ來レル心ト云ハ一心一切法一切法一心ナリ。

即心是佛カ即心是佛ニ正傳スル也、其心ノ姿ハイカナルソト云ヘハ、一心カ一切法ニテアル也、一切法カ一心ニテアル也、只一物ヲトカクイハル、也、法ノ甚深ナル時ハ、如此云ハル至テ親切ナル理也、猶ソレカカレトイヘハ、相對シタル心地モアリヌヘシ非爾、只一法ノ究盡スル理、如此イハル。

古人云若人識得心大地無寸土シルヘシ心ヲ識得スル時蓋天撲落シ匝地裂破ス或心ヲ識得スレハ大地アツサ三寸ヲマス。

心ヲ究盡スル時節ニハ、大地無寸土ト云ハル心ノ心タル時節蓋天撲落シ匝地裂破スル也、其故ハ心ノ一法カ獨立スル姿カ、撲落シ裂破スル也、全心ノ外ニ又物ノ交ハルヘキカナキ道理ナリ、不齊肩義也、或心ヲ識得スレハ大地アツサ三寸ヲマストハ、心ノ究盡スル時ハ、心ノ外ニ齊肩スヘキ物ナケレハ、蓋天撲落シ匝地裂破スト云ハル、山河等ヲ心トトク時アツサ三寸ヲマス、ト暫云也、數ノ局量ニト、マルヘカラス、又無増減儀也。

古德酒仰父子云作麼生是妙淨明心山河大地日月星辰アキラカニシリヌ心トハ山河大地ナリ日月星辰也シカアレトモ、コノ道取スル所ス、メハ不足アリシリソクレハアマレリ山河大地心トハ山河大地ノミナリサラニ波浪ナシ風煙ナシ……

即心是佛ノ心トイハ、イカナルソ、是妙淨明心也云云、自問自答歟、誠即心是佛ノ心、不染汚ノ心ナレハ、妙淨明心ナル條非可疑、所詮此心ハ山河大地、日月星辰ナリヌ、メハ不足アリ、シリソクレハアマレリト云ハ、妙淨明心ハ暫アマレリトキコユ、山河大地日月星辰ハ、不足トキコユ、心ノ詞ナキユヘニト云義モアリヌヘシ、又山河大地心ノ詞ハ、アマレルニニタリ、山河大地ノ詞ハ不足ニニタリ、心詞ナキユヘニ、然而此アマリ不足ノ詞、努々非凡見詞、只落居スル所以妙淨明心アマルトモ、不足トモ談也、然者妙淨明心ノ

外餘物不可交道理也、自餘ノ迷ナシ悟ナシ馬ナシ猿ナシナムト云詞皆アルヘシ、波浪ナシ風煙ナシノ詞ハ、只山河大地ノトキハ、山河大地ノミナリ、風煙トモ波浪トモ云ハシノ心地ナリ、是一法究盡ノ時、餘法ヨセツケス獨立スル義也、已下皆同心也、其詞ニ付テ、其タヨリアル詞ヲナシナシトハイハル、也、ユヘニ即心是佛、不染汚ノ即心是佛ナリ、諸佛不染汚ノ諸佛也ト被釋也。

即心是佛トハ發心修行菩提涅槃ノ諸佛ナリイマタ發心修行菩提涅槃セサルハ即心是佛ニアラス、

是ハ打任テ、發心修行菩提涅槃ハ、人ノ上ノ作業ナリ、即心是佛ト云コソ、速疾ノ解脱ナレ、長却ノ修行更ニ即心是佛ノ義アラスト思所ヲ如此被釋也、是ハ發心修行菩提涅槃ヲ打任タルヤウニ、發心シテ修行ス、修行スレハ菩提ヲエテ後、入涅槃スルト思ナラハシタル時ノ疑也、發心モ修行モ、菩提モ涅槃モ、不染汚ノ發心、不染汚ノ修行、不染汚ノ菩提、不染汚ノ涅槃ト談スル時ハ、今ノ即心是佛ト聊モ不違、皆解脱ノ發心修行菩提涅槃ナルヘシ

タトヒ一刹那ニ發心修證スルモ即心是佛ナリタトヒ一極微中ニ發心修證スルモ即心是佛也、タトヒ無量劫ニ發心修證スルモ即心是佛也……シカアルヲ長却ニ修行作佛ス

ルハ即心是佛ニアラストイフハ即心是佛ヲイマタミサル也……

是等如文可心得、實ニ即心是佛ノ上ニ、時刻ノ長短廣狹、多少ノ義アルヘカラス、尤有謂事也、長劫ニ修行作佛スルハ、即心是佛ニ非ト云ハ、已前ニ所出也、發心修行ヲアシク心得テ、長劫ノ修行トナツケ、即心是佛ヲハ頓極頓證ノ法ト心得ル所ノ邪見ヲ、不知即心是佛、正師ニアハストハ被嫌也、如前云

イハユル諸佛トハ釋迦牟尼佛也、釋迦牟尼佛是即心是佛也、過去現在未來ノ諸佛トモニ佛ト成時ハカナラス釋迦牟尼佛ト成也、是即心是佛也、

多カル諸佛菩薩ノ中ニ、今釋尊一佛ヲ取出シテ、如此イハル、何事哉ト不審也、但先一代ノ教主也、暫是ヲ爲本、不可有不審、但釋迦一佛ヲイハトテ、餘佛此外ニアマリノコリテウラムヘキニアラス、假令毘婆尸佛乃至迦葉佛トナルナリト云ハムモ、更不可違佛法ノ道理、一佛ヲトクトキ、諸佛悉一佛ニ成也、如此云ハトテ、物一ツヲ置テ、皆是ニアツマル様ニハ不可心得、一カヤカテ一ニテ有道理ナルヘシ

▲即ヲ以テ佛ト仕ヒ以是佛ト仕フ、即心即佛ト云トキ、是ノ字カケタレハトテ、不足ナル事ナシ、即ト心ト是ト佛ト只同シ程ノ義也、字也衆生慮知念覺ノ心ヲ即ト云ニアラス、三界唯心ノ一心ナリ、即也三界ヲ三界トトク也、即心是佛ノ四字ハ、只一字也、一心一

切法一切法一心ホトノ事也。▲何度聞トキモ、即心是佛ナムト云ヘハ、心ノ字ト佛ノ字トカ、本躰ナル心地ス、是迷也。佛性ヲ沙汰ノ時、一切衆生悉有佛性ト云、佛ノ言ヲトキシ時ハ、悉有佛性ソトコソ心得シカ、今ノ即ト是ト同事也。即ト云字、是ト云字佛ト仕ハムヨリモヒロカルヘシ、十如是ヲ經ニトク時ハ、相性躰力ニ、皆如是具足ス、今ノ即ヲ相性躰力ニツケテ云ヘシ、都心ソ佛ソカ大切ノ儀ナキナリ。▲佛々祖々、未マヌカレス、保任シ來、震旦ニハシメテキケリト云、西天ニ即心是佛ナカラムニハ、佛々祖々争カ保任セム又保任セサル佛祖アルヘカラス、佛祖ナクハ、震旦ニモツタフヘカラス、首尾不相應ニ聞ユ然而ヲクニ佛祖ノ保任スル即心是佛ハ、外道二乗ノユメニモ不見所ニ非ス、唯佛祖ノミ、即心是佛シ來リ、究盡シ來、聞著アリト云、是ヲ佛々祖々保任シ來トモ云フ、震旦ニ始テ聞リトモ云、心地ハ佛祖始テ東土ニイツトモイハムカ如シ、詮ハ西天ノ無也、震旦ノ初聞ハ是佛也トモ心得ヘシ、コヽニハ達磨不來東土、二祖不往西天ノ詞ヲモ、ハ即心釋迦未成佛、彌勒已成佛スト云詞ヲモ心得合スヘシ、拂子ヲアケテ、西天ノミニアラス、震旦ニモナシト答セシ心地モアルナリ、西天ニハ即心是佛ノ詞無ト云ヘハトテ、劣也ト云ニ非ス、即心即佛ト西天ニ云來ユヘニ、教ニモ此義ヲ談シフルス、即心是佛ハ未諸教ノ辨スル所ニアラス、是ヲ西天ニハ無ト云フ、我宗門ニ談シ來許也、別ニ即ノ

字ト是ノ字ト、差別勝劣ノ義ニハアラサルヘシ、▲學者多アヤマルニヨリテ、將錯就錯セス、故ニ外道ニ零落スト云フ、(コノ將錯就錯トハ、即心是佛ニ正傳スル)▲知非隱非ハ是失也、知非耻非是得ナリト云、俗ノ詞ナリ、以我爲本ハ外道ノ見ナリ、コノ錯ノ字心得ヘキ様、非一世間ニ錯ト云事ヲ錯トシル是解脱也、ユヘニアヤマリヲモテアヤマリニツクト云、此心地ヲモテ將錯就錯セス、ユヘニ外道ニ落ト云、即心是佛ニ正傳スト云詞アリ、此將錯就錯ニアタルヘシ、上ニ正見ヲ談スルヲ、錯ヲ以テ就錯ト云フカタモアリ、但是ハ猶世間ノ詞ニ似タリ、只將錯就錯ヲハ、唯佛與佛ト可心得、即心是佛ト心得ヘシ、即心即佛ト可心得、▲大唐國大證國師慧忠和尚段、極頭頭知、極脚脚知トイフハ、以其物知其事ト云程ノ事ニ仕フ也、此極ノ字ハ手カキ足カキト釋スルカ如何、南方ト云ハ、今ノ六祖ノ流也、北地トハ神秀上座ノ流也、(北地ノ事ハ此草子胎息觀達磨宗ニ談之、秘藏事云云、但未聞其人又行此法無證也、▲把他壇經、改換ト云、此壇經ト云ハ、六祖壇經事也、添糝鄙譚ト云ハ、是ハイヤシクワログナストイフナリ、言教トイフハ、削除聖意、惑亂後徒、教トハイヒカタシト也、ユヘニ豈成言教ト云フ、淨名不應云ト云、是ハ淨名居士ノ詞ニ、法ハ離見聞覺知、若行見聞覺知、是則見聞覺知、非求法也トアリ、此事ヲ明ス也、▲佛百草ヲ拈却シ來、說似セスト云ハ、拈却トハ無別子細トル也、打失ハウシナウ也、今ハ佛百草ト云ツ

ルトキニ能所ニモアラス、此百草ヲハ取モセス、失セムトニモアラス、コノユヘヲ説似
 セストトク、▲即公按アリ、見成ヲ相對セス、敗壞ヲ廻避セスト云、公按ト云事モ、心得ル
 方方アリ、喩ヘハ公ヲ公界ニテ、何ニテモアレ、是ハ何ナル事ソト云ト心得、按ヲハ學者
 ニテサキニイヒツル、公界ノ不審ヲアムシイタス義也、如此云ヘハ、按ハ未見成ノ時刻
 ナルヘキ歟、而今ノ正法眼藏ノ第一ノ名目ニ見成公按ト名ク、見成ノ所ニ公按アリ、公
 按ノ所ニ見成ハアラハルヘシ、是等ハ大方ノ事也、今即公按ト云別ニ見成ヲ相待セス
 敗壞ヲモ廻避セス、見成ノ道理ヲ具ストモ不足トモイフ沙汰ナシク、即心是佛ノ即
 ノ字ハカリヲトル也、▲一心一切法、一切法一心ト云、即心是佛ノ如此イハル、ナリ、天
 台ナムトニハ此一心一切法、一切法一心ト云事、只是豎横義也、豎横共ニ不可也ト嫌ヘ
 ハ、イマノ草子ノキハ、天台ニ所捨ニ似タリ、然而豎横ヲ立テ、共ニ不可也ト嫌ハ、將錯就
 錯ト云事ヲ習ハサル故也、一心一切法ヲハヤカテ、一心一切法トツケ、一切法一心ヲハ
 一切法一心ニツクレハ、不可ト談スヘキ所ナシ、不可トキラハル、詞ヲ、佛法ノ最極ト
 習ナリ、近代禪僧ト號スル輩ノ見解ニハ、以心傳心ト云テ、心ヲ以テ心ニ傳フルコソ佛
 ノ本懷ナレ、以詞傳詞ハ非本意、教家ノ心也ト云フ、コレモ將錯就錯ヲシラサルヤカラ
 如此云也、ユヘニ將錯就錯ヲシラサルセサルユヘニ、多外道ニ零落ストハ有也、以心コ

ソツクフレトテ、イハサルハ身心學道ノ草子ニ不道ヲ擬スルニ不得也、不學ヲ擬スル
 ニ轉遠也ト、イハル、コレ也、▲古人云、識得心大地無寸土、三界唯一心ト云、誠心ヲ識得
 セムニハ、寸土モアルヘカラス、然者又蓋天モ撲落シ、匝地モ裂破スヘシ、▲或ハ心ヲ識
 得スレハ、大地サラニアツサ三寸ヲマスト云フ、心ヲ以テ心ヲ説時ハ、サキニ云カ如ク
 蓋天撲落シ、匝地裂破スヘシ、又山河大地コトクニテ、撲落モセス、裂破トモイハス、山河
 ヲハタラカサテ心トク時ハ、アツサ三寸ヲマスト、道理アルヘシト也、▲古徳云、作麼生
 是妙淨明心、山河大地、日月星辰ト云テ、コノ義コソ大地アツサ三寸ヲマスト、ハイハル
 レ、山河大地ノ心ハ、山河大地ノミ也、サラニ波浪ナシト云ヨリ、竹ナシ木ナシト云マテ
 ハ、即心是佛也トトク心地也、不染汚ノ法ヲ如此トク、馬ナシ猿ナシト云、梵網經ニ心馬
 馳惡道トイヒ、亦猿如著跡ト云心ナルヘシ、▲即心是佛ハ、不染汚ノ即心是佛ナリ、諸佛
 ハ不染汚ノ諸佛也ト云、波浪ナキ事ヲ云ツルカ如シ、山河大地心ハ、山河大地ノミ也ト
 云タクハ、喩ヘハ實相トトクモ、即心是佛、眞如トトクモ、即心是佛、々性トトクモ、山河大
 地、日月星辰、シカシナカラ、即心是佛ナルヘシ、此上ハ、又佛々モ祖々モナキ也、只即心是
 佛ノミトアルユヘニ、▲山河大地ハ、山河大地ノミナリ、サラニ波浪ナシ、風煙ナシ、○椅
 子拂子心ハ、椅子拂子心也、サラニ竹ナシ木ナシト云心ハ、無別儀、即心是佛トナリ、タト

へハ佛躰ヲ云トキハ、土トモイハス木トモイハス、カチトモ云ヘカラス、只佛體ト云、袈裟ヲ云時ハ、絹布帛等ノ論アラス、只佛衣ソ、袈裟ツト云カ如ク心得ヘシ、▲即心是佛トハ、發心修行菩提涅槃ノ諸佛也、未發心修行菩提涅槃ハ、即心是佛ニアラスト云、如此トク故ニ、汝今、悉具見聞覺知之性、更無別佛トモ云ヒ、即心ハ無常也、其性常也、ナムト云、外道ノ見ニハコトナルヘシ、發心トイヘハトテ、未發已發トハ不可云、不染汚ノユヘニ、▲又即心是佛ハ、四字共ニ將錯就錯也、將錯就錯ハ世間與出世尤心得分ヘキナリ、世間ノ心得様ト云ハ、アヤマリヲアヤマリトシリ、ヤカテアヤマリヲハアヤマリニツケ、正見ヲハ正見トシル、アヤマリヲアヤマラスト骨張ノキハアルヘカラス、コレモ尋常ノ世間ノキナリ、▲出世ノ心得ル様ト云ハ、出世ニアヤマリト云事アルヘカラス、ユヘニ正見ト齊肩シテ、アヤマルトアヤマラサルト、二ノモノトハイハス、只正見ヲモテ、正見ニツクルホドノコトヲ、將錯就錯トハ仕也、不染汚ノ法ナムト云コソ、將錯就錯ニテハアレ、スヘテ佛法ニハ悉有佛性ヲ心得モ、今將錯就錯ノ義也、欲知佛性ト云モ、定慧等覺明見佛性ト云モ、將錯就錯ノ道理ナルノミ也。

即心是佛終

行佛威儀 第六

諸佛カナラス、威儀ヲ行足ス、コレ行佛ナリ、行佛ソレ報佛ニアラス、化佛、自性身佛、他性身佛、始覺本覺、性覺無覺ニアラス、如是等佛、タエテ行佛ニ齊肩スル事ウヘカラス、
 行佛ノ威儀ト云ヘハ、佛ノ上ノ威儀具足ノ法ト心得ヌヘシ、説ヲハ口業ニ仰セ、觀念觀解ハ意地ニ約ス、威儀ハ身ノ上ニ仰テ、打任テハ談之、今ノ行佛ノ威儀ノ威儀ハ、佛ヲサシテ威儀ト談也、更非具足法、非報佛乃至性覺無覺ニ非ストハ云也、以此道理、諸佛必諸佛ヲ行足ス、是諸佛也トモ、又威儀カナラス諸佛ヲ行足ス、是威儀也、又威儀威儀ヲ行足ス、是威儀也トモ云ハルヘキ也、誠此行佛ノ威儀ニ齊肩スル物アルヘカラス、報佛化佛乃至始覺本覺ト云ハルハ、皆其分々位々アルヘシ、今ノ行佛更ニ不可有此儀也、
 諸佛ノ佛道ニアル覺ヲマタサルナリ、佛向上ノ道ニ行履ヲ通達セル事、唯行佛ノミナリ、自性佛等、夢也未見在ナル所也、
 諸佛ト覺トハ、別ナル様ニ思ナラハシタリ、諸佛ノ法ヲ衆生覺知スルトキ、佛ニナルト心得、今ノ覺ハヤカテ諸佛ヲ覺ト心得ナリ、故ニサトリ待ニアラサル故ニ、覺ヲマタサルトハ云也、此佛道ヲ通達セルコト、只行佛ノ威儀ノミナルヘシ、自性佛ソ他性佛ソナ

ムト云ハル、程ニテハ、今ノ行佛ノ道理ハ、惣不可知故夢也未見在ト云ハル、ナリ、
コノ行佛ハ頭々ニ威儀現成スルユヘニ身前ニ威儀現成ス道前ニ化機漏泄スル事亘時
亘方亘佛亘行也行佛ニアラサレハ佛縛法縛未解脱佛魔法魔ニ黨類セラル、也、
頭々威儀現成スルト云ハ、塵々法々威儀現成ナラヌ時刻不可有間隔、身前ニ威儀現成
ストハ、今ノ身トハ行佛ト云佛ヲ指歟、今ノ佛ヲ儀ト談ウヘハ此詞有謂道前ニ化機漏
泄ストハ、道トハ佛道歟、化機漏泄ストハ、機ヲヲキテ此機ハ佛道ニ可趣機、又其器根ニ
非ストモ定ムルヲ此化機ハ其儀ニ非ス、今ノ行佛ノ威儀ヲ指テ機トトル故漏泄スト
ハイハル、也、此道理約時亘三世九世ヲ無隔ユヘニ亘時亘方亘佛亘行トハ云ハル、
也、盡十方界共ニ威儀現成也、ユヘニ非行佛ハ佛縛法縛未解脱佛魔法魔ニ黨類セラル
ルナリトアルナリ、

佛縛ト云ハ菩提ヲ菩提ト知見解會スル即知見即解會ニ即縛セラレヌル也、一念ヲ經歷
スルニナヲ未解脱ノ期ヲ期セスイタツラニ錯解ス菩提ヲ則菩提也ト見解セム是菩提
相應ノ知見也誰カ是ヲ邪見ト云ハニ、

誠ニ菩提ヲ菩提ト知見セム佛道ノ詞也ト聞エタリ、但菩提ヲ菩提ト知見セハ、能見所
見アルヘシ、能知所知ニカ、ハル所ヲ、即縛セラレヌトハアルナリ、實ニ此見解ニテハ、

一念ヲ經歷セムニ解脱ノ期ナキニニタリ、菩提則菩提也ト見解セム、菩提相應ノ知見
ナルヘシ、誰カ是ヲ邪見ト云ハムハ、打任タル人ノ見解ヲ云也、

相憶ス是則無縛自縛也此詞解脱ノ詞ニモ任也是ハ嫌詞也、樹倒藤枯ニアラスイタツラニ佛邊ノ窠
窟ニ活計セルノミナリ、

是ハ無別子細、右ニ所出之菩提ヲ菩提ト知見解會スル詞ヲ被嫌ト可心得、

法身ノヤマフヲシラス報身ノ窮ヲ不知、

法身ノ病トハ、菩提ヲ菩提ト知見解會スル見解ヲ指歟、報身ノ窮トハタ、報身ノアリ
ヤウヲ不知ト云程ノ義也、

教家論師等ノ佛道ヲ遠聞セルナラシイハク、即於法性起法性見即是無明此教家ノ云ク
ハ法性ニ法性ノ見ヲコルニ法性ノ縛ヲイハスサラニ無明ノ縛ヲカサヌ法性ノ縛アル
事ヲシラス、

是ハ即是無明ト云無明ノ詞ヲ如此サケラル、ナリ、即於法性起法性見即是無明ト云
詞ヲカヘテ、即於法性起法性見即是法性ト云ハ、法性ノ縛ヲシリヌヘシ、只此詞ノナ
キヲアハレムヘシトハ被書也、法性ハヨシ無明ハアシシト云心地、同凡見分ヲ被嫌也
然而無明縛ノカサナルヲシレルハ、發菩提心ノ種子トナリヌヘシトハ、暫イケラル、

也、今ノ行佛ニハ、カツテ如此縛ニ不被縛也、法性ノ縛ヲ不知トハ、起法性見即是法性ト云、詞ノナキ所ヲシラストハ云ナリ、無明縛ヲカサストハ、即是無明ト云、詞ヲ無明縛トハ被云也、法性ノ縛アル事ヲ不知トハ、起法性見即是法性ト云、詞ノナキヲ不知指也、我本行菩薩道所成壽命今猶未盡復倍上數(法華文也)シルヘシ菩薩ノ壽命イマニ連綿トアルニアラス佛壽命ノ過去ニ布遍スルニ非ス今イフ上數ハ全所成也、イヒキタル今猶ハ全壽命也、我本行タトヒ萬里一條鐵也トモ百年抛却任縱橫ナリ、是ハ我トハ、釋尊御事歟、吾因位ニ菩薩ノ道ヲ行セシ時ノ壽命今猶トハ、今已ニ佛果圓滿ノ時ノ壽命モ未盡復倍上數トハ、未來ニモ此ノ壽命不盡シテアルヘシト、彼仰タル様ニ聞キ、是ハ過去現在未來ノ三世ヲタテタルニ似タル、背上理歟、シルヘシ菩薩ノ壽命今ニ連綿トアルニアラス、佛壽命ノ過去ニ布遍スルニアラス、今云フ上數ハ全所成也、イヒ來今猶ハ全壽命也トハ、右ニ所云ノ昔ヨリ今マテ、此壽命ハツ、キテアル様ニ聞ユル所ヲ被嫌也、今ノ上數ハ全所成也、今ノ今猶ハ全壽命也トハ、過去ノ因位ヨリノ壽命佛果マテモ相續シタル儀ニテハナシ、今猶ヲ全壽命ト云也、イハハ我本行モ菩薩道モ所成壽命モ、今猶モ未盡モ、復倍モ上數モ行佛成儀ナルヘシ、頭々ニ威儀現成スルユヘニ、又我本行ハタトヘハ、イツクマテモ一トヲリ也トモ百年抛却縱橫也トハ所成

壽命トモ、上數トモ今猶トモ復倍トモ、無盡ニ被談所ヲ任縱橫トハ云也、

無佛無人ノ所在ニ百千萬アリト云ヘトモ行佛ヲ染汚セスユヘニ行佛ノ修證ニ染汚セラレサル也、修證ノ不染汚ナルニハアラス此不染汚ソレ不無ナリ、無佛無人ノ所在トハ、有ソ無ソ、修ソ證ソ染汚ソナムト云、詞共ヲ指歟、故百千萬アリト云トモ、是等皆行佛ヲ染汚セサル也、行佛ノ獨立スルユヘニ、此道理ヲ以テ、行佛ハ修證ニ染汚セラレサル也トハ云ナリ、喩ヘハ悉有ソ山河大地ソ、蚯蚓ソナムトサマサマ云ハルレトモ、佛性ハ悉有ニモ、有無ニモ、蚯蚓ニモ、染汚セラレスト云ハム程ノ義也、修證ノ不染汚ナルニハ非スト云ハ、修證ハ無キニアラスト云ヘハ、嫌タルヤウニ聞ユ、是非本意、修證ト不染汚ト不無トカスニハ、行佛ノ威儀ニテアルナリ、ナキニアラストテ嫌タル、修證ニテハナキ所カカク云ハル、ナリ、不染汚ヲ不無ト云也、是頭々ニ威儀現成スル姿ナリ、曹谿曰、祇此不染汚是諸佛之所護念、汝亦如是、吾亦如是、乃至西天初祖亦如是、是ハ古佛南嶽ヲ印可シ御シ御詞也、吾トアレハ曹谿、汝トアレハ南嶽トコソ覺タレトモ、師資ノ皮肉ノ通スル所、我ニアラス、汝ニアラス、道理也、又是諸佛之所護念ト云ヘハ諸佛ハ別ニテ護念セサルヘキモノアルヤウニ聞ユ、非爾、己汝亦如是ノユヘニ、諸佛也

吾亦如是ノニヘニ諸佛也トアル時ニ諸佛ヲ指テ所護念トハ云也、更別ノモノヲヲキテ、護念スト云トハ不可心得也、實我ニアラス汝ニアラス、道理顯然也、

コノ不染汚ニ如吾是吾諸佛所護念是行佛威儀也、如汝是汝諸佛所護念コレ行佛威儀也、汝亦如是吾亦如是ト云ヘハ、猶イカニモ自他ノ舊見ヲコリスヘキヲ、如吾是吾如汝是汝ト云時、自他彼此ノ舊見ヲ、ハナル、ナリ是親切ノ詞也、

吾亦ノユヘニ師勝也汝亦ノユヘニ資強也師勝資強コレ行佛ノ明行足ナリ、

吾亦ハ師、汝亦ハ資ト云ニ似タリ、然而師勝資強、汝亦吾亦只同事也、不可違、故行佛ノ明行足也ト云也、

シルヘシ是諸佛之所護念ト、吾亦也汝亦也、

不可各別道理アキラケシ、

曹谿古佛ノ道得タトヒ我ニアラストモ汝ニアラサラムヤ行佛之所護念行佛之所通達ソレ如此、

タトヘハ我ニアラスト云道理カ、汝ニアラサラムヤト云ハル、ナリ、我ト云ハ、我汝ト云ハ、汝ナルヘシ、

故ニシリヌ修證ハ性相本末ニアラス行佛ノ去就コレ果然トシテ佛ヲ行セシムルニ佛

スナハチ行セシム、

修證ハ性相本末等ニ非サル事勿論ナリ、行佛ノ去就トハ、進退ナムト云程ノ詞也、果然

ハハタシテナムト云心地也、佛ヲ行スルニ佛則行セシムト云ハ、佛ヲハ果上ニ置キ行ヲハ人ニ仰セテ此行ニヨリテ、佛果菩提ヲウルト心得タリ、是ハ佛ヲ行セシムルニ佛ノ外ニ餘物不交道理カ、佛ヲ行スルト云ヘハ、佛ノ行スルナリ、凡夫アリテ佛道ヲ行スルトハ不可談也、佛カ佛ヲ行スルナリ、

サラニ爲法捨身アリ爲身捨法アリ、不惜身命ナリ但惜身命也、法ノ爲ニ法ヲスツルノミニアラス心ノ爲ニ法ヲスツル威儀アリ、

先爲法捨身ノ詞ヲ、能々心得居ヘキ也、抑盡十方界眞實人躰ノ身ヲ、スツルトハイカニト可心得ソ、スツル所アルヘカラス、但盡十方界眞實人躰ト談スルコソ、大ニスツルニテハアレ、只岸ヨリ身ヲナケ、ウエタル虎ニ身ヲ飼ナムトスルヲ、捨身ナムト心得ルハ非佛法、五蘊ノ穢身ヲ畜類ニカハム、何程ノ益カアラム、今ノ棄様コソ佛道ニスツル、甚深ノステ様ニテアレ、所詮盡十方界眞實人躰ト談スル、コレヲ爲法捨身ト心得ナリ、此上ニ爲身捨法、不惜身命但惜身命ナムト云詞ハ皆爲法捨身ノ道理ナルヘシ、故ニ法ノ爲ニ法ヲスツルノミニアラス、心ノ爲ニ法ヲスツル威儀アリトハ被釋也、法ノ爲ニ法

ヲスツルト云詞ニ對シテ心ノ爲ニ心ヲスツルト云ヘケレトモ如此大方ノ理ヲ心得ヌル上ハ心ノ爲ニ法ヲスツルト云詞更不可成相違法也サレバコソ詞ニカハハラヌ佛法ニテハアレ是皆行佛威儀ナルユヘニ法ト心ト各別ナラサルユヘニ捨ハ無量ナル事不可忘佛量ヲ拈來シテ大道ヲ測量シ度量スヘカラス捨ハ無量ノ詞ニ付テ二ノ心アルベシ一ニハ爲法捨身爲身捨法乃至不惜身命此外鼻孔ヲ棄トモ眼睛ヲ捨トモ無盡ニイハレヌヘキ道理無量也ト云義アルヘシ又物ヲ一指出テカハルユヘニカハルソト喩ヲイタヌヤウニ談スル事ヲ制シテ佛量ヲ拈來シテ大道ヲ測量シ度量スヘカラストイフハ佛量ハ佛量ニテ究盡シ大道ハ大道ニテ解脱スベキ道理一也但二義アレハトテ努々二ノ義相違ノ法トナルヘカラス只同心也喩ヘハ佛性ヲ蚯蚓トモ悉有トモ談セシカ如シ能々了可見事也佛量ハ一隅ナリ喩ヘハ花開ノ如シ心量ヲ舉來シテ威儀ヲ摸索スヘカラス擬議スヘカラス心量ハ一面ナリタトヘハ世界ノ如シ一莖草量アキラカニ佛祖心量ナリコレ行佛ノ蹤跡ヲ認スル一片ナリ

是ハ花開世界起ト云經文アリ花開スレハ世界モ起ト云一花開スレハ天下皆春ナリト云心地ナリ是レハ佛量ハ一隅也ト云心地ナリ佛量ト云時ハ盡界皆佛量也花開ノ

如シ心量ヲ舉シテ是カ如シト不可相對心地ナリ心量ハ一面ナリタトヘハ世界ノ如シト云只佛量心量花開世界同心ナルベシ一莖草量ヲヤカテ佛祖心量トトル所ヲ如此被釋ナリ一莖草ト佛祖心ト又各別ナルヤウニ了見シヌヘキ所ヲカク被釋也是則頭々威儀現成ノ姿也

一心量タトヒ無量佛量ヲ包含セリト見徹ストモ行佛ノ容止動靜ヲ量セムト擬スルニハモトヨリ過量ノ面目アリ過量ノ行履ナルカユヘニ即不中ナリ使不得ナリ量不及也前ノ心量ノ詞ニ一ヲ加テ一心量トヲキ前ノ佛量ノ上ニ無量ノ詞ヲツケラハ是ハ暫不拘一多心歟一心量與無量佛量非相違法喩ヘハ一心量無量佛量ヲ包含セリトモトハ一心量無量佛量ト云トモ行佛ノ容止動靜ヲ量セムト擬スルニハ此行佛威儀ノ姿カ過量ノ面目アリ過量ノ行履ナルユヘニアタラサル也ト云心地ナリ所詮ハ一心量モ無量佛量モ皆一心地行佛ノ威儀ニ不可背レトモ行佛ノ威儀ト云ハムトキハ又マシハル詞モナクテ行佛ノ威儀ナルヘシ是ヲ以テ彼ヲ量セムト云詞一旦ハ凡見ニ同カルヘシ已ニ威儀ノ姿カ過量ノ面目アリ過量ノ行履アルユヘニ無量佛量ヲ以テ行佛威儀ヲ量セムトスルニハアタラサル也ト可心得サレハトテ此一心量無量佛量カ別ノ法ニテ嫌ハルヘキ物ニテハナケレトモ行佛威儀ノ諸法ニカクシロハヌ所ヲ一

筋アケラル、ナリ、包含ノ詞ハ、袋ニ物ヲ入タル様ニハ不可心得、只一心量與無量佛量カ、無差別所ヲ包含トハ可心得也、ユヘニ使不得量不及ト云ハル、誰人アリテ何ヲ可使ソ、何量カ可及ソ、ユヘニ不及ト仕、フイハハ行佛威儀カ、行佛威儀ヲ任、行佛威儀ヲ及不及トモ可云歟、然者打任タル詞、凡見ニハ、コトナルヘシ、シハラク行佛威儀ニ一究アリトテ、又行佛ノ姿ヲイタサル、

即佛即自ト恁麼來セルニ吾亦汝亦ノ威儀ソレ唯我能ニカ、ハレリト云ヘトモ則十方佛然ノ脱落コレ同條ノミニアラス、

是ハ吾亦モ法界盡シ、汝亦モ法界ヲ盡シ、乃至佛モ自モ各究盡スル、能ニカカハレリトモ、面々ニトリハナタルヘキ義ニアラス、如此各々ニ唯我能ニカ、ハレトモ、物此スカタ無其隔所ヲ、十方佛然ノ脱落トハ云也、經ニ唯我知是相十方佛亦然ノ詞ヲ、取出シテカカレタル也、同條ノミニアラストハ、是等許ニテモアラス、此道理千萬ニ通スヘシト也、カルカユヘニ

古佛曰體取那邊事却來這裏行履ステニ恁麼保任スル諸法諸身諸行諸佛コレ親切ナリ、此詞ハアナタナル事ヲ談スレハ、此ウチニ其理來ト云心也、サトリノ心地也、タトヘハ狗子ヲ談スレハ、佛性コ、ニ來レリト云カ如シ、此道理ナルカユヘニ、諸法諸身諸行諸

佛親切也トアリ、尤有其謂、カナラス法身行佛ニ不可限、一切ノ法此道理也、此行佛威儀頭々ニ現成ノ姿也、

此行法身佛ヲノヲノ承當ニ墨礎アルノミナリ、

是ハ前ニ被釋、同事ナルヤウニキコユ、又道理モ不可違、面々ニ一法ツ、究盡シテ、承當ニ脱落スル心地ナリ、面々一法ト云ハ行法身佛等ノ事也、

眼礙ノ明々百草頭ナル不見一法不見一物ト動著スル事ナカレ、這法ニ若至也、那法ニ若至ナリ、

眼礙ノ時節ハ、眼ノ外ハ別物アルベカラス、ユヘニ不見一法ノ心地アルヘシ、但全眼ナレハトテ、又見ト云義ノナカルヘキニアラスト也、其眼礙ノ時ノ見ト云ハ、イカナラムソト云ヘハ、眼カ眼ナル道理ヲ以テ、見眼下可談ナリ、此理カ這法ニ若至、那法ニ若至スルナリ、這法那法ノ姿カ、ヤカテ以眼見眼道理ニテアルナリ、

拈來拈去出入同門ニ行履スル、徧界不會藏ナルユヘニ、世尊密語密證密行密附等アル也、拈來モ拈去モ出入モ同門ノ上ノ道理也、同門ニ行履スルト云ハ、行佛威儀ノ上ニ置テ拈來拈去出入ヲ心得也、此道理行佛威儀ノスカタカ、徧界不會藏ノ理ニテアルナリ、故世尊密語密證密行密附等皆此道理也ト云也、

出門便是草入門便是草萬里無寸草入之一字出之一字...
 是ハ拈來拈去出入同門ト云シニ、只同事ナル様ニキコユ、是又行佛威儀ノ一姿ヲ重テ
 被舉也、此草ノ字フト出キタル様ニ覺ユ、ココニシテモ只今草ノ用ナル事モナシ、常祖
 門ニ仕ツケタルナリ、門前舊ニヨリテ草セムセムナムト仕付タリ、只所詮出門便是行
 佛威儀、入門便是行佛威儀、萬里無寸行佛威儀ナルヘシ、入之一字ハ、龐蘊居士カ古キ詞
 也、出之一字ハメツラシキ詞ト云ヌヘシ、然而出入ノ詞、今更不可相違、這頭ニモ不用得
 也、那頭ニモ不用得也ト云ナリ、
 イマノ把捉ハ放行ヲ不待トモコレ夢幻空華也、誰カ是ヲ夢幻空華ト將錯就錯セム、進步
 也、錯退歩也、錯一步也、錯兩歩也、錯ナルユヘニ錯々ナリ、天地懸隔スルカユヘニ至道無難
 也、威儀威儀大道體寬ト究竟スヘシ、
 把捉ノ獨立スル時、放行ヲマタス、放行ヲ究盡スルトキ、把捉ヲ不待道理ヲ、夢幻空華ト
 云也、夢幻空華ハ、打任テ思ニハハカナクアタナル事ニコソ云ヲ、今ハ行佛威儀ヲ夢幻
 空華ト談也、夢幻空華ナル上ハ、誰カ是ヲ夢幻空華也ト、將錯就錯セムトハ、夢幻空華ノ
 獨立ノスカタヲ、暫如此イハル、ト可心得、夢幻空華ノ上ニハ、進步モ錯退歩モ錯、一步
 モ錯兩歩モ錯ナル道理ナルヘシ、諸法錯ナラヌ、一法不可有、故ニ錯々ノ道理也、又シハ

ラク一法ノ究盡スル道理ヲ、天地懸隔ストハ可云也、天地懸隔打任テハ二物相對シテ
 相違ノ法トキコユ、是ハ一法カ面々獨立シタル姿ヲ、天地懸隔ト云フナリ、故ニ至道無
 難ナル也、此道理無難ナル也ナルユヘニ、至道惣ニ無難ナリ、●威儀威儀大道躰寬文、威
 儀威儀ノ詞、セメテ躰脫サトル心地、行佛威儀親切ナル道理ヲ、重委被釋也、依全ヲ全依
 ト云ヒ、發菩提心ヲ菩提心發ト心得シカ如シ、
 シルヘシ、出生合道出也、入死合道入也、ソノ頭正尾正ニ玉轉珠回ノ威儀現前スルナリ、
 出生合道出ト云ハ、生ヲイッルハ合道出、入死合道入云云、合道トハ今ノ行佛ノ威儀ノ
 道ニ合スル也、生死共ニ合道出入同合道也、ユヘニ頭正モ尾正モ、玉轉珠回ノ道理也ト
 云ハル、也、玉轉珠回トハ、共ニ玉也、メクリマハル、只同物同心地也、玉カ玉ヲ廻也、出入
 生死ノ道理、只玉轉珠回ノ道理ナルヘシ、又行佛威儀ノ一ヲ被舉
 佛威儀ノ一隅ヲ遺有スルハ、盡乾坤大地也、盡生死去來也、塵刹ナリ、蓮華也、塵刹蓮華ヲノ
 ヲノ一隅也、...
 是ハ盡乾坤、盡生死去來、塵刹蓮華等ヲアケテ、行佛威儀ヲアラハサル、也、學人多思ハ
 トテ、被釋之、如文可心得、無別子細、
 盡乾坤ノ言句ヲ參學セム事、三次五次モ思メクラスヘシ

三次五次ト云ハ、只イクタヒモ不倉卒、可參學ト也
 コノ得道ハ極大同小極小同大ノ超佛越祖ナル也
 是ハ大小無差別義也、故ニ超佛越祖ト云ナリ
 大ノ有ニアラサル小ノ有ニアラサル疑著ニ似タリト云ヘトモ威儀行佛也、
 是ハ實ニ大小有等疑著ニ似タレトモ、皆是威儀行佛也、此威儀行佛サカサマナル様ニ
 聞ユレトモ、威儀威儀ノ詞ホトノ義也、
 佛々祖々ノ道取スル盡乾坤ノ威儀盡大地ノ威儀トモニ不會藏ヲ、徧界ト參學スヘシ
 徧界不會藏ハ常ノ詞、是ハ猶物ヲ置テ、カクレスト云心地モ、イテキヌヘシ、不會藏ヲ徧
 界ト參學スル也、喩ヘハ發菩提心ヲ、菩提心發ト云シカ如シ、
 徧界不會藏ナルノミニハアラサル也、
 是ハ如前云、ヤカテ徧界不會藏ト云フ詞ニ付テ、邪見イテキヌヘシ、但是モスツヘキ詞
 ニアラス、シハラクノ義也、是等皆行佛一中ノ威儀ナリ、
 佛道ヲ說著スルニ胎生化生等ハ佛道ノ行履ナルト云ヘトモ未濕生卵生等ヲ道取セス
 況ヤコノ胎卵濕化生ノ外ニ猶生アル事夢也未見在也、何況胎濕化生ノ外ニ胎卵濕化生
 有事ヲ見聞確知セムヤ、……

胎生化生ハ打任テ談之、佛モ已摩耶夫人ノ胎内ヨリ出給、證據分明也、濕生卵生等ハ佛
 道ニ未道取、況此胎卵濕化生ノ外ニ猶生アル事トハ全機ノ生死ノ事ナリ、又胎卵濕化
 生ノ外ニ、胎卵濕化生アル事ヲ、見聞覺知セムヤト云ハ、全機ノ生ヲ胎卵濕化ト談スル
 心地ヲ云也、此道理ヲ不會藏ニ正傳セリ、親密ニ正傳セリトハ被釋也、●庵羅女ハ、木ノ
 マタヨリ生ス、又頂生王ト云也、王ハ父ノ頂ニ、カサノ躰ナル物フクレテアリケル所ヨ
 リ生ス、輪王也、是等皆濕生カ、
 ステハ四生ハキク所ナリ死ハイクハクカアル四生ニハ四死アルヘキカ又三死二死ア
 ルヘキカ又五死六死千萬死アルヘキカ、……
 四生ハ尋常ニ所談也、四死ト云事未聞之、但四生アラハナトカ四死五死乃至千萬死ナ
 カラム、全機ノ死ノ道理、サラニ不可違生此理ヲ參學ノ分也トハ暫ウケラル、也、
 此四生衆類ノ中ニ生ハアリテ死ナキ物アルヘシヤ又死ノミ單傳シテ生ヲ單傳セサル
 アリヤ單生單死ノ有無カナラス參學スヘシ、
 是ハ生許アリテ死ナキ物、又死ノミ單死ニシテ生ヲ單傳セサルアリヤト云ハ、全生ト
 取時ハ生アリテ死ナカルヘシ、全死ト取ル時、死ノミ單傳シテ生ヲ單傳セサル道理ナ
 ルヘシ、故ニ有無カナラス、參學スヘシトハ云ナリ、

ワツカニ無生ノ言句ヲ聞テ明ムル事ナク身心ノ功夫ヲサシクカコトクスルモノモアリコレ愚鈍ノ甚也信法頓漸ノ論ニモ不及畜類ト云ヌヘシ
 無生ノ句ヲ聞テハ、只ウマル、事ナカント許リ得テ、功夫ヲサシク事ヲ如此被誠也
 信行法行トテ漸頓ニアツ此事ヲ被引出也

タトヒ無生ト聞ト云ヘトモコノ道得ノ意旨作麼生ナルヘシサラニ無佛無道無心無滅ナルヘシヤ無々生ナルヘシヤ無法界無法性ナルヘシヤ無死ナルヘシヤト功夫セスイ
 タツラニ水草ノ但念ナルカユヘナリ、

傍ハ勝歎

タトヒ無生ノ詞ヲ云トモ、此道得ノ意旨イカナルヘキノ、無佛無道無心無滅ナルヘシトハ、佛ヲ無トツカフ、乃至道心滅等ヲ皆無ト仕也、エヘニ如此談スレハ、打任テ無生詞ニ迷分ハナキナリ、解脱ノ無、獨立ノ無ナリ、無々ノ無ト云ソ、解脱ノ無ナルヘキ、佛性ノ上ニ有無ヲ談セシカ如シ此等ノ道理ヲ功夫セス、イタツラニ水草ノ但念ナルカユヘ也ト被嫌ナリ、經ニ但念水草、餘無所知、傍、此經故逆罪如是ト云心也、
 生死ハ佛道ノ行履也……誰カ了生達死淡トイハム、
 如文可心得、只生死ハ流轉ノ調度、死此生彼スルト許心得事甚愚癡ノ事也、專以生死佛家ノ調度ト可心得ナリ、

生死ニシツムト不可聞生死ニアリト不可知……

全機ノ死ノウヘニシツムト云道理如何、所詮シツムト云詞モアリト仕詞モ乃至信受モ不會全機ノ生死ノウヘニ置テ仕詞共モ也ト可心得、

或ハ云只人道ノミニ諸佛出世スサラニ餘方餘道ニハ出現セスト思ヘリ云カ如クナラハ佛在ノ所皆人道ナルヘキカ是ハ人佛ノ唯我獨立尊ノ道得也……

天上ハ樂多シテ快樂ニノミニホコル、エヘニ佛道ヲ不修行、三惡道ハ其苦難忍ニヨリテ、又不及佛道修行、人道ノミニ諸佛ハ出現シ給ト思ヘリ、アヤマリテ人道ノ内ニモ、南洲殊佛道修行ノ所也、北洲ナムトニハ、惣佛出現シ給ハス、ナムト性相ニハ談歎、但諸佛出世ノ本懷、此義不可當佛ノ出世盡界ニ隔アルマシ、只人道ニ佛出世シ御ストハ、暫人佛ノ唯我獨尊ノ道得也ト云也、實天佛モアルヘシ、佛々モアルヘシ、更人間ノミニ不可限トナリ、可落居佛々ナルヘキ也、是等ノ道理ヲシラサラムハ、佛祖ノ闔奧ニ不入ナリト被嫌也、

祖宗曰釋迦牟尼佛自從迦葉佛所傳正法往兜率天化兜率陀天子今有在……
 此事尤不審也、其故ハ釋迦ハ已入滅シ御ス、兜率天ニハ五十六億七千萬歳ノ後、彌勒出現シ給ヘシト云、而ニ入滅ノ釋迦兜率天ニユキテ、彼天ヲ化シ御ス事、今有在トアリ

尤不審也、但今ノ釋尊迦葉彌勒等ノ皮肉ノ所通、更不可有隔故、上天ノ釋迦トハ彌勒ヲ指ナリ、
學人シルヘシ人間ノ釋迦ノ千變萬化ノ道著アリ行取アリ説著アルハ人間一隅ノ放光現瑞也……

人間ノ釋迦トハ、滅度現ノ釋迦ヲ指歟、實彼一代ノ道著説著行取等、皆人間一隅ノ放光現瑞ナリ、上天ノ釋迦ノ化イカホトナラム、千品萬門アルヘシト可心得、
佛々正傳スル大道ノ斷絶ヲ超越シ無始無終ヲ脱落セル宗旨ヒトリ佛道ノミニ正傳セリ……

此詞不被心得、大道ノ斷絶トハイカナルヘキソ、佛々正傳スル大道ノト、ヨミ切テ斷絶ノ斷ヲハコトハルト談歟、然者佛々正傳スル大道ノコトハリヲ、超越シト可談歟、今一義ニハ滅度現ノ滅度、打任セタル滅度ナルヘカラス、仍暫斷絶ト可云歟、是ヲ超越トモ可心得歟云一義モアルヘキカ、能々追可了見也、(此斷絶ノ詞ハ佛法ノ上ヲ指テ可云歟如何)
行佛設化スル所ニハ四生ニアラサル衆生有天上人間法界等ニアラサル所アルヘシ、
四生ニ非サル衆生トハ、現成公按之時、諸法佛法ナル時節ニ諸佛アリ衆生アリト云ハレシ、衆生也、天上人間法界等非サル所トハ、實ニモ非天上人間所アルヘシ、所謂柱杖ノ

上ニモ拂子ノ上ニモ、一微塵ニモ其所アルヘキ也、又此四生トハ、凡夫ノ心得タル四生ノ事也、其外ニ衆生アリトハ、眞實人體ノ衆生ナルヘシ、
行佛ノ威儀ヲ觀見セムトキ天上人間ノ眼ヲモチ非ルヘカラス……人中天上ノ測度及事アラムヤ、

如文可心得、尤有其謂事也、

人量短少ナルニハ識智モ短少也、壽命短促ナルニハ思慮モ短促也……

此條如文、證據分明也、人間ニテモ其シナイヤシケレハ、思量モ不及、上サマニ成スレハ、思慮分別モ下劣ニハ似ス、況ヤ凡夫ノ思慮與行佛威儀、測度不足言事也、

只人間ヲ舉シテ佛法トシ人法ヲ舉シテ佛法ヲ局量セル家門、彼是共ニ佛子ト許可スル事ナカレ、是只業報ノ衆生也……如文

行佛ハ本覺ヲアイセス始覺ヲ愛セス……凡夫外道ノ本末ノ邪見ヲ活計シテ諸佛ノ境界ト思ヘル族多シ、

是ハ凡夫外道ノ我見ヲ活計シテ、是ソ佛法ト思ヘル人多シ、今ノ行佛威儀ノ道理ニ背キタル事ヲ、被釋也如文、

諸佛曰此輩罪根深重也、可憐憫者也、深重ノ罪根タトヒ無端也トモ此輩ノ深重擔也、

此輩トハ暫今ノ凡夫ヲ指歟深重ト云事妄法ニ惣無其實ユヘニ此深重ハ此輩ニ仰テ云詞ナリ深重ハ無端也トハハシ無トテ惣ハシメモヲハリモナキ様ナル事也故ニ深重擔ハ此輩ノ深重擔也●仰彼シハラク深重擔也コノ深重ノスカク無自性ナルウヘハ行佛威儀ノ現前スル時更ニ不可齊肩ト也

コノ深重擔シハラク放行シテ著眼看スヘシ把定シテ自己ヲ礙スト云トモ起首ニアラス

此輩ハ今ノ凡夫外道等ヲ指也コノ放行シテ著眼看スヘシトハ行佛ノ方ヨリ能々參學シ見ルヘシト云心地也把定シテ自己ヲ礙スト云トモトイフハ自己トハ云ヘトモ此行佛ノ上ノ自己ハシメトモ終トモ可取所ナキ道理ナリ

今行佛威儀ノ無礙ナル佛ニ礙セラルハニ挖泥滯水ノ活路ヲ活通達シ來ユヘニ無罣礙也

是レハ今ノ行佛威儀ノ獨立シ物ニサエラレザル所カ挖泥滯水(和光同塵ナム)ノ活路ヲ通達スルユニ無罣礙也ト云ナリ

上天ニシテハ化天ス人間ニシテハ化人ス花開ノ功德アリ世界起ノ功德アリカツテ間隔ナキ物ナリ

上天化天ノ化ト云ヘハ佛ハ能化ノ主天上人間マテ化衆生ヲ給トコソ心得ルヲ今ノ化ト云ハ上天ヲ指テ化トハ云也人間ヲ指テ化ト云フ故ニ彼各々土ニ能化ノ佛御シテ化衆生トハ不可心得此化ハ能化所化ナキ化也此道理ヲ花開世界起トハ被云也是ヲ無間隔トモ談也法華經ニ化一切衆生皆令入佛道ノ化ヲモヤカテ衆生ヲ化ト心得也衆生與佛ヲ置テ佛衆生ヲ化シ給トハ不可心得也

コノ故ニ自他ニ迥脫アリ往來ニ獨拔アリ即往兜率天ナリ即來兜率天ナリ即々兜率天アリ即往安樂ナリ即來安樂ナリ即々安樂ナリ即迥脫兜率ナリ即迥脫安樂也即打破百雜碎安樂兜率也即把定放行安樂兜率也一口吞盡ナリ

自他ト云モ迥脫アリト云ハ解脫上ノ自他ナリ往來ト云モ獨拔也解脫往來也此故ニ即往兜率天ト云即來兜率天トモ云道理カ又即々兜率天ト云ハルナリ又兜率天ノ詞ヲ改テ即往安樂也即來安樂也即々安樂也ト云是ハ兜率天ハ界内安樂國ハ界外ナムト差別シテ思ヌヘキヲ兜率モ安樂モ只一ナリ更界内界外ノ論ニ不及又セメテ兜率安樂各別ノ心地アルヘカラサルユヘニコハ即迥脫兜率即迥脫安樂ト云又即打破百雜碎安樂兜率トハ百雜碎トハ物ヲ打クタキテイクラモニナシタル様ナル心地也所詮千萬打破百雜碎ナレトモ只是行佛威儀ナルヘシト云心地ナリ把定放行モ

安樂兜率程ノ姿也、又一口吞盡トハ、解脫獨立ノ詞也、又物モマシワラス、只一口ニ飲盡シタル心地也、

安樂兜率トイフハ淨土天堂トモニ輪廻スル事ノ同般ナルト也、

是ハ輪廻ノ詞尋常ニ心得ヌヘシ、安樂ト兜率ト兩土アル様ニ聞ユ、然而只同土ナルヘシ、輪廻ノ詞モ是カ彼ニ輪廻スル様ニハ不可心得、只無始無終ナル道理ヲ輪廻トツカフヘキ也、今ノ安樂兜率ノ姿ヲサシテ、輪廻ト可談歟、

行履ナレハ淨土天堂同行履也大悟ナレハ同大悟也大迷ナレハ同大迷也、是暫行佛ノ鞋裏ノ動指也、

是ハ一法究盡ノ理ヲ被舉トニカクニ行佛威儀ノ現成スル威ヲ被舉也、鞋裏ノ動指トハ、行佛ノ行ノ字ニ付テ、タヨリニ鞋裏トハ被引出歟、鞋裏ニ動指ノ詞、又エムアル詞也、物ヲヨク書ト云フハ、タヨリアル詞、才學ニ引ヨセテ、シカモ其理ニタカワヌヲ、所詮達者トハ云也、此正法眼藏ノ文々句々ノ姿今ノ理ニアラスト云事ナシ、能々閑ニ見テ可了見事也、倉卒ニテハ其理アラハルヘカラス、

アルトキハ一道ノ放屁聲也、放尿香ナリ鼻孔アルハ、顯得ス耳處身處行履處アルニ聽取スルナリ、

此詞頗驚耳目様ニキコエ、祖師ノ詞ニアマリニ一切事ヲシクルイタル時カカル詞ニテ法ヲアラハサルル事有、但祖師ハ皆法ノ道理ヲモチテノヘラル、ヲ我等法ノ最極ヲ、ハシラテ宗トスル、凡見ヲ定木トシテ一切ノ事ヲ心得タル間、如此詞ニマヨイテ、驚疑怖畏スル也、所詮愚痴迷暗ノ甚シキカ所致也、可恨可恨、幸今大乘直指ノ法ニアフ、尤參學不可闕トコロニ、今生空欲馳過口惜事也、抑盡十萬界眞實人躰ト談スル時ノ、放屁聲イカナルヘキノ、此眞實人躰ノ上ノ具足調度ナレハ、今被引出、而ニ凡身ノ具足ノ心地ニテ驚之事甚無謂、假令戒定慧ノ香ヲカキ、八音四辨ノ聲ヲ聞ト云ハムヲハ、甚深ノ法也ト心得、今ノ放屁聲、放尿香ナムトヲハ嫌ラハムニハ、法ニ取捨イテヌヘシ、善惡相對ノ法ニナリヌヘシ、返々不可然事也、打任テハ鼻孔ニテ香ヲカキ、耳根ニテ聞聲トコソ思習ハシタレトモ、今ハ耳處身處行履處ニテ聽取スル也トアリ、此事又始テ非可驚

●古モ佛ヲカムシ概ナント云詞アリ、故嵯峨ノ正信上人佛ヲカンシ概、殺佛ナムト、開山說法ノ時被仰タリケルヲ、聽聞シテアナクチヲシ、佛ヲカ、ル物ニ喩ラル、禪宗ヲンロシキモノカナトテ、落涙セラレケリ、此事ヲ開山モレ聞テアレホトニ恐痴ニテ人ニ戒ヲサツク被皈依事、不便ノ次第也、我モイヤ目ナラハ落涙シツヘキ事也ト被仰ケリ、見解ノ黑白以之可准知、比與ニ物語也、

又得吾皮肉骨髓スルトキアリサラニ行得ニ他ヨリエサル物也、
得吾皮肉骨髓スル時アレトモ、行得ニ他ヨリ此皮肉骨髓ハエサルナリ、行得トハ行佛
ノ時刻ヲ指歟、

了生達死ノ大道ステニ躰達スルニフルクヨリノ道取アリ大聖ハ生死ヲ心ニ任ス……
道環トシテ生死ノ身心ノ宗旨スミヤカニ辨肯スルナリ、

大聖ハ生死ヲ心ニ任ス、乃至身ニマカセ、生死ヲ道ニ任セ、生死ヲ生死ニ任ストハ、全機
ノ生、全機ノ死ヲ如此云也、今ノ生死ヲ心トモ、身トモ乃至迷トモ悟トモ取ルユヘニ、心
ニマカストモ、身ニ任トモ仕ナリ此宗旨アラハルレトモ、實古今ノ時ニアラス、昔今ソ
ト非可云、行佛ノ威儀ノ道理、忽爾トシテ行盡スル也、道環トハ袈裟ノ環ハ、スヘテハシ
メモ終モナキモノ也、イツクヨリハシメイツクヲ終トモ不見ナリ、無始無終ナル事ニ
仕ツケタルナリ、

行盡明盡コレ強爲ノ爲ニアラス迷頭認影ニ大似也廻光返明ニ一如也、

行盡ソ明盡ソト云ヘトモ、誰人アリテ行盡トモ明盡トモ可云ソ、ユヘニ強爲ノ爲ニア
ラストハ云也、又迷頭認影ト云ヘハ、ヨニ迷ノ法ニニタリ非爾、頭ニ迷テ認影トハ、頭ニ
ハ迷トモ影ヲモトムル時ニ、彼是トハ云ヘトモ、只一物也ト云心地也、佛性ニハ迷トモ

狗子出現スト云ハムカ如シ、廻光返照モ同心ナルヘシ、光ヲハ廻トモ、カヘリテテラス
只同事也、大似一如ノ詞、只行佛ノ上ニ仕詞ト可心得、ヤカテ迷頭ノスカタヲ大似ト談
シ、廻光ヲ一如ト談スルカ、行佛ノ上ノ詞ニテアルナリ、但又行盡明盡強爲ノ爲ニアラ
スト云詞カ、迷頭認影ノ心地ニ、大似トモ云ヘケレトモ、是非喻ニ、明盡ト云詞ノフト出
キタルヤウニ聞ユレトモ、前ニ行盡トアル詞ニ付キ、イテクルカ理ハ只同事也
ソノ明上又明ノ明ハ行佛ニ彌淪也コレ行取ニ一任セリコノ任任ノ道理スヘカラク心
ヲ參究スヘキ也……

行佛ヲ指テ明上又明ノ明ヲハ可談也、明盡ト云ヘル明ノ事也、コノ行取トハ、行佛ノ行
也、行佛ニ任タルナリ、コノ任任トハ、生ニモ死ニモ明ニモアタル也、行取許ニ不可限ト
云心地也、其ニトリテ先心ヲ參究セハ、何ヲモ可解脱ト云心地也、ソノ參究ノ兀爾ハ、兀
坐ナント坐禪ヲ云シカ如シ、萬法是心ノ明白也、三界タタ心ノ大隔也ト、知及シ會取ス
トハ、三界ト云時ハ、唯一心ノ心ハ大隔也トイハルヘシ、喻ヘハ佛性ニハ狗子ノ大隔也
ト云程ノ義也、又一方ヲセウスレハ一方ハタラシト云心地也、至テ親切ノ大隔也、打任
テ隔ツト云詞ヲ仕フハ、是ヲ置テ彼ニヘタツトコソ心得ルヲ、是ハ至極一ナル道理ヲ
大隔トハ云也、知及モ會取モ人アリテ、知及會取スヘキ義ニアラス、萬法カ萬法ヲ會取

シ知及スルナリ、自己ノ家郷ヲ行取セリ、當人ノ活計ヲ便是也トハ、自己ノ家郷ト云ハ萬法ノ當躰ヲ家郷トハ云也、當人ノ話計トハ自己ヲ指歟、今ノ自己トハ喩ヘハ生トモ死トモ、心トモ三界トモ云ヲ、自己ト可云也、生ノ自己、死ノ自己、心ノ自己、三界ノ自己ナルヘシ、

句中取則シ言外求巧スル再三撈撻ソレ把定ニアマレル把定アリ放行ニアマル放行アリ、句中取則ノ詞古キ詞也、只其カ其ナル心地ニ仕ナリ、把定ニアマリ、放行ニアマルトハ把定ヲ以テアマルト仕フ、放行同之非餘殘ノ義、

ソノ功夫イカナルカコレ生イカナルカコレ死、ソレ同門出入ノ不相逢也、イカナルカコレコレト、アマタアケラル、是ハ例ノ非疑義、コレコレノ詞ハ、皆コレト云心地ナリ、同門出入不相逢ハ、同門アリ、出入スレトモ不相逢ナリ、無相對法佛性ノ草子ニ、快便難逢ト云心也、佛法ノ所談、何レノ詞モ不相逢ノ理也、

一著落在ニ藏身露角ナルカ大慮而解ナルカ老思而知ナルカ、一念萬年ナルカ子細ニ檢點シ檢點ヲ子細ニスヘシ、藏身露角トハ、身ハカクレ、角ハアラハナルナリ、是ハ生ト談スル時ハ、死ハ藏身シ、生ハ

露角スヘシ、乃至蚯蚓ト談セシ時ハ、佛性ハ藏身シ、蚯蚓ハ露角ナルヘシ、大慮而解トハ、指佛ナリ、老思而知大慮而解共ニ古キ詞ナリ、是等モ歟ノ字ニ付テハ、疑カト覺エタレトモ非爾、即不中ノ道理ナルヘシ、又子細ニ檢點シ、檢點ヲ子細ニスヘシトハ、子細ニ檢點スト云ヘハ、猶人ヲ置テ委シク、カムカヘシレト云心地ニモマカヒヌヘシ、檢點ヲ子細ニスヘシト云ヘハ、無能所也、發菩提心ヲ、菩提心發ト云シカ如シ、

檢點ノ子細ニアタリテ滿眼聞聲滿耳見色サラニ沙門一隻眼ノ開明ナルニ不是目前法不是目前事ナリ、

眼ニテ見色、耳ニテ聞聲、常ノ儀ナリ、今ノ詞不普通、然而盡十方界眞實人躰ノ上ノ見色聞聲ノ姿、始テ非可驚、以眞實人躰ヲ爲眼爲耳、以此道理ヲ聞見ノ詞ヲハ可心得此理ヲケタタハ如日來、以眼見色以耳聞聲ト云トモ、更不可同、日來見、又沙門一隻ノ眼ノ開明ナル時節ニハ、マコトニ目前法、目前事アルヘカラス、全眼ナルユヘニ、

雍容ノ破顔アリ、瞬目アリ、是行佛威儀ノ暫爾ナリ、被物牽ニアラス不牽物也、雍容ノ破顔トハ、巍々堂々ナムト云躰ナル詞ナリ、一隻眼ノ開明ト云詞ニ付テ、破顔瞬目ナムト云詞ハ、出クル也、是ハ皆行佛威儀ノシハラク始成スル姿也、行佛威儀實ニ爭物ニカハハラム、ユヘニ不牽物也トハアルナリ、

緣起ノ無生無作ニアラス……

本有然ニアラスト云、本有然ハサモアリナムト覺タレトモ是モ始ニ對シタル本ナラハ非セラル、也如是ヲ是スルトハ如是ト被擧ハ前ニイタス滿眼聞聲已下破顔瞬目緣起無生無作本有然等ヲ指テ是等ヲ是スルノミニ非ス、皆是ヲ行佛威儀也ト被決也只彼モ是モ行佛威儀也ト云ナリ、

爲法爲身ノ消息ヨリ心ニ任ス脱生脱死ノ威儀シハラク佛ニ一任セリ

上ニ爲法捨身爲身捨法ナムト云ヲ捨ノ字ヲツクレハ猶迷ヌヘシ只法ハ法ニ任セ身ハ身ニ任スト云也脱生脱死ヲハ佛ニ任スト云心ニ任ト云ト佛ニ一任スト云只同詞也心與佛無差別ユヘニ、

ユヘニ道取アリ萬法唯心三界唯心サラニ向上ニ道得スルニ唯心ノ道得アリイハユル墻壁瓦礫也唯心ニアラサルカユヘニ墻壁瓦礫ニアラス、

萬法唯心三界唯心ハ常事也サラニ向上ニ道得スルニトハ萬法唯心三界唯心ト云外ニ又道得アリト也萬法與三界ヲ略シテ只唯心ト許アルハ萬法三界ノ詞ヲ引シロハセテ只唯心ト許イヘハ今一重交ルモノ無キ様ニ聞エタリ唯心ノ道理ハ墻壁瓦礫也唯心ニアラサルカユヘニ墻壁ニ非トハ只會不會即心是佛ノ上ニ非心非佛ヲ談セシ

カ如シ、

コレ行佛ノ威儀ナル任心任法爲身ノ道理ナリサラニ始覺本覺……三賢十聖ノ所及ナラムヤ、

行佛ノ威儀ナルニハ心ハ心ニ任セ法ハ法ニ任セ身ハ身ニ任スル道理也實ニモ今始テ始覺本覺等ヨリツタハルヘキニ非道理也、

コノ威儀只是面々ノ不會也枚々ノ不會也ナリタトヒ活潑地モ條々盡ナリ、

面々トハ、任心任法爲身等ヲアクルナリ、是等ニカキルヘカラス、萬法ヲモアクヘケレトモ、先近ニ付テ是等ヲ指スナリ、不會トハ法ノ全躰ヲ指テ云不會之、枚々トハ面々ト云同事也、活潑々地トハ、イキタル心地、解脱ノ詞也、魚ノ尾ヲハタラカスニ喩歟、イツクマテモ無際限ノコル所ナキ心地ナリ、

一條鐵カ兩頭動カ一條鐵ハ長短ニ非ス兩頭動ハ自他ニアラス此展事投機ノ力功夫ヲウルニ威掩萬法也眼高一世也收放ヲサエサル光明アリ僧堂佛殿厨庫山門サラニ收放ニアラザル光明アリ僧堂佛殿厨庫山門ナリ、

一條鐵モ、兩頭動モ、長短ニアラス、兩頭動モ自他ニアラスト、一ノ詞モ兩ノ詞モ、長短自他ニカ、ハラス、皆行佛ノ上ノ、一條兩頭長短自他ナルヘシ、威掩萬法トハ萬法ニヲ

ハルト云也●是ハ行佛威儀ニヲハレタル也所詮行佛威儀ノ道理ノ外ナキ心地ナ
 リ眼高一世トハ眼一世ニ高シトハ盡十方界沙門一隻ノ眼ナリ眼ノ外ニ物ナキ所ヲ
 暫高トハ云ナリ收放ノ詞光明ニ付テイテキタル也佛ヲ置テ此上ニ光明ヲ放時アリ
 又ヲサマル時アル様ニ思ナラハシタルヲ今ノ光明ハシカルヘカラス雲門ノ詞ニイ
 カナルカ光明トアリシ時雲門替衆テ僧堂佛殿厨庫山門ト被仰キ其詞ヲ今被引出也
 所詮今ノ光明尋常ニ思ナラハシタル能照所照ノ儀ニアラス日月珠火等ノ光ニ不可
 類僧堂佛殿厨庫山門ノ當體ヲ指テ光明ト談也此道理コソ收放ヲサエヌ光明トモ云
 ハレ收放ニアラサル光明アリトモイハルレ光明究盡ノ道理如此ナルヘシ光吞萬像
 光歸何處ナムト云祖師ノ詞モ尤モ可符合物也
 サラニ十方通ノ眼アリ大地全收ノ眼アリ心ノマヘアリ心ノツシロアリ
 十方通ノ眼トハ沙門一隻眼ノ事也大地全收ノ眼ト云只同事也心ノ前後是又非可迷
 以心前後ト談也
 如此ノ眼耳鼻舌身意光明功德ノ熾然ナルユヘニ不知有ヲ保任セル三世諸佛アリ却知
 有ヲ投機セル狸奴白牯アリ
 カクノ如ノ眼耳鼻舌身意トハ前ニ所云ノ眼耳鼻等事也光明功德ノ熾然トハ此光明

ノ功德ノサカリニ無邊際照ナレハト云心地也十萬億土ヨリハルカニ照ナント云光
 明ニハアラサルヘシ盡十方光明ナルユヘニ惣テテラサルノ物ナキ也盡界光明ナル
 道理ヲテラストハ仕也三世諸佛ハ不知有ト云ヒ狸奴白牯ハ却知有ト談ス頗物狂ナ
 ル詞ト一旦聞エタリ然而眞實ニ談スル時ハ佛與狸奴白牯更不可差別故ニ今ノ不知
 知努々日來ノ見解ニ仰テ不可心得知不知ニカハハラス道理也三世諸佛ヲ知不知ト
 談シ狸奴白牯ヲ知不知ト談シ彼是非別物也
 コノ巴鼻アリコノ眼精アルハ法ノ行佛ヲトキ法ノ行佛ヲユルスナリ
 此ノ眼精巴鼻共ニ解脱ノ調度ナルヘシユヘニ道理ハ法ノ行佛ヲトキ法ノ行佛ヲユ
 ルス也ト有也佛法ヲトキ法佛ヲトクト云道理ナルヘシコハニハ法ノ行佛ヲトキ法
 ノ行佛ヲユルスナリト云テ一向又法ニテトキユルスト被談ルハ一筋アルヘシ但此
 兩様ノ姿只一道理ナルヘシ或時ハ佛說法トモ云ハレ或時ハ法說佛トモ談シ又佛々
 ヲ説キ佛々ニトカルトモ無盡ノ道理此下ニハアルヘキナリ一法究盡スレハ如此ノ
 道理アラハルユヘニ不拘詞也
 雪峰眞覺大師示衆曰三世諸佛在火焰裏轉大法輪……今三世諸佛ト云フハ一切諸佛也
 行佛ハ則三世諸佛也十方諸佛共ニ三世ニアラサルナシ……

是ハ十月一日開爐ノ上堂ノ時ノ詞云云、ユヘニ依有便、火焰ノ詞ヲ被舉歟、若飛泉ノ邊ニテ上堂アラハ、水ノ詞ヲモ被舉マシ、水火ノ相違アルヘカラサル也。●今三世諸佛トハ、打任テ心得ルニハ、過去ハステニ過ヌ、未來未來、現在ハ今住ス、又十分諸佛トハ、東西南北四維上下ニ、皆番々ニ成道ヲ唱テ、衆生ヲ化度シ給ト心得タリ、是ハ横堅ノ義、三世ヲ立ルハ、堅ノ義、四方四角ハ、横ノ義也、今ハ三世諸佛ト云ハ、一切諸佛也、行佛ハ、則三世諸佛ナリ、十方諸佛共ニ三世ニアラサルナシト云ヘリ、佛ノ上ニ三世ヲ立ル也、東西南北ト云モ、中央ヲ置テ、四角ハ、四方ハ、タツレ、是ハ、東、方ト談スル時ハ、盡地盡界、皆東方皆東方ニアラサル時節アルヘカラス、乃至西、南、北、四維上下皆東方ニ同カルヘシ、東、西、南、北ノ詞モ、努々カハルヘカラス、仍一切諸佛ト云ハトテ、各々ノ佛ヲ一切諸佛ト云ニアラス、所詮三世諸佛、一切諸佛、十方諸佛、是皆同體也、行佛威儀也、一佛ノ上ニ三世諸佛トモ、一切諸佛トモ、十方諸佛トモ可談也。

タトヒ有知也トモ、タトヒ不知有也トモカナラス、三世諸佛ナル行佛也、知有不知有、共ニ三世諸佛ノ上ニ置テ談シ、行佛ノ上ニヲイテ談スルナリ、ユヘニ不知ニカ、ハラサル也。

シカアルニ三位古佛ヲナシク、三世諸佛ヲ道得スルニ如此ノ道アリ、

三位ノ古佛トハ、右ニ所被載之雪峰玄沙圓悟ヲ指也、雪峰ノ玄沙ハ弟子共ニ青原之流ナリ、圓悟ハ臨濟ノ門流也。

シハラク、雪ノ云三世諸佛在火焰裏轉大法輪トイフコノ道理ナラフヘシ、三世諸佛ノ轉法輪ノ道場ハカナラス、火焰裏ナルヘシ、火焰裏カナラス佛道場ナルヘシ……

火焰ヲ道場トシテ、三世諸佛轉大法輪ト云ヘハ、火焰三世諸佛機ヲマウケテ轉法輪スルト心得ラレヌヘシ、三ノ物ヲ出シタルヤウニキコユ非爾所詮今ノ火焰三世諸佛轉大法輪只一物ナルヘシ、惣此三ノ物片時モ取放タルマシキユヘナリ、然者三世諸佛ヲ道場トシテ、火焰說法ストモ、轉大法輪ヲ道場トシテ、三世諸佛說法ストモ云ヘシ、又火焰裏許ニ不可限、風裏空裏トモ云ヘシ、然而四大五大ノ具足ニハアラサルヘシ

諸佛ノ火焰ハ諸類ノ火焰ナルヘカラス、又諸類ハ火焰アルカナキカトモ、照顧スヘシ、實諸佛ノ火焰、諸類ノ火焰トヒトシカルマシキ謂顯然也、諸類ハ火焰アルカナキカトモ、照顧スヘシトハ、諸類ハ火焰アリトモ云ヌヘシ、以諸類火焰トトルヘキユヘニ、ナキカトモイヒスヘシ、諸類ニハ諸物ノ火焰ヒトシカラサルユヘニ、

火焰裏ニ處在スル時ハ、火焰與諸佛親切ナルカ、轉疎ナルカ、依正一如ナルカ……轉法々轉アルヘシ……

火焰ト諸佛親切ナル義アルヘシ、火焰則諸佛諸佛則火焰ナルユヘニ、又轉疎ナル道理アルヘシ、火焰ハ火焰、諸佛ハ諸佛ナルユヘニ、藏身露角三界タ、心ノ大隔ナムト云同心ナリ、又依正一如ナルカノ詞、已下歟ニト被書ハ例ノ何義モアルヘシト云也、

タトヒ盡大地、盡火焰ナリトモ轉大輪ノ法輪アルヘシ、轉諸佛ノ法輪アルヘシ……

是ハ盡大地、盡火焰ノ道理ノツヘニ轉大輪、轉諸佛、法輪轉、三世ノ法輪アルヘシトナリ、此上ニ轉生死、轉迷悟、轉衆生等ノ法輪アルヘシ

火焰ハ諸佛ノ轉大法輪ノ大道場也

イカニモ火焰ハ諸佛ノ轉法輪ノ道場ト云ヘハ、道場ノ詞ニツキテ、各別ナルヤウニ聞ユレトモ、前ニ云ツルヤウニ、諸佛火焰、轉法輪非各別物、只一物ナルユヘニ、火焰諸佛ノ轉大法輪ノ大道場也ト云ハル、ナリ(菩提樹ナハ道場樹ト云、歟、佛ノ說法所々々道場ト云ヘシ)

是ヲ界量時量人量凡聖量等ヲ以テ測度スルニ不當也……

尤有其謂事也、爭以凡見行佛威儀量ヲハ測度スヘキ、不可當事也

三世諸佛轉法輪ノ道場ナルユヘニ火焰アル也、火焰アルカユヘニ諸佛ノ道場アルナリ、如前云、三世諸佛轉法輪ニ、火焰此三種全各別スヘキ道場ナキ所ヲ、トカクツケカヘテ何度モ被談也

玄沙ノ曰、火焰ノ三世諸佛ノ爲ニ說法スルニ三世諸佛ハ立地聽法ス、コノ道ヲ聞テ玄沙ノ道ハ雪峯ヨリモ道得是也トイフカカナラスシモシカアラサル也……

雪峯ハ火焰ヲ爲道場、三世諸佛ヲ以テ轉大法輪スト云、玄沙ハ火焰ノ說法ヲ、三世諸佛聽衆ト成タル所カ、稜群ノ詞ニ聞ユ、仍玄沙ノ道ハ道得是也ト云也、此義不可然、至テ雪峯ノ詞ノ響所カ、ク云ハル、也、更不可有淺深勝劣詞也ト可心得、雪峯ハ火焰ノ中ニテ三世諸佛轉大法輪シ、玄沙ハ三世諸佛ヲ能聽トシテ、火焰說法ス、是ヲ暫雪峯道ハ、玄沙ノ道ト別也トハ云ナリ、然而只同詞同心ナルヘシ、

雪峯ノ道マサシク轉法ヲ道取スレトモ轉法ノ處在カナラスシモ聽法不聽法ヲ轉スルニアラス……

是ハ實ニモ雪峯ノ詞ニハ只三世諸佛、火焰裏ニテ說法スト許云テ、聽法不聽法ヲ論スルニ不及、故ニ如此云也、サレハトテ雪峯ノ詞ニ、聽法不聽法ノ詞ナケレハトテ更不是ナリト不可云、實ニモ三世諸佛說法ノスカタ、全聽法人アルヘカラス、ユヘニ聽法ス聽法ヲ不聽トモ云歟、先雪峯道ノ一筋ハ、如此心得テ可置ナリ、轉法ノ道理必シモ聽法人アルヘシト不可談也

又三世諸佛爲火焰說法スト云ハス、火焰爲佛爲三世諸佛轉大法輪ト云ハス、火焰爲火焰

轉大法輪トイハサル宗旨アルヘシ、
 是ハイハス、ハ例ノ先師替テ雪峰ノ詞ニナキ所ヲイハストハ、被述也、是ハ雪峰ノ
 三世諸佛火焰裏ニシテ、轉大法輪スト云詞ノ理ノ通スル所ヲ重テ被述也、努々雪峰此
 道理ヲ不知、此道ニ此理ノ不足シタルニテハ無キ也、セメテモ雪峰道ノ甚深ニ解脱シ
 タル道理カ、ヒ、キテ如此イハル、也ト可心得、又決スル詞ニイハサル宗旨アルヘシ
 ト文雪峰ニ此道理アルマシクハ、只イハスシラストテヤミヌヘキヲ、イハサル宗旨アル
 ルヘシト云ニテ、知リヌ、雪峰ノ詞ニ、此道理アリト云事ヲ、
 轉法輪ト云ヒ轉大法輪ト云フソノ別アルカ、

是ハ轉法輪、轉大法輪ト文說法ハ玄沙ノ詞、轉大法輪ハ雪峰ノ詞ナレハ、轉法輪與轉大
 法輪云トコソアルヘキニ、共ニ轉法輪轉大法輪トアル不審ナリ、故ニ本ニハ轉法輪ノ
 詞ノソハニ、說歟ト付タル也、說與轉始終相違スヘキニハ非レトモ、雪峰與玄沙ノ詞ヲ、
 シハラク別アルトイハル、程ニテハ此詞不審也、
 轉法輪ハ說法ニアラス、說法カナラスシモ爲他アラムヤ、
 雪峰ハ轉大法輪ト被仰、玄妙ハ說法ト被示、暫法輪ヲハ法輪ニテヲキ、說法ヲハ說法ニ
 テ置カムト云一往ノ意趣也、サレハトテ始終非可相違、是ハ實ニモ說法ハ口業ノ能、上

聖ノ下位ニカウフラシムルト思ハ、凡夫ノ妄見ナリ、說法ノ姿爲他ナルヘカラサル道
 理顯然也、

シカアレハ雪峰ノ道ノ道取スヘキ道ヲ道取シツクサ、ル道ニアラス、雪峰ノ在火焰裏
 轉大法輪カナラズ委悉ニ參學スヘシ……

雪峰ノ三世諸佛在火焰裏轉大法輪ノ道カ、不足ニテ道取スヘキ事ヲ、道取シツクササ
 ル道ニアラスト也、所詮雪峰ノ詞ニ、ノコル理ナキ所ヲアラハス心地ナリ、ユヘニ彼道
 ヲ委悉ニ可參學トハアルナリ、

雪峰ノ道ヲ通スルハ佛威儀ヲ威儀スルナリ、
 雪峰與佛皮肉ノ通スルコトハリ、マコトニ佛威儀ヲ威儀スル道理ナルヘシ、
 火焰三世諸佛ヲ在裏セシムル一無盡法界ニ無盡法界ノ周遍ノミニアラス、一微塵ニ微
 塵ノ通達ノミニアラス、轉大法輪ヲ量トシテ大小廣狹ノ量ニ擬スル事ナカレ、
 火焰ノ三世諸佛ヲ在裏セシムル、廣狹多少ノ論ヲハ、超越スル也、ユヘニコレハ彼ニヒ
 トシメテ云ヘキニアラス、故ニ大小廣狹ノ量ニ擬スヘカラスト云也、

轉大法輪ハ爲自爲他ニアラス、爲說爲聽ニアラス、
 轉大法輪ノスカタ、自他ノ爲ニアラス、說モ聽ニ對シタルニ非サル也、轉法輪獨立ノ姿

ナリ、

玄沙ノ道ニ火焰爲三世諸佛說法三世諸佛立地聽ト云フ是ハ火焰タトヒ爲三世諸佛說法ストモイマタ轉法輪ストイハス三世諸佛ノ法輪イカテカ火焰コレヲ轉スル事アラム、

玄沙ハ火焰ノ說法ヲ三世諸佛立地聽法スト云ヘリ實ニ爲三世諸佛說法ストモイマタ法輪ヲ轉ストイハス云ハテハトテ此理カケタルニテハナケレトモ只雪峰ハ雪峰ノ詞ニテハタラカサス玄沙ハ玄沙ノ詞ヲタカヘテ置ガムト云暫ノ義也始終更詞モ意趣モ非乖角義三世諸佛ノ法輪イカテカ火焰コレヲ轉スルコトアラムトハ三世諸佛ノ法輪ヲハ三世諸佛ノ法輪ニテ置テ三世諸佛ノ法輪ヲ火焰轉スト云事ヲ暫云ハシト云心地也所詮火焰ト三世諸佛ト說法ト各々ナルヤウニ聞ユ火焰裏ニシテ三世諸佛說法シ給フヤフニキコユルヲイツレモ取放ヘキ物ニアラサル道理ヲアラハサム料ノ心地ナルヘシ、

爲三世諸佛說法スル火焰又轉大法輪スマイナヤ、

今ノ三世諸佛ノ爲ニ說法スル火焰又轉大法輪スマヤ否トウケラルハ火焰說法スト玄沙被仰所ヲハタラカサテ置テ轉大法輪ト云詞ヲ雪峰ノ道ニ仰テ置カムト云道理

一箇又火焰カ又轉大法輪ナル道理モアルヘケレハテムスマヤ否ヤトハウケラルハ也所落居只同事ナリ今ノ文ノ面許ハ先如此御意趣ヲウシナハテカレタル定ニ可心得始終非可相違、

玄沙モイマタイハス轉法輪ハ此時也ト轉法輪ナシトイハス、

是ハ如前云雪峰ハ轉大法輪ト云フ玄沙ハ說法ト云時ニ轉法輪ノ詞ヲハ雪峰ニモタセ說法ノ詞ヲハ玄沙ニヲホセムト云義也然者實ニモ玄沙轉法輪ハ此時也トモ又轉法輪ナシトモ不云所ヲ此如被釋也、

シカアレトモ想料スラクハ玄沙ヲロカニ轉法輪ハ說法輪ナラムト會取セルカモシ然者猶雪峰ノ道ニクラシ、

是ハ轉法輪ハ轉法輪ニテアルヘシ說法ハ說法ニテアルヘシ轉法輪ヲ說法ソト玄沙會取セハ雪峰ノ道ニクラシト云也大方ハ轉法輪與說法不可差別然者何ソ如此玄沙被心得タランクルシカルヘキト覺タレトモイクタヒモ只玄沙與雪峰ノ詞ヲタカヘテハ云ハムト云イマナリユヘニ轉法輪ヲ說法ト心得タラハ雪峰ノ道ニクラシトハ云モ實ニハ更理ノ行所クラカラサル也、

火焰ノ三世諸佛ノ爲ニ說法ノ時三世諸佛立地聽法ストハシレリト云ヘトモ火焰轉法

輪ノ所ニ火焰立地聽法ストシラス……三世諸佛ノ聽法ハ諸佛ノ法也他ヨリカウフラ
シムルニアラス、

是ハ玄沙ノ詞ニ不云詞共ヲ取出シテイハス不知ナムト云也、雪峰ノ詞ノ理ノ通スル
所ヲ只今ノ面ニナキ詞共ヲ先師取出シテ被書出タルナリ、ナシト云ヘトモ皆此詞有
也、實ニモ三世諸佛ノ聽法ハ諸佛ノ法也、他ヨリカウフラシムルニ非ル謂顯然ナルヘ
シ、

火焰ヲ法ト認スル事ナカレ、火焰ヲ火焰ト認スル事ナカレ、

實ニ一筋ニ火焰トモ難取定、今ノ火焰三世諸佛ナルヘキカ、轉法輪ナルヘキカ、說法ナ
ルヘキカ、何トモ難治定道理ナルヘシ、火焰ヲ火焰ト認スル事ナカレト云、詞アシカル
ヘキニハアラキトモ、火焰ヲ火焰トモ、何人モ可認シ、ヲホツカナシ、今ノ火焰ノスカタ、
佛ニテモ法ニテモ、火焰ニテモ、アル時ニ、火焰許ニハト、マラサル心地也、

マコトニ師資ノ道理ナラサリナルヘカラス、將謂赤鬚胡ノミナラムヤ更ニコレ胡鬚赤
ノ道理也、

雪峰與玄沙ノ詞ヲ返シ入リマセテ、タカヘス談セムト云意趣也ト思ホトニ、コ、ニハ
師資ノ道不可等閑將謂赤鬚胡々鬚赤也ト云ハル、始終師資ノ詞不可違同道理ナル證

據分明也、只暫見解ノアシクナリヌヘキ所ヲ被示也、

玄沙ノ道此如也ト云ヘトモ參學ノ力量トスヘキ所アリ、所謂經師論師ノ大乘小乘ノ局
量ニ性相ニカカハレス、佛々祖々正傳セル性相ヲ可參學也……

如文玄沙ノ火焰ノ說法ヲ、三世諸佛立地聽法シタル詞ヲ被讀也、實ニモ大小乘ノ性相
ニ不聞詞也、

諸佛ハ機緣ニ逗スル說法アリトノミ知テ、說法聽法ストシラス、諸佛修行スト不云諸佛
成佛スト不云今玄沙ノ道ニハステニ三世諸佛立地聽法ト云フ、諸佛聽法スル性相アリ
諸佛ノ說法ヲ聽法スルトノミコソ心得タルニ、火焰ノ說法ヲ三世諸佛聽佛シ給事返、
々被驚詞也、又諸佛修行スト云ハストアリ、是又珍キ詞也、修行ハ因位ニ仰テ、此修行ノ
力ニコタエテ得證ヲ、終ニ成佛スルトコソ心得タルニ、諸佛ノ修行、諸佛ノ成佛、返々珍
キ詞也、但此宗門ニ教行證ノ三重、努々各別ニ不心得、教ニ行證アリ、行ニ教證アリ、證ニ
教行アル上ハ、不始于今事也、諸佛成佛ノ詞ハ、火焰與諸佛至テ親切ナル時、如此イハル
、也、

カナラスシモ能說ヲ勝タリトシ、能聽是法者ヲ劣也ト云事ナカレ……
日來ノ舊見ハ、諸佛說法シ給テ、衆生聽法スト心得タルトキハ、爭カ勝劣ナカルヘキ、

但是ハ上聖ノ下位ニカウフラシムル義也、今ノ所談ノ上ニハ、實能說所說不可有勝劣義、尤有其謂、ユヘニ說者尊ナレハ、聽者モ尊也ト云也、能說所說共ニ不可有勝劣淺深也、釋迦牟尼佛ノ曰若說此經則爲見我爲一人說是則爲難シカアレハ能說法ハ見釋迦牟尼佛也則爲見我ハ釋迦牟尼佛ナルカニヘニ、

若說此經トハ、指法華也、則爲見我ノ我ハ、釋迦牟尼佛也、釋尊所說ノ經ヲ、衆生轉讀スレハ、滅罪生善也、頓證菩提ニ可至トコソ心得ルニ、則爲見我トアリ、見我ノ詞モ、能見所見ノ義ニアラス、此經ト我ト見ト、惣テ取放ヘキ道理ナシ、故ニ則爲見我ト心得也、爲一人說是則爲難トハ、則爲見我ト不心得ニ仰テハ爲難ナルヘシ、今ノ親切ノ理ニ任テ、心得ル時ハ、カタシトセサルナリ、所詮能說モ、釋迦見我モ、釋迦ノ道理ナルヘシ、又云於我滅後聽受此經問其義趣是則爲難シルヘシ聽受者モ同ク是則爲難也勝劣アルニアラス、

於我ノ我ハ釋尊ナリ、我滅後ニ爲一人聽受、此經問其義趣セムハ、皆是如我ナルヘシト也、此道理カ是則爲難トハ云ハル、也佛ノ外ニ此甚深微妙難解難入ノ理ヲ說々著不可有ヲ、今問其義趣シ聽受此經セムハ、已ニ是法華トヒトシキユヘニ、難シトハ被說ナリ、

立地聽コレ最尊ナル諸佛也ト云トモ立地聽法アルヘキ也立地聽法コレ三世諸佛ナルカニヘニ

最尊ナル諸佛ハ、聽法スト云義不可有ト、打任テハ云フ、此諸佛與聽法ノスカタ、先々沙汰舊了ヌ、火焰三世諸佛聽法ノアワイ、暫時モ取放ヘキ道理ナシ、只一物ナリ、ユヘニ一物ノ上ノ所談ナリ、故ニ三世諸佛聽法ストハ暫被談ナリ、火焰モ聽法スヘシ、轉法輪モ聽法スヘシ、聽法モ聽法スヘキナリ、

諸佛ハ果上也、因中ノ聽法ヲ云ニアラスステニ三世諸佛トアルカニヘニシルヘシ三世諸佛ハ火焰ノ說法ヲ立地聽シテ諸佛ナリ、

加文イカニモ、諸佛ハ果上ト心得、聽法ハ因中トワクルヲ、因果ニカ、ハラヌユヘニ、三世諸佛ハ、火焰ノ說法ヲ、立地聽シテ、諸佛也トハアルナリ、

一道ノ化儀タトルヘキニアラスタトラムトスルニ、箭鋒ヲ相拄セリ、
化儀ト云詞、如何ニモ所備機緣ヲ置テ、化トハ仕ナリ、シカルニ今ノ化ハ、火焰與三世諸佛ノアソヒヲ、箭鋒相拄セリトハ云也、相互ニ相サ、ヘタル力量ナルヘシ、其ト云ハ、火焰與諸佛、一體ナルカニヘニ、相拄スル也、法華經化一切衆生皆令入佛道ノ化ト同心ナリ、釋尊衆生ヲ化シ給トコソ心得ルニ、此化ハ衆生與釋尊一體ナル化ナルユヘニ、化一

切衆生皆令入佛道トハ仰ラル、ナリ、是コソ釋尊ノ、我本意誓願ノ御本意アラハル、ニテハアレ、

火焰決定シテ三世諸佛ノ爲ニ說法ス赤心片々トシテ鐵樹花開世界香也

是等ノ道理ナルユヘニ、決定シテ火焰ハ、爲三世諸佛說法スル也、赤心片々例詞也、アラ

ハニ無邊際心ナリ、鐵樹花開世界香モ、同心ナリ、是ハ古キ詞歟、只イツクマテモ、無邊際

義ナリ、カウハシトハ華開ノ詞ニ付、

且道スラクハ火焰ノ說法ヲ立地聽シモテ行ニ畢竟シテ現成箇什麼

是ハ火焰ノ說法ヲ、立地聽スルニ、イカナル道理カ、現成スルト云心ナリ、

イハユルハ智勝于師ナルヘシ、智等于師ナルヘシ、サラニ師資ノ圖奥ニ參究シテ三世諸

佛ナルナリ

智勝于師、智等于師ノ道理イハ、雪峯與玄沙ノアヒカ、又火焰與三世諸佛カ、イツレ

モ不可有差別勝等ノ詞、只同心ナルヘシ、勝等ノ勝ハ、勝劣ノ勝ニアラス、又相對ノ等ニ

アラサルヘシ、此道理ヲ參究スルユヘニ、三世諸佛ナル也トハ被決也、

圓悟イハク比猿白ト將謂スルサラニ、猿黒ヲサエサル互換ノ投機ソレ神出鬼沒也

黑白ハ相違ノ法トナリヌヘシ、然而今ハ於猿上談黑白故ニ、此黑白只同物也、神出鬼沒

ノ詞、神與鬼只同物ナリ、於神鬼上出沒ノ詞アリ、是又同詞ト可心得、所詮雪峰玄沙ノ詞

カハリタル様ナレトモ、只同道理、猿白猿黒程ノ義也ト云事ヲ、圓悟被示ナリ、

コレハ玄沙ト同條出スレトモ、玄沙ニ同條入セサル一路モアルヘシト云ヘトモ、火焰ノ

諸佛ナルカ、諸佛ヲ火焰トセルカ、黑白互換ノ處、玄沙ノ神鬼ニ出沒スト云ヘトモ、雪峯ノ

聲色イマタ黑白ノ際ニコラス、

是ハ雪峯與玄沙只同心ナレトモ、詞ノ面ノ聊カハリタル所ヲ如此云ハル、ナリ、火焰

諸佛無各別義ユヘニ、火焰ノ諸佛ナルカ、諸佛ヲ火焰トセルカト、ウケラル、ナリ、イツ

レニモアタリタル義也、黑白互換ノ處ト、玄沙ノ神鬼ニ出沒ト同理ナリト云ヘトモ、雪

峯ノ詞モ、黑白神鬼出沒等ノ理ニコラス云ツクシタルナリト云心ナリ、

シカモ如此ナリト云ヘトモ、玄沙ニ道是アリ、道不是アリ、雪峰ニ道拈アリ、道放アル事ヲ

シルヘシ……

是ハ雪峰玄沙ノ詞ニ理モアリ、又不是モ有ト云也、但如此云ヘハトテ、眞實ニ雪峰玄沙

ノ詞ニ不足アリト云、義ニテハ努々アルヘカラス、雪峰玄沙ノ詞響道理ニテ、コソ、圓悟

ノ詞モイテクルトキニ非、彼賞此心アルマシキヲ、アマリニ委クウラヲモテニ、談スル

トキ就文ノ面ニ暫カ、ル一往ノ義モアル也、其故ハ雪峰ノ道ハ、火焰ヲ道場トシテ、三

世諸佛轉大法輪シ、玄沙ハ火燭ノ說法ヲ三世諸佛立地聽法ストアリ、文ノ面彼是取ワケタルヤウニ聞ユル所ヲ、如此云ハル、也、其ニ今圓悟ノ詞ニ、烈燭亘天ハ、佛法ヲトクナリ、亘天烈燭ハ、法佛ヲトク也ト、サワサワトアレハ、能所彼此モ聞ス、此ノ圓悟詞ヲ暫賞概セム料ニ、雪峰玄沙ノ詞ヲ、道是道不是、道拈道放トハ云ナリ、サレハトテ、前ノ兩古佛ノ詞ヲキラヒ、淺深ヲ立ツルニ非ス、此圓悟ノ詞、ノ兩古佛ノ詞ニノコル分モ、更ニ不可有トモトニカクニ法ノ理ヲアラハストキ、一往暫カカル詞モ、イテクル也ト可心得、タトヒ烈燭ニクラシト云トモ、亘天ニヲ、ハレハワレ其分アリ他ユノ分アリ、亘天ノヲ、ウ所ステニコレ烈燭ナリ、這箇ヲキライテ用那頭ハ、作麼生ナルノミナリ……烈燭與亘天、只同物ナル上ハ、烈燭亘天ト云ハストモ、亘天ニヲ、ハレサルモノアルヘカラス、然者亘天ニテタリナム、烈燭ノ詞ナクト云ト云心ナリ、亘天ノヲ、ウ所ステニ烈燭ナリト云ヘリ、烈燭ト亘天一ナル事顯然ナリ、這箇ヲキラヒテ用那頭ハ、作麼生ナルノミ也トハ、ゴ、ヲキラヒテ、彼ヲモチ非テハ、イカナルソト云心ナリ●去聖方遠トハ、西天與震旦、日本事也、去聖時遠トハ、釋尊入滅二千餘年ノ事也、如文可心得、イハユル佛法ヲトクコトハ、キク所也ト云ヘトモ、法佛ヲトク事ハ、イクカサナリノ不如ヲカワツラヒマシ、

此詞ヲ返々被讚也、實珍シキ詞也、三世ノ諸佛ハ三世ニ法ニ説カレ三世ノ諸法ハ三世ニ佛ニトカル、ナリ、佛說法、法説佛ノ道理如此也、葛藤窠ノ風前ニ剪斷スル亘天ノミアリ、一言ハカクル、事ナク、勘破シキタル維摩詰ヲモ、非維摩詰ヲモ、葛藤窠ハ、繫縛ノ詞也、風前ニ剪斷スルトハ、解説ノ詞ナリ、葛藤窠ヲハ、風前ニ剪斷スルトハ、今亘天ノヲ、ウ所カ、皆亘天ノ道理ノ外ニ、物ナキ所ヲ剪斷ストハ云也、一言ハカクル、事ナク、勘破シ來トハ、此亘天烈燭、乃至雪峰玄沙ノ詞ニテ、維摩詰ヲハ、ヤスク勘破シテムト云心地也、非維摩詰ノ詞ハ、維摩ニアラサル物モト云心地也、シカアレハ、則法説佛也、法行佛也、法證佛也、佛說法也、佛行佛也、佛作佛也トモニ、行佛威儀也……マコトニ佛說法ニ説佛許ニテハアルマシ、如右舉イクラモイクラモイハルヘキ道理也、亘天亘地ノ詞盡界ト云心地ナリ、得者不輕微明者不賤用也、實ニ可然、此理ヲ得ルモノ不可輕明ムルモノ又イヤシク不可用、道理顯然也、維摩詰ト

ハ俗弟子也、維摩居士是也、淨名居士トモ云イカメシカリシモノナリ、智慧第一舍利弗、辨舌第一富留那已下、佛弟子數百人、維摩居士ニ問答セシニ、皆佛弟子等ヲツメタリキ、其ニ文殊コソ佛ノ化ヲウケテ、無言無說無字無識ト仰セラレシ時、維摩此詞ヲ請テ隨喜シタリキ、我方丈ニ三萬六千ノ床ヲ立タリキ、然而方丈モセハカラス、煩ナカリキ、カ、ル不思議ナリシ居士也、仍今維摩ヲ被引出ハ、カ、ルモノナリトモ、此詞ニテハヤスク勸破シナムト云心地ナリ、

▲行ハ身ノ威儀ニツク、行住坐臥也、止觀ハ意地ニ置、但是ハ教ノ心地也、正法眼藏第四身心學道ハ今ノ行佛也、抑今ノ行佛ト云事、イカナルヘキン、行佛トハ打任ヌ名目也、其故ハ行ノ時ハ、因位ニテ菩薩ノ位也、萬行功滿シテ證佛トハ云トモ、行佛トハ難云テ、教行證ノ三ヲ一ニイフ時コソ、行佛トモイハルレ、證ヲ不待行ナルユヘニ、▲行佛ト云事、教家ニナキニハアラス、大乘因者諸法實相也、大乘果者亦諸法實相也ト云、此因果程ノ行ト、可心得、行ヲ佛ナスヘシ、佛ヲ行スト不可云、佛ヲ行セバ、能行所行アルニ似タリ、▲聖者ヲ云時、タニモ有學無學ト云ヒテ、猶無學ヲトルマシテ、佛ニ行ヲハ付カタシ、然而今ノ行佛ハ、報佛化佛、自性身佛、他性身佛、始覺本覺、性覺無覺等ノ、佛ニハ不可齊肩云、唯行トナリ、▲自性身佛ハ法身ノ佛ニアタル、他性身佛ハ、報身ノ佛ニアタル、▲報佛(化

ニ付タル佛也、又修因感果) ▲化佛(化ハ無爾忽有名爲化ト云テニハ) ▲自性佛(モト佛ノ佛ヲシテ報佛ト云フ) ▲他性佛(自ニ對ス、他性佛ナリ、行ニヨル、隨他佛ニ) ▲但報佛化佛、始覺本覺ト云ハムモカナラス、詞ヲ嫌ニハアラス、コナタニ談セムニハ、イツレモ行佛ホトニ談スヘキモノナリ、▲諸佛ノ佛道ニアル、覺ヲマタサルト云ハ、此佛道ニアルト云ハ、佛向上ノ義也、右ニ所舉ノ佛トモニハアラサル所ヲ覺ヲマタスト云、▲佛縛法縛ト云ハ、佛モ法モアシク、談セムニハ縛ト云フキ也、▲一念ヲ經歷スルニ、ナヲ未解脱ノ期ヲ期セスト云フコト、一念ハ、凡夫ノ念ナルユヘニ、解脱ノ期ヲ期セスト也、▲法身ノ病ヲ不知、報身ノ窮ヲ不知ト云フ、是ハ菩提ヲ知見スル見ヲ、病トモ窮トモ仕フ、窮ハイタミナリ、タトヘハ窮ト仕フヲナシ、▲コノ無明縛ト云詞、能々可了見事也、菩提ヲ菩提ト知見解會セムハ、ヨカリヌヘキ事ヲ、縛ト云ヘキ様ナシ、而法性ノ縛ト、無明縛トヲ、タテクラヘテ、法性ノ縛ト云ハス、無明ノ縛ヲカサナムト云フ心得ラレネトモ、所詮法性ヲ、菩提ソヲ心ノ外ニ置クトキヤカテ、○(無明不覺此)ナリ、無明ノ字ヲツケタル上ハ、縛ヲカサヌト云、尤有其謂者也、法性モ菩提心モ、一ト心得ヌル上、タトヒ無縛トハ云ヘトモ、縛ノ字ノカレヌ也、▲我本行菩薩道、復倍上數文菩薩ノ道ノ所成カナラス、壽命ハカリヲ非可舉、不審也、但是ハ經ノ本文、壽量ヲアカシテ久遠實成ノ顯本スルユヘニ、壽命ト云フ、タタ所成眼

精トモ所成鼻孔トモイハム同事也、又壽ト云ヘハトテ、我等カ命ヲサスヤウニハ心得
 マシ、行ソヤカテ壽命ニテモアルヘキ、菩薩行菩薩壽命只同事也、▲我本行ノ我ハ、吾我
 ニハ非ス、菩薩ノ道ニ付テ我トハ云也、本行ノ行ハ、今ノ行佛ノ行也、又誰カ壽命ト難云、
 誰カ本行トモ不可云、此時ハ佛モ菩薩モ勝劣ナキ也、又我本行佛道ト可心得、菩薩ノ字
 ニ可取替、復倍上數ノ上ハ、無上ト云也、不對下大々超ナムト云程ノ上也、▲我本行タト
 萬ヒ里一條鐵也トモ、百年抛却任縱橫トハ、上ニ化機漏泄セルコト、亘時也、亘方也ト云
 心也、諸乘一佛乘ナムト云、是一條鐵也、抛却ノ儀也、三世抛却ヲ百年トハサス也、▲修證
 ハ染汚ニ非ズト云、不染汚ハ必修行ノミニアラス、行佛ノ不染汚モアルヘキ也、▲無佛
 無人ノ所在、百千萬アリト云ヘトモ、行佛ヲ染汚セスト云ハ、不待證、又染汚ニ非サルユ
 ヘニ、佛モ人モ無也、是ハ身土不二ト談スレハ、無佛無人ノ心也、又修證ハ無ニアラス、修
 證ハ有ニアラスト云ヘルトキニ、無ヲ釋スル詞ニ、無佛無人トイヒ、有ヲ釋スル所ニ、處
 在トモイヒ、百千萬アリトモ仕フナリ、別無佛無人ノ所カアリ、百千萬ノ別ノ物カアル
 ニハアラス、有無ノ詞ヲ仕事、此宗門ノ義ヲヨク、可心得、▲行佛ノ修證ニ染汚セラ
 レサル也、修證ノ不染汚ナルニハアラス、此不染汚ソレ不無ナリ、此不染汚ソレ不無也
 ト云トキニ不染汚ノ釋トミエタリ、コトノヲコリ、修證ハ不染汚、スルコトエシトイ

ヒ、不染汚ヲハ又不無ト云フトキニ行佛修證不染汚、此三肩ヲヒトシメタルナリ、ユヘ
 ニ行佛ノ修證ニ染汚セラレサル也、修證不染汚ナルニハアラスト云フ、▲曹谿曰、祇此
 不染汚、乃至西天諸祖亦如是、天台義ニ雙非雙照ト云名目アリ、汝吾亦如此トイヘハ、又
 非汝非誰ト云義モアリ、二ヲカケテ雙非雙照ト云ニハアラス、一ヲアクレハ、一ハカク
 ル、義ナリ、▲コレハ汝亦不染汚、吾亦不染汚、諸佛不染汚、諸祖不染汚ト云ヘシ、不染汚
 ノ行ハ不待證ナリ、汝モ吾モ西天ノ諸祖モ亦如是ナレハタ、一ナリ又行ニノミ不染
 汚ト云ヘカラス、人ニ仰テモ不染汚ト云ヘシ、如吾是吾ト云フ、ユヘニ吾諸佛也、汝諸佛
 也、コレ行佛威儀ナリ、行佛ト修證ト二ヲタテ、ハヲカス、修證ハイマハイカテモアリ
 ナム、タ、行佛ハ不染汚ナリ、如吾モ不染汚、是吾モ不染汚、諸佛モ不染汚、所護念モ不染
 汚也、▲明行足ト云ハ、佛ノ十號ノ其一也、行足ノ行ハ、今ノ行佛ノ行也、足ノ字ハ行ニツ
 ク、然者足トモキコユ、但タレリト云ハムモ同カルヘシ、佛ノ行不足ナキユヘニ、目足不
 備ハ清涼ノ地ニ不至ト云事モアリ、行足ノ足ナルヘシ、▲護念トハ、不染汚ヲサス也、不
 染汚ヨリ外ノ佛ノ行ナキユヘニ、▲曹谿古佛ノ道得、タトヒリレニアラストモ、ナムチ
 ニ非サラムヤト云ハ、ミナアラスアラスト謝遣シテハツヘキナラヌユヘニ、アラサラ
 ムヤト云也、汝ニアラス、誰ニアラスト云フコ、チハ、汝也、誰ナリトモ云ヘキ也、ユヘニ

汝ニアラサラムヤト、ク也、奥ニ烈焰ニクラクトモ、亘天ニヲ、ハレテト云程ノ事也
 ▲行佛ノ去就ト云ハ(アリサマナリ、サリツ)▲行佛ノ上ニヲイテ云ニ果然トシテ、佛
 ヲ行セシムルニ、佛則行セシムト云、是ハ佛ニ作佛セラル、カ、佛ヲ作佛セシムルカナ
 ムト、云心地也、只佛ノ一面出、兩面出スル程ノ去就ト心得ナリ、▲爲法捨身、爲身捨法、不
 惜身命但惜身命也ト云フ、是ハ皆一詞ト云ツヘシ、汝亦如是吾亦如是ノ法ヲステ、不染汚
 ル也、法ト身ト惜捨ト亦如是ナリ、爲法捨身ト云心地、不染汚ノクマニ法ヲステ、不染汚
 ノ爲ニ身ヲスツトモ云ムカ如シ、▲捨ハ無量ナルヘシト云ハ、今ノ捨法ノ義也、菩薩ノ
 四無量ノトキハ、ナヲ似有量イマワスルヘカラスト説ハ、彼四無量ヲモ、イマノ捨ノ如
 ク心得ヨト也、▲今ノ捨ハ、スツトハ心得マシ、不惜身命ニモ、但惜身命ニモアタルヘシ
 捨無量ヲ教ニ談スルハ、布施ヲ行スル事ノ際源ナキヲ捨ト仕フ、一針一草ヨリ、國城妻
 子頭目髓腦マテモ布施スルユヘニ菩薩ノ四無量ハ、因マテ、佛量ヲ果ト云フヘカラス
 ト也、ヤカテ彼四無量一々ニ佛見ニ心得ヘシト也、▲過量ノ面目有ト云ハ、過量ト云ニ
 二ノ義アルヘシ、ダトヘハ一尺ノ物ヲ、爲本、一尺一寸モ二寸モアラハ、過ト云義モアリ
 ヌヘシ、是ハ世間ノ過ナリ、今ハ惣テ量ヲカスユヘニ、過量ト仕フ、盡界全量ノ心ナル
 ヘシ云云、過量是ナリ、行佛量也、▲行佛ノ威儀ニ一究アリト云ハ、即佛即自ト、怎麼來セ

ルニ、吾亦汝亦ノ威儀ナレハ、佛カヤカテミツカラナルナリ、ユヘニ一究ト也、▲唯我能
 ニカ、ハレリト云トモ、則十方佛然ノ脱落コレ同條ノミアラスト云、我能ト云ハハ、
 十方佛然ト難云、十方不然ト云ヘケレトモ、佛道ノ詞ハ、如此、唯我與十方非各別ユヘ
 ニ還テ同條ノミアラストイハル、▲古佛云體取那邊事、却來這裏行履トハ、體取トハア
 キラムル心也、那邊ト云ヒ、這裏ト云ハ、汝亦如是、吾亦如是ノ心地也、イツレモサス所ナ
 シ、▲法身行佛ヲノヲノ承當ニ聖礙アルノミナリト云ハ、行ノ承當カ一々ニ、百草頭ノ
 明々ニテアルナリ、此上ハ至道無難勿論ナリ、行ノ承當ノ時ハ、法モ身モ佛モ、聖礙セラ
 レ、法ノ承當ノ時ハ、行モ身モ佛モ、聖礙セラル、ナリ、如此聖礙セラル、カ脱落ニテハ
 アルナリ、▲眼礙ト云ヘハトテ、不見ナルニハアラスト、明々百草頭ナリ、コノユヘヲコソ
 不見一法不見一物ト動著スルコトナカレト云フ、詞モ出テクレ、▲這法ニ若至也、那法
 ニ若至也ト云ハ、眼礙ニ明々百草頭ナラムハ、ヤカテコレヲ見一法、見一物ト仕ヘシ此
 若至ナレハ拈來モ明々百草頭、拈去モ明々百草頭、乃至出入モ皆百草トナリ、▲出門入
 門ヲ皆草トモ仕ヒ、無寸土トモ仕フ、▲世尊密語密附ト云ハ、コノ密ハ、秘密ノ密ノ密カ
 クシタルニアラス、キヒシク親切ナルナリ、密附ハ付囑ノ義ナリ、▲入之一字ト云ハ、此
 一字ハ草ト云程ノ詞也、出入ノ詞ハ、那頭也、不用得這頭也、不用得也、▲把促ハ放行ヲマ

タサレトモ、コレ夢幻空華ナリ、誰カ是ヲ夢幼空華也ト、將錯就錯セムト云フ、把捉也、夢幻空華、放行也、○夢幻空華ト云ハムカ如シ、此夢幻空華ノ詞大切ナルヘキニハアラス、這頭也不用得、那頭也不用得トイフ同事也、ユヘニ誰カ將錯就錯セムトハイフ、アヤマリナルヘキニアラス、誰ナキユヘニ、又把捉放行ノ詞ノ下ニ、夢幻空華ト云フコトハアリ、但夢幻トハ心得マシ、把捉ハ放行ヲマダサレトモ、コレ竹篋ナリトモ引カヘ、柱杖トモ引替テ、心ヲツクヘシ、コレ把捉入之一字ヲモ、把捉ト云ヒ、出門ヲ以テモ把捉シツヘシ、錯々ト云ハ、アヤマリニアラス、入門ヲモチ出門ニツクルナリ、更ニアヤマリニハアラサルナリ、▲放行ヲマダスト云ハ、今ノ入ハ出ヲ不待トモト云云、今ノ這頭ハ、那頭ヲ不待トモト云ハムカ如シ、▲進歩也、錯、天地懸隔スルカユヘニ至道無難ナリ、一步モ錯ト懸隔シ、兩歩モ錯ト懸隔スルヲ、天地懸隔ト云フ、ユヘニ又至道無難ナルナリ、▲シルヘシ、出生合道出ナリ、入死合道入也、出入モ生死モ、佛道ニ合シテ、佛道ノタケニ、イハムスルヲ合道トハ云ナリ、▲一隅ヲ遺有スルト云フ、有ヲヤルトヨムヘシ、一隅ノ有ヲアケテ有ト云フノミナラス所ヲ遺有ト云也、所塗有ヲ有ト心得ナリ、▲盡乾坤ト云ハ、出入同門出生合道出等コソハ盡乾坤ナレ、一國或一洲ト不可思ト也、這頭那頭不用ホトノ時、出入同門ト仕フ、錯々ト云フ道理ハ、如何是聖ト同時モ、自禪床ヨリ下テ又手シテ

立、如何是凡ト問時モ、自禪床下テ又手シテ立、凡聖相去事如何ト問時モ、又手シテ立程ノ詞也、▲盡生死去來也、塵刹也、蓮華也、塵刹蓮華ヲノヲノ一隅也、ト云ハ此塵刹ハ、塵々トテ多カル數ニモ仕フ、又國土世界ニモ立スル事アリ、塵勞トテケカレタル事ニモ仕フ、蓮花ハ不染泥清淨ノ物ニ對シテモ云フ、塵刹也、蓮華也ト仕フヲナシ詞ナリ、一塵云モ、法界ト云心地也、行佛威儀ノ時ハ塵刹モ蓮華モ、玉轉珠廻ノ頭正尾正也、▲三次五次トハ、再三ト云心地、三度五度モ只メクラセト也、▲極大同小極小同大ト云ハ、大モ小モ極ノ位ヲ同ト仕也、喩ハ心佛及衆生是三無差別ト云カ如シ、又如全機現、大不對小、々不對大、只大モ小モ極大ナル也、小ヲコメ極シタル大ント云マテハ、大ニモアレ、染汚ノ大也、極ト不可云、所詮大ノアルニ非ス、小ノアルニ非、只行佛ノ威儀也、▲大ノ有ニ非サル小ノ有ニ非サル、疑著ニニタリト云ヘトモ、威儀行佛也ト云ハ、アラサルアラサルト云ハ、極大極小ヲサス也、必大ノスカタ有ソト不可心得、是行佛威儀也、佛法ノ有ナラハ、非大非小ト云フ、行佛威儀トイフヘシ、一寸ヨリハ一尺ハ大也ト云ハ、世門ノ法也、佛法ニハ大ヲ小ト仕ヒ、小ヲ大ト仕フニハアラス、法界ニ對シテ大小ヲ立ル也、○須彌ヲ芥子ノ内ニ入ト云ハ、非神變也、▲偏界不會藏、不會藏偏界ト云事、偏界不會藏ハ常詞也、不會藏ヲ偏界ト云ハムトキハ、一々ノ物ノ上ニ置テイフ心地也、偏界不會藏ト云ハ、一々ヲ

ヲカスシテ云也、タトヘハ諸法佛法ナル時節、マトヒアリ、サトリアリトイハムトキソ、
 不會藏ヲ偏界トイヒ、萬法共ニワレニアラサル時節ヲ、偏界不會藏ニアタルヘキ、偏界
 不會藏ヲ、只アマチクヒロク、不會藏トノミハ心得マシ、佛道ノ不會藏ハ、小ノ不會藏一
 ノ不會藏アルヘシ、二ノ不會藏モアルヘキ也、不會藏ヲ偏界ト參學スヘシト云トキハ、
 三界唯心ノ道理ヲ、不會藏ト云ヘシ、カリ云時コソ、不會藏カ偏界ニテモアレ、▲胎生化
 生ニハ、佛ヲ談ス、佛道ニハ、濕生、卵生ヲユルサス業力深シテ、佛道ニ遠シト云、教家ノ心
 ナリ、▲四生ノ外ノ生ト云ハ、從佛口生ノ生、從法化生ノ生、又心生種々法生、ノ生或爲法
 華爲父以般若爲母ト云フ生アリ、或以自身爲父、以自身爲母ト云フ生アリ、或汝得吾皮
 肉骨髓ノ生モアリ、或盡十方界眞實人體ノ生アルヘシ、胎卵濕化生ノ外ニ、胎卵濕化生
 ト云ハ、盡十方界胎生、盡十方界卵生、盡十方界濕生、盡十方界化生如此ナルヘシ、○教ニ
 ハ胎生化生ノ者、修行シテ成佛ストコソユルセ、直ニ佛トハイハス、此宗門ニハ胎生ス
 レハ、胎生ノ佛、化生スレハ化生ノ佛ト談ス、○卵濕生等ハ、業力少カユヘニ、人トナリカ
 タシ、生々ヲヘテハ、善業増シテ、ツイニ成佛スヘシト也、此詞御聞書ニ被載之、聞書載之
 尤不審但此詞ハ只教ノ所談打任タル道理ヲ被載歟、佛道ノ上ノ所談ニハ不可有、尤此
 分ハアシ由クアルヘキ事也、仍儉ノ卵生スレハ卵生ノ佛、濕生スレハ濕生ノ佛ト可談

シ、仍四生之内、卵濕二カ、業力隔テ生々ヲ經テ、ツヰニ成佛スト云詞、大ニ相違シテ覺ユ、
 但是一向經豪之愚、按也、然共私料簡モ不可違事ナリ、付冥顯甚有恐々々、然而爲後注之
 ○四死三死二死五六死千萬死ノ事、是我等カ五六ナント云カスニ非ス、無縫塔ヲ七尺
 八尺ト云ヒ、頸長二寸ナムト仕カ如シ▲生ハアリテ死ナキモノアルヘシヤト云ハ、生
 カ死トナラテハ、生アリテ死ナシトモ云ツヘシ、死カ生ニナラテハ、死アリテ生ナシト
 モ云ヘシ、是生也、全機現ト云トキ死ナシ、死也、全機現ト云トキ生ナシ▲單生單死ト云
 ハ、心生種々法生、心滅種々法滅コレナリ、生也、全機現死也、全機現コレナリ、▲無佛無法
 無滅ノ無ナルヘシト云、無々生ト談スルハ、タ、無佛無法無滅ヲナシ事也、行佛ノ威儀
 也、是過量也、無生ト云ニモ佛法ニ談スルト小乘ニ談スルトハルカニコト也、小乘ハワ
 ツカニ三界ノ欲ヲ斷シテハ、ウクヘキ生ナシト心得ルヲ、無生ト云、大乘ニハ諸法實相
 ト説コレ無生也▲人佛ノ唯我獨尊ノ道得也トハ、○大地有情同成佛道ト云コトアル
 ヘシ、佛々モアルヘキ也トアルハ、此心地也、天上天下唯我獨尊ト云ハ、天上人間モナシ
 只獨尊ナルヘシ、唯我獨尊ト云テ、天上ニテモ化シ、人間ニテモ化ス、天上天下ト云ヘハ、
 天上人間ヲ取合テ、是等ニスクレテ、獨尊ト被仰ル、ニテハナシ、只天上ニモ獨尊、人間
 ニモ獨尊也、其世界ノ人ニ對シテ、尊トニハアラス人ニ對シテ、尊ナラムニハ不可離三

界見哉、三界唯心ノ道理ヲ得テハ、天上唯天トモ、人間明心トモ云ヘシ▲佛々正傳スル
 大道ノ斷絶ヲ超越シ、無始無終ヲ脱落セル、宗旨ヒトリ、佛道ノミニ正傳セリト云フ、是
 ハ只アリサマヲトク也、迦葉佛與釋迦ノ間ヲ斷絶ト云ハル、也、相傳スルソト云カ超
 越ノ義ニテアル也、▲人量短小ナルニハ、識知モ短少也云云此條不審也、人間界ノ中ニ、
 果報壽命ノコトキ、此南州殊劣ナリ、然而佛法了智ノ智スクレタリ、如何、或答曰、入佛道
 スレハ、コノ南州ノ人ニ非ス、故壽命ノ長短果報ノ勝劣クラフヘキニモ非ス、勿論事也、
 ▲法身ノ上ニハ、又何物ヲカ置ヘキ、然而新佛世ニイテ、卅二相ヲ現シテハ、卅二相ヲ
 體脫シ、八十隨好ヲ現シテハ、八十隨形好ヲ體脫シ、如此スル也、後ニハ若以色見我、不能
 見如來トノヘ御ス、以眼聞聲、以耳見色、コレ佛威儀ナルヘシ、抑六根互融ト云事アリ、六
 根淨ト云モコレ也、但是モ以目聞物ヲ耳ニテ見ム物事、凡夫ノ見ノ如ナラハ無詮、只目
 ニ耳ヲ替タラム、有何要乎、一旦ノ不思議ニテコソアレ、空居天衆生カ空ヲアユム、人間
 ニハ不思議ナレトモ、空居天ハ常ノ式ト思カ如シ、我本立誓願、皆令入佛道トアレハ、如
 我等無異ナルヘシ、▲今行佛威儀ノ無礙ナル佛ニ礙セラル、ニ、通達シ來ト云ハ、致々
 ノ佛ヲ挖泥滯水ト云ヘシ、行佛ニハアラス、但活路通達スルヲ、行佛ト云ヘシ、行佛ニハ
 天上人間ト云事、イサ、カモ不可交トモ、化スルト云ニ被引テイテク、挖泥滯水ト云モ

天上人間ヲ化スル心也、花開ノ功德ト云モコレナリ、花開與世界起、ニニテハナシ、只佛
 功德ヲ、花開世界起ト云ヘシ、▲即往トソ天、即々ト率天ト云、往來ノ歩ニテナキ所ヲ即
 ヲト云也、佛ニ去來ノ儀ナキユヘニ、コノ往來ノ儀、娑婆世界ヨリト率安樂等ヘ往生ス
 ト云ハ、ワツカノ我等ノ見ノ心地ニ對シテトク、安樂國マテトカハ、廣大無邊際ナルヘ
 シ、然者方域際限難立ユヘニ、即々ト云ヌヘシ、安樂國ニ往生セムトキハ、我等依正共ニ
 往生スヘキカ、來迎ト云ハム時ハ、安樂國ナトノ佛來給ヘキカ、佛ハ身土不二ナルカユ
 ヘニ、依正一如ナルカユヘニ、▲鞋裏ノ動指ト云ハ、大悟大迷、天上ト率皆行佛ノ動指也、
 鞋裏ハ行佛ニアタルヘキ歟、行佛ノ鞋裏ト云ユヘニ、動指ハ淨土天堂大悟大迷ナムト
 云フ詞ニアタルヘシ、又動指トハ行佛ノ威儀、モシハ面目眼精ナムト云カ如シ、▲大聖
 ハ生死ノ心ニマカス、生死ヲ生死ニ任ス、我等カ心ヲ以テ、我等カ生ト死トヲ心ニマカ
 セムハ、タトヘハ一莖ノ草、苜ウエ、或取或棄ナムトスルヤウニ任セムスルト心得ムハ
 更アタルヘカラス心ト云モ法界唯心ト心得、三界唯心ト仕ヒ、身ト云モ又盡十方界眞
 實人體トトク也、コノ時コソヘタツル所ナク、マコトニ心ニ生死ヲ任トモ、云ハルレ、生
 ハ生ニ任セ、死ハ死ニマカスルコソ、生死心ニ任ルニテハアレ、イハユル全機現ノ心地
 也、又心生種々法生、心滅種々法滅ナルヘシ、▲古今ノ時ニ非スト云フトモ、行佛威儀ト

云ハ、生死ハモトヨリトモ云ハス、今トモ云ハチハ、古今ノ時ニアラスト云フ、生死了達トハ如此、▲迷頭認影ト云ハ、我頭ノ影ヲ知ラスシテ、アヤシメトモ、我頭ノ影也ユヘニ如此トク、▲大似也ト云ハ、別ノ物コソ似タリトハ云フ、是ハ同シキ物ヲ大似トハ云フ、回光返照明上又明コレ也、是行佛也、悟上得悟ノ漢、迷中又迷ノ漢同事也、▲任々ノ道理ハ佛ヲ佛ト任シ、心ヲ心ト任シ、三界ヲ三界ト任スルナリ、▲三界只心ノ大隔也ト云ハ三界ヲ一心ト云、ヘタテハヤカテ三界ナルユヘニ、如此トク、是大隔也、任々也、心々ナリ、▲自己家佛トハ、解脱ノ自己也、行取スルユヘニ萬法與自己同キ也、▲當人ノ活計ヲ便是也ト云、此當人ハ解脱人也、行佛也、▲把定ニアマル把定アリ、放行ニアマル放行アリ、イカナルカコレト云ハ、是ハイカナルカト置テ、生ソ死ソ、身心ソ與奪ソ、任達ソナムト云フ、一念萬年マテイフ、コノ歟ノ字ヲサス也、▲一著落在ト云ハ、タ、一ト云フ心也、▲老思而知ト云ハ、一定ヲ只定ルナリ、▲如是ヲ是スルノミ、爾アラスタ、威儀行佛ノミ也ト云ハ、破顔瞬目ヲサス也、アラスタ、トアル詞ハ、スツルコトハトナリ、▲此威儀コレ面々ノ不會也、枚々ノ不會也ト云ハ、サシツ、キノ上ヲ云ハムトテ、コレ面々ト云ニハアラス、任心任法ノ詞ヲ云也、▲シカアレハ、則爲法爲身ノ消息ヨク心ニマカスト云ハ、萬法唯心、三界唯心ノ解脱也、佛ニ一任セリト云モ是也、生死ノ解脱モ是也、▲威

掩萬法也ト云フ、是ハ三界ヲ一心ニ威掩スト云程ノ事也、一條鐵兩頭動ノ展事投機コレヲ、威掩萬法トトル、眼高一世ト云ハ、盡十方眼ノ心ナリ、▲收放ヲサヘサル光明アリ、僧堂佛殿厨庫山門也ト云ヘハ、今ノ不知有、却知有モ、僧堂佛殿ニ心得合ヘシ、ヲシヒタ、タケ、三世諸佛モ、狸奴白狗モ、同ト難云コトハ、ヤカテコノ次下ノ詞ニコノ眼精アルハ、法ノ行佛ヲトキ、法ノ行佛ヲユルス也トアレハ、ウケテ可心得歟、▲近代禪僧サカリニ、示學人詞ニハ、今問法ニ來レル主人ハ、却知有ニアタル、問法學法ユヘニ相具スル小法師コソ不知有ナレハ、三世諸佛ト云ハムナムト云フ、此事極不被信、大地全收マナコアリテ、眼耳鼻舌身意、光明功德ノ熾然ナルユヘニコソ、不知有ヲ保任セル、三世諸佛アリトハシルサル也、全分不學不知ナレトニハアラサルヘシ、▲雪峰山真覺大師示衆曰、轉大法輪、教ニ法報應ヲ立ルニ、法身ハ遍法界ヲ佛ト、クハ、其時ハ依報正報ヲタテス、青黃赤白トモ、長短方圓トモ不可云、是ヲ内證トトル、外融ニハ八相ヲトイテ、與物結縁セリ、對所被ノ機縁說法セサス、三世諸佛モ是程ニトク、法身ニハ三世モナシ、今ノ三世諸佛在火焰裏轉大法輪スト云フ、佛ハ能所ナシ、誰カタメニ說法スト聞エス、所在ノ處ハカリキ、ユエ、玄沙ノ三世諸佛立地聽法ト云フ、然者今ハ說者聽者所在處、所被ノ機縁不可各別ナリ、▲コノ處ト云ハ、必火焰ニテモアルヘカラス、所詮三世諸佛、在諸佛

裏轉大法輪トモ在一心裏トモ、在實相裏轉大法輪ストモ可云歟諸佛成佛ノ時、大地有情同時成道ト云フユヘニ普賢ヲ説トキハ、普賢色身如虛空、依身而住、非國土ト云也、▲知有也トモ不知有也トモト云ハ、サキニ三世諸佛不知有狸奴白狗、却知有ト云ツレトモ、今ハ知有不知有ヲ、三世諸佛ナル行佛ト云也、所用ノ法一ナレハ其體モ又一也、不知是道ト云事モアリ、知不知ニカカハラサルユヘナリ、▲火焰裏道場ト云ハ、能説所説ヲ立ル時コソ別ナレトモ、今ハ所在モ、説法モ同シキ上ナリ、靈山ヲ佛ノ住處ト云モ、身土不二ノ身ニテアルヘシ、所詮能説所説、能聽所聽、能居所居、不可各別、今ノ三位ノ詞ニテ可心得也、▲轉法法轉ト云ハ、無能所義也、理トシテ轉スルナリ、▲行佛ハ一切諸佛也、三世諸佛也、十方諸佛也、三世ニ非サルナシ如此説盡スル也トアレハ、説盡ノ上ハ何カハノコルヘキ煙イハサル宗旨トアレトモ、實ニハイヒノコサヌ、所ヲイハサル宗旨アルヘシトハアルナリ、▲玄沙院宗一大師云、火焰爲三世諸佛 立地聽、▲佛ノ出世ニ、必説法所ナシ、能説所説ト云ハス、又常説法ヲ聽聞ニ可替也、▲轉法輪ト云ヒ、轉大法輪ト云フ、ヲノヲノ別アルカト云ハ、同モ別モ二ノ義アルヘシ、ソノユヘハ大乘ヲトク、大轉法輪ト云ツヘシ、轉法輪トハ、佛ノ金口ヨリ出ヌル事ハ法輪也、小乘ヲモトク、佛法東漸ト云事ハアリ、佛法西天ヨリワタリハシメシ事ハ、四十二章經也、コレ小乘經ナレトモ、大

法東漸ト云天台初心ノ論義也、▲三位ノ詞、雖不可疑、佛説ニ不普合ハ、無其詮是故ニ、經云若説此經、則爲見我爲一人説、是則爲難トモトキ、於我滅後聽受此經、問其義趣、是則爲難トモ説也、聽受者モ同ク爲難也、勝劣アルニアラス、▲コノ是則爲難ト云詞ハ、アリカタシトホメタル詞ト可心得、▲能説法ハ見釋迦牟尼佛也、則爲見我ハ釋迦牟尼佛ナルカユヘニ、又云於我滅後聽受此經、問其義趣、是則爲難シルヘシ、聽受ハヲナシクコレ爲難也ト云、時ニ一人カ爲ニ説ヲカタシト、クハ、一カ爲ニ説ト云事、法花經ノ義ニハアルヘカラサレハ、是則爲難ト云、又若説ハ見我ナレハ、一人カ爲トモ難云、聽受者問其義者不可有差別ハ、又是則爲難ト云ハルヘシ、▲箭鋒相柱トハ物ノアヒアフニモ仕フ、又アハスニモ仕フ、是ハアヒササフトナリ、▲鐵樹花開、世界香ト云ハ、鐵ノ木ナシカハ花モサキ開クカヲハシカルヘキナレトモ、三世諸佛ノ爲ニ説法ス、赤心片々ト云上ハ、鐵樹華開カフハシキ也、每事日來見ニハ違セリ、此違スル所鐵樹華開ナルヘシ、▲智勝子師ト云ハ、諸佛與火焰ヲ師弟ニツクヲ云也、是ヒトシキ也、▲圓悟禪師云、將謂猴白更有猴黒、黒白ノ差別アレトモ、只猴ナルヘシ、○ユヘニ、イツルモ没モ一カ上ニ仕フ、所詮行佛ヨリ外ノ佛アルヘカラサル道理也、▲葛藤窠ノ風前ニ剪斷スルト云、コレ亘天ノミアリト云ヘハ、法ノ佛ヲトクコトハリヲキクナリ、葛藤窠ハ三界ノ火宅ニタトフ、風前

ニ剪斷スルハ解脫風ナリ、▲維摩詰トハ居士事也、勘破トハ維摩ノ邪見ヲ佛勘破スト也、三位ノ意趣雖一詞無相違、仍剪斷勘破ト云也、▲一言勘破ト云詞ハ、烈天且天ニハ佛法ヲ説ト云程ノ詞也、

行佛威儀 終

一顆明珠 第七

娑婆世界大宋國福州玄沙院一宗大師法諱師備俗姓者謝也……不釣自上ノ金鱗不待ニモアリケム……已下如文

玄沙發心ノ初ヲ被説ナリ、如文、不釣自上ト云ハ、古キ詞歟、釣ニ付テ被引出、ツラサルニ自上ト也、是則解脫詞也、此詞ニハ人ヲツリ、魚ヲツリ釣々ヲ釣ト云心地アルヘシ、全釣ノ道理ナルユヘニ、已下如文、

或時アマテク、諸方ヲ參徹セム爲ニ、獲ヲタツサエテ出嶺スルチナミニ、脚指ヲ石ニ築著シテ流血シ、痛楚スルニ、忽然トシテ猛省シテ云、是身非有痛自何來、則雪峰ニカヘル、雪峰問箇是備頭陀、玄沙曰終不敢誑於人……

那是ハ六祖與南嶽ノ問答、什麼物恁麼來ノ詞ニ、那箇是備頭陀ノ詞、不違也、玄沙云終不敢誑於人ノ詞、又說似一物、即不中ノ詞ニアタル、面ハ替タル詞ト聞ユ、ツイニアヘテ人ヲタアラカサスト云也、人ヲ置テ陳謝スル義ニテモナシ、只雪峰ノ姿モ玄沙ノ當躰モ、終不敢誑於人ナルヘシ、

雪峰サラニ問備頭陀ナムソ徧參セサル師曰達磨不來東土二祖不往西天トイフニ雪峰

コトニホメキ……

達磨正夕爲衆生化度、震且へ渡給事、年月日時マテモ分明也、不來東土ノ詞尤不審也、二祖ハ實不往西天ナレハ、尤其謂アリト覺タリ、但達磨與二祖皮肉、西天東地來不來ノ詞ニカ、ハルヘキニアラス、皮肉ノ所通達ノ皮肉ナラヌ所アルヘカラス、故ニ此道理ヲ以テ來不來ノ詞ヲハ可心得也、マサシク震且へ渡給初祖ヲ不來ト云ヒ、西天ヘユカサル二祖ヲ不往西天ト云フ、只同心ナルヘシ、是已下如文無別子細、只玄沙ノ様ヲ被明也、此玄沙參雪峰外、又他ノ知識ヲ不訪是則遍參ノ至極トセリ、

ツイニ道ヲ得テノチ人ニシメスニ、イハク盡十方世界は一箇明珠トキニ僧問承和尚有言盡十方世界は一願明珠、學人如何會得、師曰、盡十方世界は一願明珠、用會作麼、師來日却問其僧、盡十方世界は一願明珠、汝作麼、生會、僧曰、盡十方世界は一願明珠、用會作麼、師曰、知汝向黑山鬼窟裏作活計、

是ハ玄沙詞ニ盡十方世界は一願明珠ト被示詞ヲ、僧玄沙ニ奉問ルニ、盡十方世界一願明珠、學人イカ、心得ムト、其時師曰、盡十方世界は一願明珠、用會作麼ト云ハ、此詞ヲ用テハナムノレウソトウツクシク、カク尋常ノ問答ノ詞ノヤウニアシク心得成也、是邪見ナリ、是ハ用會作麼ノ道理ハ、一願明珠ノ道理ヲ、重テ被舉也、一願明珠ノ道理用會作

麼ナルヘシ、師マタ來日トハ、次日事歟、打任テハ於弟子師ニ昨日ノ不審ハ可尋申事也、而ヲ玄沙僧ニ問テイハク、盡十方世界は一願明珠、汝作麼、生會、僧曰、盡十方世界は一願明珠、用會作麼ト、是ハ只師ノ前ニイヒシ同詞ヲ、口マテシタルヤウニ聞タリ、コ、ニ師曰、汝向黑山鬼窟裏作活計トアレハ、汝カ所解ヲハノヘテ、只口マテヲシタル時ニ汝ハ黑山鬼窟ノ内ニ向テ活計ヲ成ストハキラハレタル詞カト、多分被心得ヌヘシ、非爾盡十方世界一願明珠ノ外ニ、黑山鬼窟トテ又別ニアシク、キラハル、所アリナムヤ、只盡十方界ヲ黑山鬼窟ト可云也、只始中終一願明珠ノ道理ヲ述タルト可心得也、●此僧ノ口マテシタル詞ハ、イカナルカ佛ト問時、イカナルカ佛トコタヘ、清淨本然ナラムニ、如何生山河大地ト問シ、返答ニ清淨本然ナラムニ、イカムカ生山河大地ト、同シ詞ニテ答タリシ同心也、

今道取スル盡十方世界は一願明珠ハシメテ玄沙ニアリ、實ニモ盡十方世界一願明珠ノ詞、玄沙ヨリ始テ出タルナリ、ソノ宗旨ハ盡十方世界ハ廣大ニアラス……生死去來ニ非サルユヘニ生死去來ナリ、盡十方世界實ニ世間ノ思ナラハシタル、廣大微小方圓中正、活潑々露迥々等ニアルヘカラス、盡十方界ノ時ハ、只今十方界ニテ、廣大トモ乃至活潑々露迥々トモ云ハレ盡十

方界也ト云フ也、又生死去來ニ非サル、生死去來トハ、今佛法ニ談スル所ノ全機ノ生死是也、胎卵濕化生ノ外ニ、胎卵濕化生アリト云シ程ノ心ナリ、
 恁麼ノユヘニ昔日曾從此去ニシテ、而今從此來也、究辨スルニタレカ片々也ト見徹スルアラム、誰カ兀々也ト檢舉スルアラム

昔日而今ナムト云ヘハ、昔今ト相對シタルニ似タリ、又此去從來ナムト云ヘハ、去來ノ詞ニカ、ハル様ニ聞タリ、只一顯明珠ノ上ノ昔今去來ト可心得、一顯明珠ノ光明ノテラス所カ、誰カ片々也ト見徹セム、タレカ兀々檢舉スルアラムト云ハル、也、能見所見ナキ道理、一顯明珠獨立ノ姿也、

盡十方ト云ハ、逐物爲已、逐已爲物ノ未休ナリ、情生智隔ヲ隔ト道取スル、コレ回頭換面也、展事投機也、

是ハ盡十方界一顯明珠ノ詞ノ、盡十方界ヲ先被釋也、逐物爲已、逐已爲物トハ、タトヘハ盡十方界ト云ヘハ、イカニモ中央ヲ置キ四方四角上下ヲ立テ盡十方界ト云様ニ覺ユ尋常ノ心得タル義ナリ、是ハ四方各盡十方界ナルヘシ、其故ハ東方ト談セム時ハ、東方皆盡十方ニテアルヘシ、其時ハ餘ノ九方アルヘカラス、餘方可准之、此心地ヲ逐物爲已逐已爲物トハ、可云歟、喩ヘハ、以東方爲已、以已爲東方ナムト云ハム程ノ心地也、未休ト

ハ無際限心地也、情生智隔トハ、アシキ詞ニキコユ、是ハ稱一方一方ハカクルル心ナリ、情生スレハ、智ハ隔心也、ユヘニ回頭換面トアリ、展事投機只同心地也、

逐已爲物ノユヘニ、未休ナル盡十方ナリ、機先ノ道理ナルユヘニ、機要ノ管得ニアマルコトアリ

逐已爲物ノユヘニトハ、如前詞也、未休以前所詮、一方盡十方界ノ未休ナル心地也、機先ノ道理トハ、今始テ強爲シテ、物ヲツクリ出シタル道理ニテナシ、無始本有ナムト云心地歟、本來ノ道理ナルヘシ、機要ノ管得ニアマルトハ、盡十方界ノ機要歟、一顯明珠ヲ機要ト指歟、アマルトハ、別ニノコル義ニアラス、機先ノ道理、一顯明珠ヲ以テノコルト仕也、假令東方ト談スル時、盡十方世界也、餘九方不可有、然而此道理ノ上ニハ、又西方トモ南北トモ云詞ナカルヘキニ非ス、此義理ヲ覽アマルトモ、可云歟、然而此アマリハ、非別物、只同理ヲ以テアマルトモ、仕ニ無煩也、

是一顯明珠ハイマタ名ニアラサレトモ、道得ナリコレヲ名ニ認シキタル事アリ、是ハ道得ト云ハ、云ヒエタリト云、然者口業ノ能ト心得ヌヘシ、此ノ道得ハ一顯明珠ト云名ニアラサレトモ、此道得ノ道理ナカルヘキニ非トナリ、是モ所詮一顯明珠ト不呼出トモ、此道理カハルヘカラスト也、是ヲ名ニ認シ來事有トハ、今一顯明珠ト云名ヲ付

テ談スル事ヲ云可也

一類明珠ハ直須萬年也、亘古未了ナルニ亘今到來也、身今アリ心今アリト云ヘトモ明珠ナリ、彼此ノ草木ニアラス、乾坤ノ山河ニ非ス明珠ナリ、

實一類明珠ノ道理直須萬年ナルヘシ、不可有際限、身今心今アリト云モ、皆明珠ノ身今心今也、彼此草木ニ非ト云上、乾坤ノ山河ニ非ス明珠也ト云ハ、例ノ明珠ノ時節ニハ、彼此草木トモ、乾坤山河トモ云ハシ、只明珠也ト云心地也、

學人如何會得、コノ道取ハタトヒ僧ノ弄業識ニ相似セリトモ、大用現是大軌則也、

此學人如何會得セムノ詞、僧ノ無風情ナニト學人ハ可心得ソト云タル詞ヲ、弄業識ニ相似トハアルナリ、大用現是大軌則トハ是ハ佛法ノ上サトリノ詞也、今ノ僧弄業識ハアシキ詞、繫縛ノ義也、此學人如何會得ノ詞ハ、例ウケタル詞也、其故ハ明珠ノ外ニ學人不可有ユヘニ、如何會得ノ道理アルヘシ、又以明珠會得ト談スル義モアルヘシ、故如何ト云フ詞アル也、

ス、ミテ一尺水一尺波、一丈珠一丈明也、

是ハ只同事ナル道理ヲ云ナリ、

イハユルノ道得ヲ道取スルニ、玄沙ノ道ハ盡十方世界は一類明珠用會作麼也、……

此詞ハ只前ノ僧ノ詞ト同シキ也、重テ一類明珠ノ理ヲノヘラレタル也、用會作麼トハ只一類明珠ハ、一類明珠ニテアレカシ、用テハナニセムソト被仰タル様ニキコエ非爾僧ノ詞モ玄沙ノ詞モ只同一類明珠ノ道理ヲ、再三被顯也ト可心得ユヘニ、コノ道取ハ佛ハ佛ニ嗣シ、祖ハ祖ニ嗣ス、玄沙ハ玄沙ニ嗣スル道得也トハ被決ナリ、
嗣セサラムト廻避セムニ、廻避ノ所ナカルヘキニアラサレトモ、シハラク灼然廻避スルモ道取生アルハ現前ノ蓋時節也、

廻避ノ所ナカルヘキニ非トハ、廻避ノ所アルヘキニアラス、然而アタヘテ廻避ノ所トユルストモ、是ハ一類明珠ノ上ノ廻避ナルヘシ、他所ニアラス、僧ノ如何會得ノ詞、玄沙ノ用會作麼ノ詞、共ニ佛ハ佛ニ嗣シ、玄沙ハ玄沙ニ嗣スル道理ナレハ、此道取生アルハ所詮皆一類明珠ノ蓋時節也ト云ナリ、

玄沙來日問其僧盡十方世界は一類明珠汝作麼生會、

是ハ次日師僧ニ被問詞也、以前僧詞ニハ學人如何會得セムトアリテ、未僧ノ所解ヲ不聞ヲサレハ汝ハイカニト會得シタルソト、重被不審タル様ニキコエ、但此條己前段ニ聞了ス、是ハ重テ一類明珠ノ道理ヲ被述ト可心得、今更作麼生會ノ詞非可類凡見、汝ト云汝モ、一類明珠ノ外ノ汝不可有歟、

コレハ道取ス、昨日説定法ナル今日二枚ヲカリテ出氣ス、今日説不定法也推倒昨日點頭
笑ナリ、

昨日説定法、今日説不定法ト云古キ詞アリ、所詮定法モ不定法モ、昨日モ今日モ、一顆明
珠上道理ナリ、只同道理也、二枚ヲカリテト云ハル、二枚ト云ハ昨日盡十方世界は一
顆明珠用會作麼ノ詞ト、今日盡十方界は一顆明珠汝作麼生會詞トヲ、シハラク二枚ト
云歟、但今日説不定法ト云時ハ、推倒昨日點頭笑ト云時ニ、昨日ノ詞非二道理分明也、
僧曰盡十方世界は一顆明珠用會作麼、イフヘシ騎賊馬逐賊也、古佛爲汝説スルニハ異類
中行也、

騎賊馬逐賊者、只同物也、此今ノ詞是程義也ト云カ如シ、古佛爲汝説スルニハ、又交ハル
物ナキ所ヲ、異類中行ト仕ナリ、凡見ノ詞ヲ不交、皆解脱ノ詞ナル所ヲ如此指也、
シハラク回光返照スヘシ幾箇枚ノ用會作麼カアル、試道スルニハ乳餅七枚菜餅五枚也
ト云ヘトモ湘之南潭之北ノ教行也、

是ハ方丈ノ御詞也、此用會作麼ノ詞是許ニ不可限、イク千萬モアルヘシト也、一切ノ法
ニ用會作麼ノ詞アルヘシ、乳餅七枚菜餅五枚ノ詞ハ、別シテコレニ用ナル事ハナシ、只
幾箇枚ト云ニ付テ、七五ノ詞ヲ云ハム料也、是モ古キ詞歟、又湘之南潭之北ト云ハ、大國

ニ此兩國ナヒタルニ、假ニ人ノ其所ヲサシテ、彼ハ南是ハ北ト云ヘトモ、只同所ナル心
也、是トモ彼トモ云ヘ、一顆明珠ノ道理ナル心地ヲアラハサム爲ナリ、教行ト云詞ソ不
被心得、ヤウナレトモ、所詮教行ト云ハムモ、何可有相違乎

玄沙曰知汝向黑山鬼窟裏作活計……

是ハ僧ノ詞未聞解脱之理、只徒ニ不審シキタルアヒタ、汝黑山鬼窟ノウチニ成活計ト
テ、被嫌タル様ニ聞ユ、黑山鬼窟トハアシキ無益所ト思ナラハシタリ、仍如此僧ヲキラ
ハル、詞ト覺ユ、抑一顆明珠ノ外ニ、黑山鬼窟トテア、シクキラハレヌヘキ所アリナシ
ヤ、此黑山鬼窟ト云ハル、ハ、一顆明珠ナルヘシ、ユヘニ奥ニ日面ハ日面ト共ニ共出ス
月面ハ月面ト共ニ共出スルユヘニトアリ、今一顆明珠ノ上ニハ、黑山鬼窟モ、汝モ會モ
不會モ、用會作麼詞モ、如何會得モ、皆日面與月面ノ如ク、一顆明珠與一顆明珠ノ、共出ト
可心得也、

若六月道正是時不可道我姓熱也、

是ハ六月ノ熱ハ六月也、我性ノ熱スルト不可云也、云云、此心地ハ、我カアリテ物ヲ成ス
ル義ニハアラス、法ノ道理ニ身心ハ打トラル、也ト云心地也、實ニモ六月ヨソ熱ニテ
ハアレ、我ナス所ノ熱ニハアラサル道理顯然也、

シカアレハ則コノ明珠ノ有如無始ハ無端也、盡十方世界一類明珠也、兩顆三顆トイハス
 有如無始ノ如與始ノ詞、不被心得様ナレトモ、所詮一類明珠ノ上ノ有無也、實ニモ無端
 ナルヘシ、又兩顆三顆ト云ハス、只一類明珠ト云ナリ、顯然ナリ、
 全身是レ一隻ノ正法眼也、全身是眞實躰ナリ……圓陀々地也、轄轄々也……
 一類明珠ノ上ニ、此道理トモ又アルヘキ也、是等皆一類明珠也、全身ノ時實ニ爭全身ノ
 聖礙ト云事アラム、圓陀々地トハ、圓ロクカトモナキ心也、無始無終、或道環ナムト云心
 地也、轄轄々ト云モ、ロクロシカ物ヲ引ク時轉スル姿、欺イツクヲハシメ、イツクヲ終ト
 云事モナク、無際限詞也、

イマノ見色聞聲ノ觀音彌勒アリ現身說法ノ古佛新佛アリ
 是ハ一類明珠ヲ以テ、觀音彌勒ト云也、人アリテ見色聞聲ヲ、觀音彌勒ト云ニアラス、今
 ノ見色聞聲ノスカタヲ、ヤカテ觀音彌勒ト云也、現身說法ノ古佛新佛モ、只此道理ナル
 ヘシ、

正當恁麼時或虛空ニカ、リ衣裏ニカ、ル或領下ニヲサメ髻中ニヲサムル皆ナ盡十方
 界一類明珠也、

明珠ノ道理ニ付テ、珠ノ事ヲ被引出也、虛空ニカ、ルトハ、此虛空則一類明珠ナル道理

ヲカ、ルトハ云ナリ、是ハ皆經ノ詞ヲ以テ被出也、

衣ノ裏ニカ、ルヲ様子トセリヲモテニカケムト道取スル事ナカレ、髻中領下ニカ、ル
 ヲ様子トセリ髻表領表ニ弄セムト擬スル事ナカレ

是ハ經ノ文ヲハタラカサテ談セム、カナラス、衣ノ裏ト云ヘハ、面ニモカケムトスル事
 ナカレトハ、經文ヲハ經文ニテ置カムト云心ナリ、髻表領表モ只同心ナリ、實ニモ髻中
 ト云ヒ領下ト云フカナニノ不足ニ、只今離經文、別ニイフヘカラスト云心地ナリ、此上
 ハ又衣ノヲモテニカケ髻表領表トイハムソムクマシキ道理、又アルヘキ條勿論ナリ、
 醉酒ノ時節ニ珠ヲアタフル親友アリ親友ニハカナラス珠ヲアタフヘシ珠ヲカケラル
 、時節必醉酒スルナリ……

是又經文也、醉酒ノ時節ト云ハ、一類明珠ナルヘシ、アタエラル、物モ、アタヘル親友モ
 アタフル珠モ、皆是一類明珠ナリ、親友カ親友ニアタヘ、醉酒カ醉酒ニアタヘ、珠カ珠ニ
 アタフル道理ナルヘシ、是一類明珠也、ユヘニ、既是恁麼ハ盡十方界ニテアル一類明珠
 也トハ被決也、

シカアレハ則轉不轉ノ面ヲカヘユクニ似タレトモ則明珠也……
 日來ハ凡夫ニテアリツルヲ、今明珠ノ道理也ト知ハ面ヲカウルニ似タレトモ、其轉不

轉ノ姿共ニ明珠也ト云ナリ、明珠ノ道理ハ如此也ケリト知、則明珠也トナリ、已下如文
 タトリウタカヒ取捨スル作無作只懸小量ノ見也、サラニ小量ニ相似ナラシムルノミ也
 我ハ明珠ニハアラシトタトリ、ウタカヒ取捨スル面ハ、懸小量ニ似タレトモ、タトルモ
 疑モ小量ニ相似ナラシムル所モ、皆明珠也、明珠ノ外ナル所スヘテナキユヘニ、
 明珠如此彩光キワマリナキ也、彩々光々片々條々トハ、盡十方界ノ功德也、
 此明珠ノ功德莊嚴ノ無邊際、盡十方界ノ功德也ト云フ也、

タレカコレヲ攬奪セム行市ニ、博ヲナクル人アラス、六道ノ因果ニ不落有落ヲワツラフ
 事ナカレ、不昧本來ノ頭正尾正ナル明珠ハ、面目也、明珠ハ眼睛也、

攬奪行市トハ、市ニテ商人カ心モユカヌ物ヲヲシカウ事也、是ハ僻事也、カ、ルヨコシ
 マナル僻事ハ、アルヘカラスト也、博ヲナクル人アラスト云ハ、抛博引玉ト云事アリ、其
 事也、是モ僻事ナル濁色ニ被引出、カ、ル道理ナルユヘニ、六道ニヲチ落スト煩事ナカ
 レト云也、憑敷貴事ナリ、不昧本來ノ頭正尾正ナル明珠面目也、明珠眼睛也ト云フナリ
 然而我モ汝モイカナルカ、是明珠如何コレ明珠ニ非ルトシラサル百思百不思ハ、明々ノ
 草料ヲムスヒ來トモ、玄沙ノ法道ニヨリテ明珠也ケル身心ノ様子ヲモ聞知リ明ラメツ
 レハ心是ヲタクシニアラス起滅ヲ誰トシテカ明珠也明珠ニ非スト取捨ニワツラハム

明珠ノ明々ナルニ如右云、イカナルカ、明珠、如何明珠ニ非ルト、百思百不思スル所ヲ、草
 料ヲムスヒ來トハ云ナリ、一顆明珠ノ詞、今玄沙ノ道ヨリイテタリ、彼道ニヨリテ、明珠
 ナル身心ノ様子ヲ見聞覺知スレト心非私、起滅ヲ誰トシテカ明珠也、明珠ニ非ルト取
 捨ニ類ハムト也、已下如文、只所證明珠現前ノ時節、今ハ惣明珠ナラヌ道理、一法トシテ
 モナキ事ヲトカク被釋也、

タ、マサニ黒山鬼窟ノ進歩退歩、コレ一顆明珠ナルノミ也、

黒山鬼窟事如前注、只マサニ一顆明珠ノ進歩退歩、コレ一顆明珠ナルノミ也ト云ハム
 カ如シ、

▲樵夫ノ道ヨリモ祖ハ出、六祖是ナリ、漁夫ヨリモ出、玄沙コレ也、▲浮世ノアヤウキヲ
 サトリ、佛道ノ高貴ヲシリヌト云、此詞ハ世間ニキ、ナレタリ、佛道與浮世、能所ヲ立テ、
 浮世ヲステ、佛道ニ入ト覺ユ、ナシカハ又立歸テ能所アルヘキ、佛道ノ貴ヲシル時ハ、
 浮世ノアヤウキ事ナシ、浮世ヲ浮世トシリヌレハ、ヤカテ佛道ノ高貴ナルトキニ能所
 ナキ也、▲不釣自上ノ金鱗ヲ不待ニモアリケムト云ハ、此詞ノ下ニハ人ヲツリ魚ヲ釣
 釣ヲ釣ト云心地アルヘシ、不釣自上ト云事、玄沙已祖師トナリヌレハ、モシ魚夫ノムカ
 シモ道念アリテ、人ヲツル心モヤアリケムト云フ義モアリヌヘシ、大方ハ佛法ニハ相

對ノ義ナキユヘニ、ツレハ魚カアカルソト云フ義モアルヘカラス、ツラストモアカル
 義ナトカナカラム、諸法ヲ實相ト云モ、羅森ノ萬像ヲ強爲シテ實相トトキ、三界ヲ唯心
 ト云モ只三界ハ心ソト云ニハアラス、實相實相也、唯心唯心也トコソ體脱スレハ、ツリ
 ニ依テアカルソト云ハ、猶能所彼此ノ差別アリ、染汚法トキユユヘニ不釣自上ト云
 詞出クル也、所詮不釣自上モ金鱗モ不待モ一ナルヘシ、一類明珠ナルヘシ、▲是身非有
 痛自何來ト云ハ、コノトキ見處ステニミユルカ是什麼物恁麼來、說似一物即不中程ノ
 詞也、又清淨本然爭生山河大地ト云程ノ詞也、▲那箇是備頭陀ノ詞ハ(備ハ玄沙ノ御名、頭
 陀ハ僧ノ通名也)
 如何是佛ト問スル程ノ義ナリ、▲終不敢誑於人ト云ハ、三界唯心トモ諸法實相トモ云
 フ程ノタケナル玄沙ノ道得也、莫妄想ナムト云程也、不釣自上ノ詞、不敢誑於人トヲナ
 シタケ也、那箇是備頭陀トハ、雪降ノ皮肉カイハル、ナリ、終不敢誑於人ト云ハ、誰ヲサ
 スト云コトナシ、又和尚ノ皮肉ヲ得タリト云心地アルヘシ、▲ナムソ徧參セサルトハ、
 可徧參ヲ何ソ、不徧參ト云歟、將又備頭陀ト云詞ニ徧參ノ義アルヲ何ソト云カ、ダトヘ
 ハ佛ニ奉向、何不成佛ト云程ノ義也、備頭陀ナムソ不徧參ト云ハ、何ノ時カ遍參セサル
 ニアラサルト云也、▲達磨不來東土ノ詞、佛法ニハ不來不去トトク、此義ヲアラハス也、
 法身不周遍、法界又周遍スト云義モアルヘシ、▲盡十方界一箇明珠ノ詞、詮何事哉、但

法性ト談シ、眞如ト聞キ、實相トトクニハ失ハアルコトモアリ、有念無念ノ見モ、世間ノ
 商量ニワタル、一類明珠ノ詞ニハ、虛實ノ詞ヲ離テ、正見ノ義ヲアラハス、ダトヘハ一類
 明珠ノ理ヲ體脱セヌ事ハアリトモ、邪見ニハ落ヘカラス、盡十方界盡明珠ノ時節アル
 ヘシ、▲嗣セサラムト廻避セムニ、廻避ノ所ナカルヘキニアラサトモ、シハラク灼然廻
 避スルモ、道取生アルハ現前ノ蓋時節也トアリ、廻避ハスレトモ、サル所カヤカテ盡十
 方界は一類明珠ナルトキニサルトハ云ヘトモ、同キ也、▲是一類珠ハ名ニアラサレト
 モ、道得也、○非名トモ道得也ト云事ハ、此一類明珠ト云ヘハトテ、珠ト云名トハ不可心
 得、盡十方界ト云程ノ明珠ナルトキニ、只尋常ノ珠ト云名ト思マシキ所ヲ名ニアラサ
 レトモトハ云也、但道得ナル事ハ、又不可疑也、▲亘古未了ナルニ亘今到來スト云ハ、驢
 事未去馬事到來トモ云程ノ詞也、今日ヨリサキヲ古トタテ、今日ヨリ後ヲ今ト云ニハ
 アラス、生ニ對シタル死ニ非ス、ユヘニ古ノ上ニ今ヲタテ、今ノ上ニ古ヲクナリ、▲身
 今アリ心今アリ○山河ニ非ス明珠也云此彼此トハ能所ナキ事ヲアラハサム爲也、彼
 此草木ニアラスト云ヒ、乾坤ノ山河ニアラストハ、此三界ノ内ノ山河ニアラスト云ハ
 ム爲也、ユヘニ明珠也ト云フ、▲一尺水一尺波ト云ハ、大用現是大軌則ニ引ヨセタル事
 ハ、水波ヲ以テ體用トトル也、今水波ヲ體用トスル事ハ、體用ノコトナラサルヲアカサ

ム爲ナリ、▲突兀ナラシムトハ、體用共ニ一尺也、一丈珠一丈ノ明ト云ハ、珠ニ明ヲツク
 ルニアラス、珠ハ明也明ハ珠也、▲用會作廢ノ詞、會カ不用ナル義ニテハナシ、會ヲトク
 詞ニハ、作廢ト云ハルヘシ、タトヘハ成佛シテ作廢トモ、坐禪シテ作廢トモイハムカ如
 シ、坐禪作佛ヲ不期ユヘニ、▲盡十方界ステニ一顆珠ナレハ、廻避ノ所ハヤカテ明珠ナ
 ルヘシ、玄沙ハ玄沙ニ嗣スルヲナシ事ナルヘシ、▲昨日説定法ナル○點頭笑也ト云ハ
 説定法ヲ説不定法カラシカシタラシテラフ程ノ事ナルヘシ、説定法説不定法ヲナ
 シカルヘキユヘニ、▲幾箇枚ノ用會作廢カアルト云ハ、昨日モ用會作廢、今日モ用會作
 廢ト云心地也、▲鬼窟ノ内ハ三界ナシ、唯一心ト體脱セム、何事カアラムヤ、鬼窟トヲソ
 ルヘカラス、凡ハ黒山鬼窟裏ヨリ、外ノ詞ハスヘテナシト所心得也、諸法從本來ト云モ、
 十方佛土中唯一乘法ト云モ、佛言ノ唯心ノ道理ヲハナル、事ナシ、黒山鬼窟ノ詞ハ
 コトニヨリ所ニヨリテ心得ヘシ、▲全身ノトキ全身ノ墨礙ナシト云フ打任ハ身與心
 ヲ置テソ墨礙ナシトモイヒツヘキヲ心トハイハテヤカテ身與身墨礙ナシト云時ニ、
 圓陀々地輕轆々ナルナリ、▲醉酒ノ時刻ヲサナカラケハ、極テサメタル時節トナル
 也、▲醉酒ニ珠ヲアタヘル親友アリト云ハ、我等衆生ハ皆醉タルモノ也、醉時節ニカナ
 ラス珠ヲアタフソノ心ナルヘシ、又珠ヲアタヘル程ナラハ、醉タル時節ト難云、▲行市

ニ博ヲナクル人アラスト云ハ、拋博引玉ト云詞アリ、是博ヲイヤシウシ、玉ヲモクル
 詞ナリ、盡十方界一顆明珠ナル上ハ、博トモキラヒテナク、玉トモヲモクシテ、引人アル
 マシキ道理ヲ云也、▲百思百不思トハ、百思トハモノヲタヒ、案スル心ナリ、但百不
 思トアルハ、不思議ノ心地ナルヘシ、▲日來ノ百不當ハ、今ノ一當ト云事モアリ

一 顆明珠 終

心不可得 第八

釋迦牟尼佛言過去心不可得現在心不可得未來心不可得、コレ佛祖ノ參究ナリ、不可得裏ニ過去現在未來ノ窟籠ヲ剗來セリ、シカレトモ自家ノ窟籠ヲ用キタレリ、イハユル自家トハ心不可得也、而今ノ思量分別ハ心不可得也、使得十二時ノ渾身、コレ心不可得ナリ、此三世ノ心ヲ打任テ心得ル様ハ、過去已過又、現在不住未來未來ユヘニ三世共ニ不可得也ト心得、今佛祖ノ三世心ヲ心得様ハ、是ニハ異ナルヘシ、其故ハ不可得裏ニ過去現在未來ノ窟籠ヲ剗來スル也、其ト云ハ三世ヲヘヌシニ成テ是カ不可得ナルソト云ニハアラス、不可得ノ裏ニ三世ヲ談也、不可得ヲ以テ過去トモ現在トモ未來トモ仕也、諸惡ノ時莫作ノ理ナリシカ如シ、自家トハ心不可得ヲ云也、行住坐臥併心不可得ノ道理ナリ、故ニ使得十二時ノ渾身、コレ心不可得也トハ云也、佛祖ノ入室ニアラサレハ心不可得ノ間取道著ナシト云、尤有其謂、此以後詞如文、宣鑒禪師婆子等ノ問答次第委被明之、如文可心得、無別子細、南方トハ六祖在處、北地トハ神秀在處也、現在大宋國ニアル雲衲霞袂イタツラニ、德山ノ對不得ヲワラヒ、婆子カ靈利ナル事ヲホムルイトハカナカルヘシヲロカナル也……

心不可得

是ハ徳山モ婆子モ共ニ非其人ト先師ハ被嫌ナリ、尤有其謂徳山モ不問婆子モ不云、
エヘニ先師心ミニ徳山ニカハリテ可云トテ被述ナリ、

心ミニ徳山ニカハリテイフヘシ婆子マサシク恁麼問著セムニ徳山則婆子ニ向テイフ
ヘシ恁麼則你莫與吾賣餅モシ徳山如此イハマシカハ靈利ノ參學ナラム

創ハ靈敏

此詞ハ我ニ餅ノウル事ナカレト云ハム、強創利ノ參學ナルヘシトモ不覺但婆子始ノ
詞ニ道得ナラムニハ餅ヲウルヘシ、和尚モシ道不得ナラハモチ非ヲ不可買ト云詞ニ
道得不道得ノ理カアラハル、也、莫吾買餅ト云詞、不道得ニアタルエヘニ、創利ノ詞ト
ナルナリ、道得ナラハ餅ヲウルヘシト云ハル詞ハ、道得ニアタル也、道得ナラハカシラ
ヲソラシト云ニ無相違、頭ヲアライテヨリタリキ、其又無左右、雪峯頭ヲ剃リタリシ所
カ道得不道得ノ道理ニ叶タリシカ如シ、

婆子モシ徳山トハム現在心不可得過去心不可得未來心不可得今餅ヲシテ何ノ心ヲカ
點セムトカスル如此問セムニ婆子則徳山ニ向テ可云和尚ハ只餅ノ心ヲ點スヘカラス
トノミ知テ心ノ餅ヲ點スル事ヲ不知心ノ心ヲ點スル事ヲモシラス

是ハ只不可得ナレハ、餅ヲハイカニトシテ點セムソト許シリタリ、是ハ佛祖所談ノ三
世ノ道理ヲ不知時ノ事也、今ノ餅ヲステニ心ト談スル上ハ、餅ヲ心カ點セムスルト許

心得ルハ、世間ノ心地ナルヘシ、心ノ餅ヲ點スル事ヲ不知トハ、此心カ則餅ニテアル道
理也、エヘニ心ノ心ヲ點スル事ヲ不知トハ被決也、

恁麼イハムニ徳山定擬議スヘシ當恁麼時餅三枚ヲ拈シテ徳山ニ度與スヘシ、徳山トラ
ムト擬セムトキ婆子可云過去心不可得現在心不可得未來心不可得

是如文餅三枚ト云ハ、三世ノ詞ニ躰宛ル歟、

モシ又徳山展手擬取セスハ一餅ヲ拈シテ徳山ヲ打テ可云無魂屍子儼莫忙然

是又如文、是ハ魂モナキカハテ、ナムチ忙然トアル事ナカレト、徳山ヲ耻シムル詞也、

徳山云事アラハヨシ無云事ニハ婆子サラニ爲徳山可云タ、拂袖シテサリタル袖ノ中

ニ蜂アリトモ覺エス……

是ハ婆子ヲユルサレサル詞也

アハレムヘシ婆子徳山過去心未來心問著道著未來心不可得ナルノミ也……

是又徳山婆子問著道著共ニ三世不可得ノ道理ヲ不得ト被嫌也、已下如文
アラノシキ造次トハ、法文ヲ人ニ示ストテハ以棒人ヲ打ケリ其事歟、

久龍潭ニトフラヒセハ頭角觸折スル事モアラマシ、頷珠ヲ正傳スル時節ニモアハマシ
是ハ監禪師事也、龍潭ノ詞ニ付テ頭角觸折ノ詞モ、頷珠正傳ノ詞モ、タヨリニ被引出也

頭角觸折解脫詞也、領珠ハ又得法ノ詞ナリ、
 ワツカニ吹滅紙燭ヲミル傳燈ニ不足也、……
 是又鑿禪師ヲ不被許詞也、龍禪ノ崇信潭師小參ヲ被行ケルニ、鑿禪師於衆僧中立タリ
 ケリ、小參ハテケレトモ出堂セ、サリケルヲ、信禪師ナト出ヌソト被云ケルニ、暗キアヒ
 タ不出之由返答、其時信禪師紙燭ヲサシテ鑿禪師ニ與ヘケル時、紙燭ヲ取ラムトシケ
 ルニ、信禪師紙燭ヲ吹ケチタリケル時、悟道シタリト云也、其事ヲ今被載也、紙燭ノ詞ニ
 付キ、傳燈ニ不足トハ被書歟、

凡心不可得トハ、盡餅一枚ヲ賣弄シテ一口ニ咬著嚼盡スルヲイフ、

所詮心不可得道理如此ナル也、盡餅一枚ヲ賣弄シテ一口ニ咬著嚼盡スル姿ト云、解脫ノ義也、
 ▲教家ニ不可得ト談スル姿マテ、ナリ、罪障ノ不可得ナレハ、誰ヲヌシトシテカヲカス
 ト云ヘキ、本性不可得也、無始無終ナリ、此罪障自ヨリ不來、他ヨリ不來、ユヘニ不可得也
 云云、但此義ノイハレナキ事ハ、ワカ凡慮ノ不及ニテコソアレ、一切ニクラシ、自他ヲモ
 不知、罪障イカ、來ラム、ヲホツカナシ、本性不可得トイハス、心體不可得トイハス、不可
 得體ノユヘニ、▲三世ヲ不住ト云モ、吾我ニ對シテ云許也、過去已過又現在不住、未來未
 來、ユヘニ三世不可得ト云フ、今ハ是等ノ義ニハアラサルナリ、不可得裏ニ過去現在未

來ノ窟籠ヲ剗來スト云、ユヘニ不可得裏ニ剗來スト云トキ、心ハヤカテ不可得ノ道理
 ニ落居スルナリ、▲シカレトモ自家ノ窟籠ヲ用ユルト云ハ、自家トハ佛家ナリ、不可得
 ヲ自家ノ窟籠トハ仕フ、然者サキニ云、不可得裏ノ窟籠モヲナシキヲ、シカレトモト云
 ヘハ、相違シテ覺ユ、但自家ト云ハ、心不可得ナリト云、時ニ三世ノ窟籠ヲ剗來シタルノ
 ミニアラス、ヤカテ心ヲ不可得ト云也、▲而今ノ思量分別ト云ハ、此思量分別ハ佛家ナ
 リ、心不可得ト云ユヘニ、心ヲ別ニシテ不可得ト云ハムトニアラス、タ、ヤカテ心ヲ不
 可得ト仕フヘシ、▲使得十二時ノ渾身心不可得ナリト云フ、佛家ノ十二時、イタツラナ
 ル十二時ノ渾身ニアラス、心不可得ナルユヘニ、▲青龍疏ヲヨクセリト云、金剛經疏、ア
 マタアルナカニ、青龍ノ疏ヨク學スト也、▲和尚道得ナラハ餅ヲウルヘシト云○所詮
 道得道不得賣ソ不買ソト云ヘカラス、勝劣ナキ也、三界ヲ買テ、心ニ點スト云ヘシ、三界
 唯一心ナレハ、▲佛法ニ云ニハ、飢ヲハ、三界ノ法書ニカケルニタトフ、諸法實相ト心得
 ル、コレ飢ヲサ、フヘシ、故ニ書ニカケル餅、飢ヲサ、フト云ヘシ、▲徳山スナハチ婆子
 ニ向テ可云、恁麼則爾莫與吾賣餅モチ、ナウリソト云カ、ヤカテ心不可得ニアタルナ
 リ、心與餅不各別故也、▲點セムトカスルト云ハ、コノ點成佛ス成佛セムト云程ノ事也
 ▲和尚ハ只餅ノ心ヲ點スヘカラストノミ知テ、心ノ餅ヲ點スル事ヲ不知、心ノ心ヲ點

スル事ヲシラスト云ハ、此三ハタ、同シタケ也過去心不可得、現在心不可得、未來心不可得ト云義也、三世ヲ心ソ、不可得メ、ナムト釋セラレテミユレトモ、點心ノ事不分明歟、但是ハ心ノ併ヲ點スル事ヲシテス、併ノ心ヲ點スル事ヲ不知トアルニ分明ナル歟、又心ノ心ヲ點スルコトヲ不知ト云ハ、併ト點ト心ト一ナル道理ヲシラストナリ、不可得裏ニ三世ヲ剋來スト云ニテキコエタリ、三世ト心トカハラス一ナレハ、三世ヲ併ノ外ニヲカム、コレソ併ノ心ヲ點スヘカラサルニアタルヘキ、心ノ併ヲ點スルソ、三世ト併ト親切ナル道理ヲアキラメタルニテアルヘキ、今ノ心ノ心ヲ點スル事ヲ不知トイハルハ、三世與心併ト點ト、ナムトヲ各別ニトリナス所カ、心ノ心ヲ點スルコトヲシラスト云ハル、ナリ、一ナルヘシ、▲併三枚ヲ拈シテ德山ニ度與スヘシト云ハ、此併三枚トハ過去現在未來心ナルヘシ、心ヲ併トトルユヘナリ、▲德山展手擬取セスハ、一併ヲ拈シテ德山ヲ打テ可云無魂屍子儻莫忙然云ハ、心ヲ以テ打德山心ナリ、コノ一併トハ一心ヲサス也、▲頭角觸折ト云ハ、此詞善惡ニワタルサトリヲウルトキ、カシラノホテイテツノヲフト云事アリ、マタ被毛載角トテ、ヲロカナルニ云事モアリ、▲一口ニ咬著嚼盡スルヲ云トイフハ、併ヲ失スルニテハナシ、併ヲ使用スルハ不可得ナリ

心不可得

終

古佛心第九

祖宗ノ嗣法スルトコロ七佛ヨリ曹溪ニイタルマテ四十祖ナリ、曹溪ヨリ七佛ニイタルマテ四十佛ナリ、七佛トモニ向上向下ノ功德アルユヘニ、曹溪ニイタリ、七佛ニイタル、曹溪ニ向上向下ノ功德アルカユヘニ、七佛ヨリ正傳シ、曹溪ヨリ正傳シ、後佛ニ正傳ス、タ、前後ノミニアラス、釋迦牟尼佛ノ時、十方諸佛アリ、青原ノ時、南嶽アリ、南嶽ノ時、青原アリ、乃至石頭ノトキ、江西アリ、アヒ罣礙セサルハ、不礙ニアラサルヘシ……

七佛ヲ祖ト云、曹溪ヨリ祖師ヲ四十佛ト云事頗逆ニ聞ユ、但佛祖ノ皮肉ノ所通汝得吾皮肉骨髓ノ上ハ、更佛祖ノヘタテアルヘカラス上ハ、舊見ヲ破セムカ爲ニモ、此詞大切也トモイヒツヘシ、又向上向下ノ詞、向上ハ上ヲサシ、向下ハ下ヲサスト聞タリ、シカニハアラス、以佛祖向上向下ト仕也、更上下ニ對タル詞ニアラス、此四十佛、四十祖ノ落居スル處、只一佛一祖ナリ、此時ハ向上向下ノ詞、ユメク上下ニ對シタリト不可心得、以一佛一祖向上向下ト心得ヘキ道理顯然ナリ、又釋迦牟尼佛ノ時、十方諸佛アリ、○是ハ釋迦ノ時、モ十方諸佛アレトモ、アヒ罣礙セス、青原ノ時、南嶽乃至石頭ノトキ、江西アレトモ、共ニアヒ罣礙セサル證據ニ被引也、是ハ釋迦牟尼佛與十方諸佛一躰ナルユヘ、青

原南嶽石頭江西等皮肉通スル處ヲアラハサム料也ト可心得、又罣礙スト云道理モアルヘキ歟、青原ノ時南嶽アイナラハサル道理ヲ以テ罣礙ストモ可云歟、向來ノ四十位ノ佛祖トモニコレ古佛也ト云ヘトモ、心アリ身アリ光明アリ國土アリ、過去久矣アリ、未曾過去アリ、タトヒ未曾過去也トモ、タトヒ過去久矣也トモ、同ク是古佛ノ功德ナルヘシ、

此詞打任タル吾我ニヲホセテ古佛ナレトモ、心モアリ身モアリ、光明モ具シ國土モアリト云様ニ聞ユ非爾、以古佛心トモ身トモ光明トモ國土トモ過去久矣トモ、未曾過去トモ談スルナリ、凡見ニ不可類ナリ、

古佛ノ道ヲ參學スルハ、古佛ノ道ヲ證スルナリ、代々ノ古佛也、イハユル古佛ハ新古ノ古ニ一齊ナリト云ヘトモ、サラニ古今ヲ超出セリ古今ニ正直也、

古佛ノ道ヲ參學スル時分ハ學ノ位也、更證ト難云、但古佛ノ道ヲ參學スルカ、ヤカテ證ニテアルナリ、證ヲ外ニ待サルユヘニ然者參學則證也、此道理ナルユヘニ代々ノ古佛也ト被示也、此古佛ノ古實ニ新古ノ古ニ不可一齊道理、尤其謂アリ、新古ノ古ハキハアルニニタリ、今ノ超出ノ古今コソ、マコトニ正直ナル古今トハ云ヘケレ、其理尤顯然也、先師云(是ハ如淨御事也)與宏智古佛相見、ハカリシリヌ天童ノ屋裏ニ古佛アリ、古佛ノ屋裏ニ

天童アル事ヲ、

是ハ宏智ト相見ストハ、古佛與古佛相見ノ道理ヲ被述也、

圓悟禪師曰稽首曹溪真古佛、シルヘシ釋迦年尼佛ヨリ第三十三世ハコレ古佛也ト稽首スヘキ也、

圓悟六祖ヲ稽首ノ詞ヲ被云、又釋尊ヨリ三十三世ハ古佛也ト知ヘシ、不可有差別勝劣、圓悟禪師ニ古佛ノ莊嚴光明アルユヘニ、古佛ト相見シキタルニ恁麼ノ禮拜アリ、然者則チ曹溪ノ頭正尾正ヲ草料シテ、古佛ハ如此巴鼻ナル事ヲシルヘキナリ、……

圓悟ヲ被讚ナリ、古佛與古佛ナルユヘニ、恁麼ノ禮拜アル也ト被讚嘆ナリ、曹谿ノ頭正尾正トハ、只六祖ノアリサマト云心也、巴鼻モ此心地也、

疎山曰、大庾嶺頭有古佛、放光射到此間……

疎山ハ洞山ノ悟本大師良价ノ弟子也、大庾嶺トハ羅山法寶大師事也、德山孫弟子、是ハ因縁アルユヘニ此詞ヲ被書出也、其因縁在別、●是モ古佛與古佛相見ノ道理ヲ被述也、實非古佛者古佛ノ在所ヲ不可知ナリ、

雪峰曰趙州古佛、シルヘシ趙州タトヒ古佛也トモ、雪峰モシ古佛ノ力量ヲ分奉セラレサラムハ、古佛ニ奉觀スル骨法ヲ了達シカタカラム、今ノ行履ハ古佛ノ加被ニヨリテ、古佛

ニ參學スルニハ、不答話ノ功夫アリ……
 是ハ雪峰モシ古佛ノ力量ナクハ、趙州古佛トハ難云、分奉トハ曹谿古佛ノ力ヲ雪峰ニ
 及ス心地ナリ、又古佛ノ加被トハ、雍護ナムト云心也、不答話ノ功夫トハ、是又雪峰ノ詞
 ニ不答話ト云事在之、其因縁ノ詞ヲ被引出也、其因縁別注也、
 シカアレハ趙州ノ初中後善ヲ參學シテ古佛ノ壽量ヲ參學スヘシ
 是ハ前ニ曹谿ノ頭正尾正ヲ草料シテ古佛ハ如此ノ巴鼻ナル事ヲ可知也トアリツル
 同心ナルヘシ、趙州ノ初中後善ヲ參學シテ古佛ノ壽量ヲ參學スヘシトアル也、前ニハ
 頭正尾正巴鼻ナムトアリ、コヽニハ壽量トアレトモ、只同シ心ナルヘシ、
 西京光宅寺大證國師ハ曹谿ノ法嗣也……
 是ハ無別子細、如文國師ヲ讚嘆ノ詞也、
 國師因僧問如何是古佛心、師云牆壁瓦礫、イハユル問處ハ這頭得恁麼ト云ヒ、那頭得恁麼
 ト云也……
 此如何ノ詞物ヲイカナルカ是ト云ハ、アマタノ物ノアル中ニイツレソト云詞ニアタ
 ル、是ハ無其義イカナルモ古佛心ト云心也、古佛心ナラヌ一法ナキユヘニ、仍此如何ノ
 詞ハ、至極古佛心ヲ說詞ナリ、更非不審義ユヘニ、此如何ノ詞ハコレモ如此、カレモ此如

ト云道理也、コノ道理ヲ問處ト云也、仍此問處ノ道理カヒロク古今ノ道得トナレルナ
 リ、凡此如何ノ詞祖師多被仕、此詞皆此心地ナルヘシ、
 コノユヘニ花開ノ草木百草コレ古佛ノ道得ナリ……古佛ノ皮肉骨髓也
 是ハ花開草木乃至世界起ノ九山八海等皆古佛也ト云ナリ、
 又古心ノ行佛ナルアルヘシ……古心ト云ハ、心古トナルヘキカユヘナリ、心佛ハ必古ナ
 ルヘキカユヘニ、

是ハ即心是佛ヲ、心即是佛ト互入チカエテイクラモ被釋シ同心地也、古佛心ト云詞共
 ヲ一々被釋ナリ、所詮古モ佛モ心モ無差別ノユヘニ、トモカクモ此如イハルヽニ、無相
 違ナリ、能々可了見也、
 古心ハ椅子竹木也、盡大地兌一箇會佛法人不可得也、和尚喚這箇作甚麼
 是ハ古キ禪師ノ詞ヲ被引出、此因縁別注之
 今ノ時節因縁及塵刹虚空共ニ古心ニアラスト云事ナシ、古心ヲ保任スル古佛ヲ保任ス
 ル、一面目ニシテ兩頭保任也、兩頭畫圖也、
 時節因縁塵刹虚空トハ、盡十方界ト云心地ナリ、盡地盡界等ト云ニ同シ、古心ヲ保任ス
 ル古佛ヲ保任スル一面目トハ、心與佛惣非別物所ヲ一面目トハ云也、然而又古心ヲ保

任シ、古佛ヲ保任スルト云詞ノ出クル所カ、兩頭保任トモ、兩頭畫圖トモ、シハラク云ハル、ナリ、

師曰牆壁瓦礫、イハユル宗旨ハ牆壁瓦礫ニムカヒテ道取スル一進アリ、牆壁瓦礫ナリ、道出スル一途アリ、牆壁瓦礫ノ牆壁瓦礫ノ許裏ニ、道著スル一退アリ、

前ニハ如何古佛心ノ詞ヲ被釋、今ハ國師答ノ牆壁瓦礫ノ詞ヲ被釋ナリ、僧ノ問ノ詞師ノ答ノ詞、彼此アルヤウニ聞ユ、所詮今ノ御釋ハ此道理ハ、牆壁瓦礫カ牆壁瓦礫ニ問答シタルニテアル也、所問ノ僧モ、答話ノ師モ、全非牆壁瓦礫外者故ナリ、進モ退モ出モ入モ皆牆壁瓦礫ノ上ノ進退出入ナルヘシ、

コレヲノ道取ノ現成スルトコロノ圓成十成ニ千仞萬仞ノ壁立セリ、匝地匝天ノ牆立アリ、一片半片ノ瓦蓋アリ、乃大乃小ノ礫尖アリ、

圓成十成トハ、缺タル所ナキノ詞也、充足シタルナリ、是等ノ道取トハ、右ノ師云牆壁瓦礫、己下ノ詞ヲ指歟、牆壁瓦礫ノ四字ヲ、一字ツ、被釋ナリ、壁モ千仞萬仞、牆モ匝地匝天、瓦モ一片半片、礫モ乃大乃小トナリ、各々ノ字皆物ニカ、ハラス、一一ニ獨立シタル道理ナリ、本ノ詞ニハ牆壁瓦礫トアレハ、先牆ノ詞ソ出クヘケレトモ、此道理ノウヘハ前後差別ノ義アルヘカラス、アヤマリテ、壁ノ字ヲ先被釋ハ、子細アリトモ、心ヲ付テ可思

惟也能所彼此前後際斷スルユヘニ、是等ノ道理ヲ圓成十成トモ云ヘシ、匝地匝天ハ廣ク、一片半片ハセハシト思ヘカラス、圓成十成ノ理ナルユヘニ、

如此アルハ只心ノミニアラス、則是身也、乃至依正ナルヘシ、シカアンハ作麼生是牆壁瓦礫ト問取スヘシ、道取スヘシ、答話セムニハ、古佛心ト答取スヘシ、

是ハ古佛心ト云、心ノ詞ノミナルヘカラス、此心ト云フ詞ニ取替テ身トモ依正トモ云ヘシトナリ、所謂古佛身、古佛眼、古佛依正、古佛鼻孔トモ、千萬ニイハルヘキ道理ヲ如此被釋ナリ、本語ニハ如何是古佛心ト問ニ、牆壁瓦礫ト被答、其ヲ此道理ノ上ハ作麼生是牆壁瓦礫ト問取スヘシト也、是ヲ又答話セムニハ古佛心ト答取スヘシトナリ、本ノ詞ヲ打チカヘテ可問答、則此道理ニ不可違也、

如此保任シテサラニ參究スヘシ、イハユル牆壁瓦礫ハイカナルヘキノ、ナニヲカ牆壁トイフ……審細ニ參究スヘシ、

日來ハ牆壁瓦礫ト云ヘハ、垣壁乃至泥築水ナムトヲ以テ造作シタル物トコソ思ツルニ、牆壁瓦礫ハイカナルヘキノト、事新ク審細ニ參究スヘシト云、先日來ノ舊見ノ牆壁等ニアラサル道理顯然也、所詮今ハ三世諸佛西天東地ノ祖師ヲ以テ牆壁瓦礫ト談スル也、

造作ヨリ牆壁瓦礫ヲ出現セシムルカ、牆壁瓦礫ヨリ造作ヲ出現セシムルカ……現前ス
 ヤ不現前ナリヤ……
 造作ヨリ牆壁瓦礫ヲ出現セシムルハ常事也、牆壁瓦礫ヨリ造作ヲ出現セシムルカト
 アリ不普通但今ノ牆壁瓦礫ノ道理、尤如此イハルヘキ也、アラサルカ、アラサルカトア
 リ、例ノ皆此道理アルヘキユヘニ、カ、トウケラル、ナリ、是即不中義也、
 タトヒ天上人間ニモアレ、此土地界ノ出現也トモ、古佛心ハ牆壁瓦礫也、サラニ一塵ノ出
 頭シテ染汚スルイマタアラサル也、
 是ハ天上人間ニモアレ、此土地界ノ出現ナリトモ、皆是古佛心牆壁瓦礫也ト云ナリ、古
 佛心牆壁瓦礫ニアラサル、天上人間モ、此土地界モ不可有、此道理ノ上ニハ又一塵也ト
 モ出頭シテ、古佛心牆壁瓦礫ヲ染汚スル物モアルヘカラサル也、
 漸源仲興大師因僧問、如何是古佛心、師曰世界崩壞、僧云爲甚麼世界崩壞、師曰寧無我身、イ
 ハユル世界ハ十方皆佛世界ナリ、非佛世界未有ナリ、崩壞ノ形段ハ此盡十方界ニ參學ス
 ヘシ、自己ニ學スル事ナカレ……
 世界ト云ニ付テハ、佛土穢土シナシナ多カルヘシ、今ハ此義アルヘカラス、只世界ト云
 時ハ、盡界皆佛世界ナルヘシ、非佛世界アルヘカラス、崩壞ノ形段ハ盡十方界ニ參學ス

ヘシ、自己ニ學スヘカラストアリ、破鏡不重照ノ崩壞ナルヘシ、
 崩壞ノ正當恁麼時ハ、一條兩條三四五條ナルカユヘニ、無盡條ナリ、彼條々ノ寧無我身
 也。

一條兩條等ノ詞ハ、只次第ニ無盡條ト云事ヲ云アラハサム詞ナリ、所詮崩壞ノ姿無盡
 際ナルヘシ、又一條兩條三四五條ヲ以テモ崩壞トトルヘシ、カナラス無盡際ヲ極員數
 ト一條乃至三四五條等ヲ以テ少トトルヘカラス、一條乃至三四五條モ、無盡際モ、只同
 心ナルヘシ、イツレモ崩壞ノ道理ナルヘシ、彼條々ノ姿ヲ寧無我身トハ可云ナリ、
 我身ハ寧無也、而今ヲ自惜シテ、我身ヲ古佛心ナラシメサル事ナカレ、
 今而今ト云詞ハ、寧無ヲ指歎、所詮我身寧無古佛心、只同物ナルヲ寧無我身ヲ自惜シテ
 古佛心ナラシメサル事ナカレトハ云ナリ、
 マコトニ七佛以前ニ古佛心壁堅ス、七佛以後ニ古佛心才生ス、諸佛以前ニ古佛心華開ス
 諸佛以後古佛心結果ス……
 此古佛心ノ道理、前後ヲ超越セリ、此前後又古佛心ノ上ノ前後也、ユヘニ舊見ノ前後ヲ
 解脱セリ、才生ストハスクナキ心歎、然而此才生ハ更ニ不可拘多少道理也、此故ニ古佛
 心以前ニ古佛心脱落スル道理ナルヘシ、華開モ結果モ古佛心ヲ以テ如此云也、

▲一句ヲ聞萬句ヲサトルト云是頓機也、アサキヨリフカキニイタル是漸機ナリ、今ノ嗣法ノ様ニテ七十五帖ノ正法眼藏ヲアキラムヘシ、何レノ句モアタラスト云事ナシ、▲聖礙セサルハ不礙ニアラサルヘシト云ハ、セサルト云モ、不礙ニアラサルヘシト云モ、只同詞ノ理トキコユレトモ、サニハアラス礙ト云詞ヲ世間ノ如クニハ不心得シテ云片如此クイハルヘシ、非巡遊非縱橫イハレヲトクカ、不礙ニアラサルヘシト心得ラ、也、ソノ本意ハ又古佛心ノ道理也、七佛ヨリ曹谿ニイタルマテ四十祖ナリ、曹谿ヨリ七佛ニイタルマテ四十佛也ト云心地ハ、縦ニヲホセテトク詞ト聞ユ、釋迦牟尼佛ノ時十方諸佛アリ、青原ノ時南嶽アリナムトクハ、横ヲアラハストソ、敎家ニハ云ヘキ、カナラスシモ然ニハアラサルヘシ、向上向下ノ功德ハ、巡遊ニモカ、ハラス、前後ニモト、コヲラサルヘシ、タトヘハ心ヨリ身ニイタリ、光明ヨリ國土ニイタルナムト云ハムカ如シ、コレ縦横ニカ、ハラサルヘシ▲過去久矣ト云ハ、今日ヨリサキヲサスマテハ久矣ニアラス、イマ未曾過去トクコソ、始終久近ニ脱落ナレ、▲先師云與宏智古佛相見ノ段コレハ新古ノ見ヲアラタムル證據ナルヘシ、今ノ釋迦ヲハ新成妙覺遍照尊ト云テ、アタラシキ佛トイヒ、五百塵點劫ノソノカミヨリノ佛ヲ古佛ト云フ、コレ顯本ノ本ニハ近本遠本アリ、五百塵點劫ヲ遠本、無始無終ト云、往古ノ如來久成ノ薩埵也、內秘

菩薩行、外現是聲聞ト云ヘリ、又今ノ大通智勝佛ヲ中間ノトタテナムトセムスルコトニハステニタカヒテ、今天童ニ坐スル、宏智ヲ古佛ト云ヒツルトキニ、日來心得タル新古ノ義ニハ、超越スル新古ナルヘシ、新成ノ佛ハ方便、久遠實成ノ佛ハ實ト談ス敎ノ談也、又實者得道ナシ成佛ナシ、皆是權化也▲古佛ノ在處ヲ知ハ、古佛ナルヘシト云桃華ノサトリノ時靈雲モサトリ、竹響ノサトルトキ香巖モサトル、大地有情同時成道ノ時佛モ成道スヘシ、▲所被ノ機緣トモ云ハス、今ハ衆生ヲ不各別、皆令入佛道ト體脫スレハ、コレカ佛ノ加被ニテアル也、佛ノ參學ニテモアル也、▲不答ト云モ、如何是古佛心ト云ニ、墻壁瓦礫ト云ハ、答ニテハナシ、ヤカテ古佛心ヲ古佛心ト云フニテアル、時ニ、不答ナル也、是等ノ道ヲ不答話トハ云也、▲又問處ニ這頭那頭アリテ、得恁麼トイハレム上ハ、問處ノ這頭ハ古佛心ナルヘシ、問處ノ那頭ハ墻壁瓦礫ナルヘシ、如何又是也、得恁麼萬般ニワタルヘシ、是什物、恁麼來トイフヘキニアラス、何ソ說似一物即不中ナラム、▲古心ノ行佛ナル有ヘシ、古心ノ證佛ナル有ヘシ、古心ノ作佛ナル有ヘシト云ハ、古佛心ト云面々也、心佛及衆生ノ心地ナリ▲盡大地覺一箇會佛法人不可得ト云ハ、タトヘハ盡大地覺古心不可得、覺古佛不可得トイハムカ如シ▲兩頭畫圖ト云ハ、古心古佛ノ圖ヲ云也、▲作麼生是墻壁瓦礫ト云ハ、佛ニ種々ノ佛アリ、心ニ種々ノ心アリ、墻壁瓦礫ニ

種々ノスカタアルヘシトナリ、或一進或一退、或一片或半片トモ云ヘシ、古佛心塔壁瓦礫一ナルヘキユヘニ▲今古佛心トアリ、我等カ思カ如ナル新古人儀ニハ更ニ不可心得佛成道ノ時カナラス顯本シ御ス、此御詞ニ動執スヘシ、新成ノ佛今五百塵點劫ノソノカミ成佛シキト被仰ユヘニ、サトリニ無差別ハ、佛モ國モ新モ不可有其隔、事理二門ヲ立ルニ事ニ、古今トサタムル、コレハ迷妄ノ方也、但事理共佛法ト云ハ、事理不可有其隔理ノ方ニ無古今、▲古心ハ又古佛ナリ、非別這頭那頭古佛ナリ、今ノ古心ハ古佛ナルヘシ、我身古佛也ト可心得、又無盡我身也、▲仲興大師段イカナルモ古佛心トトカムニハ、世界崩壞ト云ヘシ、又無盡ニクツレヤフルヘシ、イハユル三界唯一心トモヤフルヘシ、心佛及衆生トモヤフルヘシ、盡十方界眞實ノ人體トモ、沙門一隻眼トモ、一顆明珠トモヤフルヘシ、又心ノ法ノ外ニ法ナシト云ハム、コレ又世界ノ成立スルトモ云ヘシ▲崩壞ノ正當恁麼時ハ、一條兩條三四五條ナルカユヘニ無盡條也ト云ハ、世間崩壞シテ沙門一隻眼ナリ世間崩壞シテ心アリ、世間崩壞シテ身アリ、世間崩壞シテ古佛心アリトモ云ヘシ、▲崩壞ト云事、タトヘハ諸法佛法ナル時節迷アリ悟アリト云、コレ崩壞ナリ、萬法吾ニアラサルトキ迷ナク悟ナクトク、コレ崩壞也、抑コノ草子ニ崩壞ノ形段ハ、此盡十方界ニ參學スヘシ、自己ニ學スル事ナカレ自己ニ參學セサルユヘニ崩壞

ノ正當恁麼時ハ一條兩條三四五條ナルカユヘニ無盡際也トアリ、沙門一隻眼ト云時世界崩壞シ心トトク時モ身トトク時モ皆崩壞ナルヘシト云ヘキ歟、是ハ盡十方界一隻眼トモ、三界唯心トモ盡十方界眞實人體トモトケハ世界ハ崩スヘシト覺ユ一方ヲ談スレハ一方ハカタルト云ユヘニ、但是ハ猶一重ナルヘシ無盡世間トイハムレウニ崩壞トハ仕也佛法ニツカフ崩壞カイタツラニクツレヤフルトハナラハヌ也、迷悟ヲナラヘテアリトモナシトモトク程ナリ一方ヲ證スレハ一方ハクラシトトクヨリハ猶スクレタル崩壞ナルヘシ一方ヲハ證セサセ一方ヲハクラシトトク崩壞ノ心地ハナラクツレウスル心地ノコルナリタ、無盡トトクヘシ▲寧無我身ト云ハ此我身ハ盡十方界眞實人體ノ身ナルヘシ以世間以我身トキコユカ、ラムニハ無我身ハ崩壞ナリ無我身ノ無ハ例ノ有無ノ無ニハアラス寧無我身ト崩壞ナルト可心得悉有ヲモ欲知ヲモ莫妄想ヲモ先須除我慢ヲモ佛性ト體脫スルカ如ノ寧無我身ハ崩壞ト可心得古佛心ハ世界崩壞世界崩壞ハ寧無我身也、○壁立才生華開結果トハ是等ヲ古佛心以前ニ古佛心脱落也トアリ古佛ト心ト脱落ハ古佛心以前ト可心得歟、

古佛心終

大悟 第十

佛々ノ大道ツタワレテ綿密ナリ祖々ノ功業アラハレテ平展ナリ、

佛々ノ大道トハ、佛ハ能行ニテ、所行ノ行ノ別ニアルヤウニ聞ユルヲ、今ハ佛々ヲヤカテ、大道ト談スル也、故ニ能行所行不可各別、

コノユヘニ大悟現成シ不語至道シ省悟弄悟シ失悟放行ス、コレ佛祖家常也、

是ハ大悟ノ上ノ不悟省悟弄悟失悟放行ナリ、大悟不悟ハ會不會ナルヘシ、打任テハ失悟ハアシキ詞トキコユ、大悟ノ上ノ失悟善惡ニカ、ハルヘカラサル歟、

舉拈スル使得十二時アリ、抛却スル被使十二時アリ、

舉拈ハ大悟ニアツ、大悟現成ノトキハ、不悟省悟等ハカクルヘシ、コノカクル、所ヲ擧抛却トハ仕ナリ、十二時トハ解脱ノ詞也、十二時ヲ仕ヒ、十二時ニ仕ル、タ、同事也、

此關振子ヲ跳出スル弄泥團モアリ、弄精魂モアリ、

是ハコノ關振子ノトキハ、大悟不悟省悟等ニカキラス、イカナル詞モイテクヘキイハレナリ、

大悟ヨリ佛祖必恁麼現成スル參學ヲ究竟スト云ヘトモ、大悟ノ渾悟ヲ佛祖トセルニハ

アラス佛祖ノ渾佛祖ヲ渾大悟也トニハアラサルナリ、
 大悟ヨリ佛祖ノ現成スル事ハ勿論也、シカレトモ大悟ノ渾悟ヲ佛祖トセルニハアラ
 ス佛祖ノ渾佛祖渾大悟ナリトニハアラストハ、タ、大悟ハ大悟、佛祖ハ佛祖ニテアル
 ヘシ、必大悟ヨリ、佛祖ハ現成ストヒキシロイテ云ハストモアリナムト云義也、是則一
 方ヲ稱スレハ、一方ハクラキ義歟、

佛祖ハ大悟ノ邊際ヲ跳出シ大悟ハ佛祖ヨリ向上ニ跳出スル面目也、

佛祖ノ大悟ナル條不及子細、然而佛祖ハ大悟也ト云事ヲ、シハラク云ハシ、佛祖ハ佛祖
 大悟ハ大悟ニテ置ムノ一トヲリノ義也、佛祖ノ談ノ時モ、衆生是衆生、佛性是佛性ト云
 シタケナリ、

シカアルニ人根ニ多般アリイハク生知コレハ生シテ生ヲ透脱スル也イハユルハ生ノ
 初中後際ニ體究ナリ、

此人根ニ多般アリト云ハ、生知佛知者、學知無師知等ヲサスナリ、生シテ生ヲ透脱スト
 ハ、全機ノ生ノ事也、ユヘニ生ノ初中後際ニ體究也ト云ナリ、

學而知コレハ學シテ自己ヲ究竟スイハユル學ノ皮肉骨髓ヲ體究スル也、

是ハ學シテ知トナリ、此學モ盡十方界ノ上ノ學ナリ、故學ノ皮肉骨髓ヲ體究スト云也

イハク佛知者アリ是ハ生知ニアラス、學知ニアラス、自他ノ際ヲ超越シテ遮裏ニ無端也、
 自他知ニ無拘ナリ、

コレ生知學知ニアラス、遮裏ニ無端也、自他知ニ無端也、如文

イハク無師知者アリ、善知識ニヨラス、經卷ニヨラス、性ニヨラス、相ニヨラス、自ヲ撥轉セ
 ス他ヲ回互セサルトモ露堂々ナリ、

無師知者トアレハ、善知識ニモ、經卷ニモヨラストアリ、然而專經卷知識ニ隨ヲ如此云
 也、其故ハ經卷ヲ自己ト不知ノユヘニ、隨ハアシク、自サトルヲ解脱トス、今ハ經卷コレ
 自己ナル道理ヲ參學スルウヘハ、シタカハヌ道理アキラケシ、ユヘニ如此云ナリ、露堂
 々トハ、巍々堂々ナムト云程ノ詞也、ウルハシクタ、シキ義歟、

コレラノ數般ヒトツヲ利ト認シフタツヲ鈍ト認セサルナリ、多般トモニ多般ノ功業ヲ
 現成スルナリ、

利鈍ノ二ヲタツルニ、學而知ハ鈍、生知佛知者無師知等ハ利ニアツ、コノ大悟ノ道理ノ
 上ハ、利鈍ノ取捨スル事ナカレト云也、數般トハ上ノ生知學知無師知等ヲサスナリ、多
 般トモニ多般ノ功業ヲ現成ストハ、コノ數般ノ一ツニ多般ノ功アルヘント云心地ナ
 リ、

ツレノ情無情カ生知ニ非サラムト參學スヘシ生知アレハ生悟アリ生證明アリ生修行アリ、
 生知ト云ヘハ、生レツキヨリ物ヲシルト心得タリ、今ノ生知其義ニアラス、全機ノ生ナルカユヘニ、生知ノ上ニ、生悟モ生證明モ生修行モ、無盡ノ詞アルヘシ、學而知ノ上ニハ、學悟學證明學修行、乃至佛知者ノ上ニハ、佛悟佛證明佛修行等、面々此道理アルヘキ也、佛祖ステニ調御丈夫ナル是ヲ生悟ト稱シ來レリ悟ヲ拈來セル生ナルユヘニ如此、參飽大悟スル生悟ナルヘシ拈悟ノ學ナルユヘニ如此、
 佛祖ノ功德ヲ取アツメタル是ヲ生悟ト云、人ノ思タル生知ノ道理ニハ非ス、此生ハ實ニモ悟ヲ拈來セル生也、是全機ノ生也、參飽大悟トアリ、生ツキノ知トハ難云、參學ノ姿ヲ大悟スル生悟ナルヘシトナリ、
 シカアレハ則三界ヲ拈シテ大悟ス百草ヲ拈シテ大悟ス：公按ヲ拈シテ大悟ス皆トモニ大悟ヲ拈來シテサラニ大悟スル也、
 三界ヲ拈シテ大悟ス、乃至百草四大佛祖等ヲヘヌシトシテ、是ヨリ大悟カツタハリテ發明スルヤウニ心得ヌヘシ、非其義ニ三界則大悟也、百草則大悟也、乃至四大佛祖等、皆是大悟也、ユヘニ如此云也、又公按ヲ拈シテ、大悟ス、皆共大悟ヲ拈來シテ、サラニ大悟ス

ル也トアリ、而近來ノ禪僧ト稱スル族ヲ、只公按ヲ額ニ懸テ疑イタレハサトリ來ト、多分云歟、今ノ義ニハ違セリ、不可ノ用義也、公按ヲ拈スル義、大悟ヲ拈來シテ、大悟スル道理ナリ、

ソノ正當恁麼時ハ而今ナリ、
 是ハ大悟ヲ而今トハ指ナリ、
 臨濟院慧照大師云、大唐國裏、覓一人不悟者、難得、今慧照大師ノ道取スル所、正脈シキタレ、ル皮肉骨髓也、不是アルヘカラス、
 是ハ慧照大師ノ詞ヲ被讚ナリ、
 大唐國裏ト云ハ、自己眼睛裏ナリ、盡界ニカ、ハレス塵刹ニト、マラス遮裏ニ不悟者ノ一人ヲモトムルニ難得也、自己ノ昨自己モ不悟者ニアラス、佗己ノ今自己モ不悟者ニアラス、山人水人ノ古今モトメテ不悟ヲ要スルニイマタエサルヘシ、學人如此、臨濟ノ道ヲ參學セム、虛度光陰ナルヘカラス、
 大唐國裏ト云ヘハ、打任テハ、唐土ノ内ニ一人モ不悟者ヲモトムルニ難得也ト云ヘハ、皆悟タルモノ許アリト聞タリ、大方モ此詞ヲホツカナシ、爭大唐國中ニ皆得法悟道ノ物許アルヘキト、難心得、而如今御釋者、自己眼睛裏ヲ以テ、大唐國トハ可心得、然者實ニ

盡界ニカ、ハラス、塵刹ニト、マラサルヘキ道理必然ナリ、自己ノ昨自己モ不悟者ニ
 アラス他己ノ今自己モ不悟者ニアラスト云ハ、自己モ他己モ、昨モ今モ皆悟ナリ、不悟
 者一人モ不可有、又山人水人ノ山水ノ詞ハ不用也、只一人ノ不悟者ヲモトムルニ難得
 也トアル詞ノ、人ノ詞ヲトラム料ニイテキタル、山水也ト可心得、

シカモ如此ナリト云ヘトモサラニ祖宗ノ懷業ヲ參學スヘシ、

是ハ無別子細、祖師ノ如本意可參學ト也、

イハク麩臨濟ニ問スヘシ(是ハ方丈御詞也)不悟者難得ノミヲ知テ悟者難得ヲ不知ハ未足

爲是也不悟者難得ヲモ參究セルト難云、

是ハ臨濟ヲ被不審御詞也、不悟者難得ノ詞許ヲ知テ、悟者難得ヲシラスハ、未足爲是也
 ト、被嫌ナリ、悟者難得ノ道理アルヘシハ、不悟者難得ノ理モ、今スコシツヨク親切ナル
 ヘシトナリ、悟者難得不悟者難得ハ、會不會程ノ理也、

タトヒ一人ノ不悟者ヲ覓ニハ難得也トモ半人ノ不悟者アリテ面目雍容魏々堂々ナル
 相見シキタルヤイマタシヤ、

一人ノ不悟者ト云ニ付テ、半人ト云詞ハ出キタリ、餘ニ委被釋之時、半人ノ不悟者ト云
 道理モ出クルナリ、是ハ半人ト云ヘハ、半ナル人カアルヘキニ非ス、今ハ一人ヲ半人ト

心得、乃至悟者ヲ半人トモ可心得、カ、ル半人ノ不悟者アリテ、面目巍々堂々ナルヲハ
 慧照大師ハ相見スルカ未ダシキカト被不審也、是等ハイカサマニモ詞コトニ、臨濟ノ
 詞ヲ被疑ユルサレサル心地歟、

大唐國裏ニ一人ノ不悟者ヲ覓ニ難得ナルヲ究竟トスル事ナカレ一人半人ノ中ニ兩三
 箇ノ大唐國ヲモトメ心ミルヘシ……

是ハ臨濟ノ詞ノ、大唐國裏ニ覓一人不悟者難得也ノ詞ヲ、是許ハ究竟トスル事ナカレ
 一人半人ノ中ニ兩三箇ノ大唐國ヲ覓、心見ルヘシト云道理モアリト也、臨濟ハ大唐國
 裏ニ一人ノ不悟者ヲ覓ルニ難得也トアリ、方丈ノ御詞ニハ一人半人ノ中ニ、兩三箇ノ
 大唐國ヲ覓ヘシトアリ、水火ノ詞ト聞エタリ、大唐國ト云ヘハ、猶住所ト聞エタリ、兩三
 箇ノ大唐國ヲ一人半人ノ中ニ覓メ、心ミヨトアレハ、悟不悟ノ道理モアラハレ、大唐國
 ト一人トノアハヒモ被解脫、日來ノ舊見ハ破ナリ、佛法ハ如此親切ニ談セテハ、見解ノ
 様モキコエス、イカニモ親切ナル理カアラハレヌナリ、

此眼目ヲソナエムトキ參飽佛祖也トユルスヘシ、

是ハ臨濟ヲ被不審御詞ナリ、六祖已下ノ祖師等ノ詞ヲ舉テ、其道理ノヒ、ク所ヲ、方丈
 取テサマ、詞ヲ付テ被釋之、是ハ彼祖師等ノ理ノナキニハアラス、彼詞ノアマレル

所ヲ被釋事多シ、然者此臨濟ノ詞モ、如此心得ハ何不是アルヘキ、其上不足アルヘカラ
ス正脈シ來ナムト被許上ハ、彌此道理必然ナルヘキヲ、臨濟ノ詞イカナル、子細ノ有ヤ
ラム、方丈不被許之、仍所々ニ臨濟徳山ノ非所及ト被述之間、ヨ、ノ御釋モ、麴許サル、
面ハアレトモ、イカニモ有子細ト可心得ナリ、隨與御詞ニモ此眼目ソナエムトキ參飽
佛祖也トユルスヘシ、ナムトウケラレタル也、

京兆華嚴寺寶智大師(嗣洞山 歸休靜) 因僧問大底悟人却迷時如何師云破鏡不重照落花難上樹
先今ノ大悟底人却迷時如何ノ詞不審也、大悟ノ人ノ又迷事争カサル事アルヘキ、不可
有盡期、還作衆生ノ者アリヤト、教ニ談スル事アルカ、是ハ此義アルヘカラス、但今ノ大
悟却迷ノ詞、コレハ遠ハ現成公按ニ、諸法佛法ノ時節ニ迷アリ悟アリト云フ、近ハ今ノ
草子ノハシメニ、大悟現成シ、不悟至道シ、省悟弄悟シ、失悟放行ストアリ、此道理ヲワス
ル、時、此迷悟ノ詞ニ迷ナリ、始テ非可驚、故ニ今ノ問所ハ示衆ノ如シトアルナリ、大悟
與迷ノ道理ヲ示衆スルナリト可心得●百千破鏡不重照事 一度ノ破鏡モ百千ノ破
鏡ト何事カ有相違乎大悟底人却迷事ト有返答ナレハ破鏡不重照ト云時ニ大悟底人
ハ又迷事アルマシキ答歟ト覺ル所ニ不然大悟底人又迷不迷ノ事ヲ答スルニ非ス破
タル鏡モタ、ワレト一ヲアケ落花難上樹モワレ一ノ事ヲイフサラニサトリノ人モ

又迷ハ又迷ニナルトイハヌコトク心得ヌル時ニ今又百千破鏡不重照トアル甚不心
得然而百千破鏡トハ盡界悉破鏡ナル事ヲアカス詞也、破鏡ト云テハ盡界破鏡ト可心
得也●印アル三字原本ニ作ル

參飽佛祖ノ方席ナルヘシ、

是ハ寶智大師ヲ被讚御詞也、

大悟底人ハモトヨリ大悟也トニハアラス除外ニ大悟シテタクハフルニアラス大悟ハ
公界ニヲケル末上ノ老聳相見スルニアラス自己ヨリ強爲シテ牽挽出來スルニアラサ
レトモカナラス大悟スルナリ……

抑今ノ大悟ノ姿、何様ナルヘキ、能々可思惟事也、大悟モトヨリ大悟ナリツル物ヲ、大
悟シタルニテモナシ、又外ニアリツル大悟ヲ、今タクハフルニモアラス、又大悟ハヲホ
ヤケ物ニテアルヲ、老年等有テ相見スルニモアラス、又自己ヨリ強爲シテウル物ニテ
ナケレトモ、大悟スル也ト云ハ、所詮大悟人サラニ大悟ス、大迷人サラニ大悟スト云義
ニ落居スルナリ、大迷人大悟スノ詞ニテシリヌヘシ、迷悟不可各別條顯然ニアキラケ
シ、

大悟人アルカ如ク大悟佛アリ大悟地水火風空アリ大悟露柱燈籠アリイマハ大悟底人

ト問取スルナリ、
 是ハ大悟人ト云詞ノ如ク、大悟ノ詞ソ下ニハ、佛モ地水火風空モ、露柱燈籠モ、萬物皆如此イハル、道理アルベキナリト云也、此理ナル故ニ、今ハ覺大悟底人ト、問取スル也ト云、

大悟底人却迷時如何ノ問取マコトニ問取スヘキヲ問取スルナリ華嚴キラハス叢席ニ慕古ス佛祖ノ勳業ナルヘシ、
 是ハ無別子細、大悟底人ノ詞ノ被讚也、

シハラク功夫スヘシ大悟底人ノ却迷ハ不悟底人ト一等ナルヘシヤ大悟底人却迷ノ時節ハ大悟ヲ拈來シテ迷ヲ造作スルヤ……カタカタ參究スヘキ也、

打任ハ悟與迷大ニ相違ノ法也、今ノ大悟底人却迷時如何ノ迷悟ハ相違ノ法ニアラス、如今云大悟底人ノ却迷ハ、不悟底人ト一等ナルヘシト可心得所ヲ、如此云ナリ、又大悟ヲモテ來テ悟ヲ造作スルカト云ハ、迷與悟無差別物ナルユヘニ、大悟ノ道理ヲ拈來シテ、迷ヲ造作スト云義モアルヘシ、又他那裏ヨリ迷ヲ拈來シテ大悟ヲ蓋覆シテ却迷スルカトハ外ヨリ迷ヲモテキタリテ、アル時ハ大悟ハヲホイカクサレテ、迷許ニテ、大悟ハカクル、カト云義モアルヘシ、迷ヲ稱スル時悟ハカクルト云ヘシ、又大悟底人ハ、一

人ニシテ、大悟ヲヤフラスト云ヘトモ、サラニ却迷ヲ參スルカト云ハ、大悟ハ大悟ニ大悟ヲヤフラテ、却迷ト云歟トハ、大悟モ大悟ニテ、ハタラカサテヲキ、却迷モ却迷ニテ共ニヲカムト云心也、又大悟底人ノ却迷ト云ハ、サラニ一枚ノ大悟ヲ拈來スルヲ、却迷トスルカト云ハ、大悟一枚ヲモテキタリテ、今却迷トスルカト云也、所詮無盡ノ詞多ケレドモ、只迷與悟却非各別物、親切ナル道理ヲ裏面ニナシテ、如此被釋ナリ、カハトアル詞例ノ皆此道理共アルヘキ所ヲ、如此被述ナリ、是等ノ道理ヲ、カタク可參究也トハ云ナリ、

又大悟也一隻手也却迷也一隻手ナルカ、
 是ハ大悟モ一隻手ヲイタシ、却迷モ一隻手ヲイタス、互ニ勝劣ナク同シキ交ヲ云ナリイカヤウニテモ大悟底人ノ切迷アリト聽取スルヲ參來ノ究徹也トシルヘシ……
 是ハ大悟底人ト許云ヘハヨキ、大悟許ヲ談シテ、アシキ却迷ト云詞ヲハ、ヨセツケシトシタルヤウニ覺ユ、此條取捨善惡ノ法ニカ、ハルヘシ、佛祖ノ所談ノ迷悟ノ本意ニアラス、大悟底人ノ道理ノ下ニハ、カナラス却迷ノ道理アル事ヲシルヘシ、其ヲ親會ナラシムル大悟アリト可知ナリトハ云也、會不會、見不見、聞不聞ノ道理ナルユヘナリ、大唐國裏ニ一人不悟者ヲ求ムルニ難得也ト云テ、悟者難得ナル事ヲシラスト、ユルサレサルモ此心地也、

シカアレハ認賊爲子ヲ却迷トスルニアラス認子爲賊ヲ却迷トスルニアラス大悟ハ認賊爲賊ナルヘシ却迷ハ認賊爲子ナリ、

是ハ認賊爲子認子爲賊ナムト云ヘハ、猶各別ニ聞ユ、認賊爲賊認子爲子ナルヘシトハ、大悟與却迷ノアハヒ、認子爲子認賊爲賊ホトニ可心得ト云ナリ、

多處添些子ヲ大悟トス少處減些子コレ却迷ナリ、
多所ニハ物ヲソヘ、少キ所ニハ物ヲ減スト云、多ハ多ニテトアリ、少ハ少ニテハツル也

是ヲ大悟却迷ニアテタル也、是則大悟ハ大悟ニテ、盡法界、却迷ハ却迷ニテ盡法界義也
只一筋ニテ、マシル物ナキ道理ヲアカサル、也、

シカアレハ却迷者ヲ摸著シテ把定了ニ大悟底人ニ相見スヘシ、
是ハタトヘハ却迷者ノ姿ヲ取サダメテ、大悟底人ニ相逢スヘシトナリ、却迷者與大悟

底人相アハスヘシト云ハ、大悟底人ト却迷トカ、同シタケナル所ヲアラハサム詞ナリ
而今ノ自己コレ却迷ナルカ不迷ナルカ檢點將來スヘシコレヲ參見佛祖トス、

是モ迷不迷同タケナル所ヲ云ナリ、
師云破鏡不重照落花難上樹コノ示衆ハ破鏡ノ正當恁麼時ヲ道取スルナリシカアルヲ

未破鏡ノ時節ニ心ヲツカハシテシカモ破鏡ノ詞ヲ參學スルハ不是ナリ、

破鏡ト云詞ニ付テハイカニモ、未破鏡ナル時節ヲ、心ニ懸ルナリ、是示衆ハ、全破鏡ノ正當恁麼時ヲ、道取スルヲ、未破鏡ノ時節ヲ、心ニカケテ、シカモ破鏡ノ詞ヲ、參學スルハ不是也ト被嫌ナリ、

華嚴道ノ破鏡不重照落花難上樹ノ宗旨ハ、大悟底人不重照トイヒ、大悟底人難上樹トイヒテ、大悟底人サラニ却迷セスト、道取スルト會取シツヘシシカアレトモ、恁麼ノ參學ニアラス、

是ハ破鏡不重照、落花難上樹ノ宗旨ハ、大悟人却迷セスユヘニ、此破鏡不重照落花難上樹ト答話セラル、ト、會取シツヘシトナリ、ユヘニ恁麼ノ參學ニアラスト被嫌ナリ
人ノ思フハ如クナラハ、大悟底人家常如何トモ問取スヘシコレヲ答話セムニ有却迷時トライハム而今ノ因緣シカニハアラス……

打任テ此大悟底人ノ詞ヲ、人ノ心得タル様ナラハ、大悟底人家常ハ如何ソト問スヘシ、其ヲ答ヘムスルヤウハ、有却迷時ト云ハムトハ、又迷時アリト云ハムト也、コノ時破鏡不重照、落花難上樹ト答ラレタラハ、サテハ大悟ノ人ハ、又迷事ハアルマシキト、被示ト心得ヌヘシ、今ノ因緣シカニハアラスト被嫌也、實ニモ大悟底人、却迷時如何トアルトキニ、大悟ノ人、却迷事アリ、ナムヤトモイハス、是ハスクニ大悟底人、却迷時如何ト云

時ニ却迷時トステニヒシト、治定シタル時ニ、只打任タル詞ニハ、不似歟、此迷悟ノ詞心ヲ付テ能々可參學ナリ、
 恁麼時節ノ道取現成ハ破鏡不重照也、落花難上樹也、落花ノマサシク落花ナル時ハ百尺ノ竿頭ニ昇晋スルトモ猶是落花ナリ、破鏡ノ正當破鏡ナルユヘニソコハクノ活計見成スレトモヲナシクコレ不重照ノ照ナルヘシ、

是ハ破鏡不重照ト談セムトキハ、イツクマテモ破鏡不重照也、落花難上樹トイハム時ハ、盡界皆落花難上樹ノ時節ナルヘシトナリ、百尺ノ竿頭ニ昇晋ストハ、古キ詞ナリ、イカ程タカキサヲニ昇モ、下モ横堅共ニサヲ也ト云心地也、落花ト談スル時ハ、落花ナリヌ所ナク、破鏡ト談時ハ破鏡ノ外ナル物ナキ所ニ、此詞ヲ被引也、

破鏡ト道取シ落花ト道取スル宗旨ヲ拈來シテ大悟底人却迷時ノ時節ヲ參取スヘキナリ、
 是ハ如文、破鏡トイヒ、落花ト云フ、宗旨ヲ以テ、大悟底人ノ詞ト却迷時ノ時節トヲ、參取セヨトハ、破鏡ノ詞落花ノ詞ノ如ク、大悟底人却迷時ノ詞ヲモ參取スヘシトナリ
 コレハ大悟ハ作佛ノ如シ却迷ハ如衆生遠作衆生ト云ヒ從本垂迹トヲ如云不可學トナリ、

是ハ常ニ人ノ思タル心地ヲ、是ハ被釋ナリ、不可用義ナリユヘニ可學ニアラスト被嫌也、

彼ハ大覺ヲヤフリテ衆生トナルカ如ク云フ是ハ大悟ヲヤフルトイハス大悟ウセスト云ハス迷來ト云ハサル也……

實此大悟ノ談スル姿如此也、如文、

大悟無端也却迷無端也、大悟ヲ罣礙スル迷アラス

大悟又迷無邊際道理ヲ如此云也、大悟ヲ罣礙スル迷實不可有迷ヲモ又罣礙スル大悟アルヘカラス、

大悟三枚ヲ拈來シテ少迷半枚ヲツクルナリ、

是ハ大悟與却迷、至テ親キ時如此云ハル、也、大悟三枚ヲ持テ少迷半枚ヲ作ルトハ、大悟ヲ以テ少迷ヲ作ルナリ、大悟與却迷只同物ナル道理ヲ、如此云也、三枚ト云詞ハ、大悟ヲ三枚ト仕フ、少迷半枚モ、迷ヲ半枚ト仕フ、迷悟タカヒニ一物ナル道理分明ナリ、作ト云モ非造作義、大悟與却迷ノアハヒヲ作トモ云ナリ、

雪山ノ雪山ノ爲ニ大悟スル有木石ハ木石ヲカリテ大悟ス、諸佛ノ大悟ハ衆生ノ爲ニ大悟ス、衆生ノ大悟ハ諸佛ノ大悟ヲ大悟ス前後ニカ、ハレサルヘシ、

雪山ノ雪山ノ爲ニトハ、大悟ハ大悟ノ爲ニト云程ノ義也、雪山ハ喻大涅槃タトフヘキヲ喻ト云、今ノ雪山ト云ハ大悟ヲ指也、木石ノ詞モ同之、諸佛ノ大悟ハ衆生ノ爲大悟ストハ、今ノ衆生ト云ハ大悟也、諸佛ノ大悟ハ大悟ノ爲ニ大悟スト云程ノ義也、何様ニモ大悟ト云ヘハ、人ノ上ニ大悟ヲハ持タセテ、思ナラハシタリ、今ノ所談、全非其義ニ、衆生ノ大悟ハ諸佛ノ大悟ヲ大悟ス、前後ニカ、ハラサルヘシト云々、只同事ヲチ打チカヘテ被釋同理也、前後ニカ、ハラサル義ナリ、

而今ノ大悟ハ自己ニアラス、他己ニアラス、來ニアラサレトモ、填溝塞壑也、サルニ非サレトモ、切忌隨他覓ナリ、何トシテカ、恁麼ナルイハユル隨他去也、

過去現在未來ヲ置テ、過去已ニ過ヌ、未來イマタ不來、ユヘニ現在ノ而今トサスト心得ヌヘシ、今ノ而今トハ大悟ヲ指也、自己他己ニ非レトモト云、尤有其謂、來ニ非レトモ、填溝塞壑也、トハ満足シタルスカタ、充足ノ義也、去ニ非レトモ、切忌隨他覓也、トハ、隨他テ覓ル事ヲイムト云也、隨他覓ト云ハ、打任テ人ニ隨様ニハ不可心得、所詮大悟ニ隨也、何トシテ如此ナルト云ヘハ、コ、ニハ又隨他去也ト云、是ハ替タル詞ニ似タレトモ、只同詞也、其故ハ切忌隨他覓モ、大悟也、隨他去也モ大悟也、ユヘニ詞ハ違スレトモ、只同心トハ云也、大悟ノ上ノ切忌、隨他覓大悟ノ上ノ隨他去也、

京兆米胡和尚令僧問仰山、今時人還假悟否、仰山云、悟即不無、爭奈落第二頭、何僧迴舉似米胡、胡深肯之、イハクノ今時ハ人々ノ而今也、令我念過去未來現在、イク千萬也、トモ今時ナリ、而今ナリ、人ノ分上ハカナラス、今時也、

イハクノ今時ハ人々ノ而今也ト云ハ、今時人ノ人ノコトシ、過去現在未來等イク千萬也トモ、今時也、而今也ト云ナリ、詮ハ三世ヲ今時トモ、而今トモサス、コノ三世今時而今共ニ大悟也、人ノ分上ハ必今時也ト云、コノ人又今時人ノ人也、

アルイハ眼睛ヲ今時トセルアリ、アルイハ鼻孔ヲ今時トセルアリ、

人ノ詞ニ仰テ、或眼睛鼻孔等ヲ今時トセルアリト云ナリ、今ノ今時人ノ上ニ眼睛ヲモ今時トシ、鼻孔ヲモ今時ト談ヘシ、

還假悟否、コノ道ヲシツカニ參究シテ、胸襟ニモ換却スヘシ、頂額ニモ換却スヘシ、

人與悟ヲイカニモ各別ニヲキテ心得、此還假悟否ノ詞ヲ、シツカニ參究シテ、シタシクムテニモ、イタマキニモカヘテ心得ヘシト云ナリ、頂胸ナムト云、何事カ覺タレトモ、是ハ至テ親キ詞也、悟別ノ物ニアラサル道理ヲノフル詞ナリ、

近日大宋國禿子等、イハク悟道是本期……

如文可心得無子細、

今ノ還假悟否ノ道取ハサトリナシトイハス来ト云ハスカルヤ否トイフ
今時人ノ悟ハイカニシテサトレルソト道取セムカ如シ……
己上如文、

是ハサトリト云ニハイハルシカアレトモ第二頭ヘヲツルヲハイカニカスヘキト云ヒ
ツレハ第二頭モサトリ也ト云ナリ第二頭ト云ハサトリニナリヌルトイヒヤサトリヲ
ウトイヒヤサトリ来リトイハムカ如シナリヌト云モ来リト云モ悟也ト云也……

己下如文、

タトヘハ昨日ノ我ヲ我トスレトモ昨日ハ今日ヲ第二人ト云ハムカ如シ、
是ハ昨日我、今日之我ト云ヘハ、只同物也、

而今ノサトリ昨日ニアラストイハス今ハシメタルニアラス如此參取スルナリシカア
レハ大悟頭黒ナリ大悟頭白ナリ、

以今大悟黒トモ白トモ仕也、猿ノウヘニ黑白ヲ談セシカ如シ、

▲佛々ノ大道ツタハレテト云、佛々トカサヌレハトテ、毘婆尸佛ノ法道ノ如ク、尸棄佛ノ法道ハ尸
立ムスルニハアラス、只毘婆尸佛ノ法道ハ、毘婆尸佛ノ法道ノ如ク、尸棄佛ノ法道ハ尸
棄佛ノコトシト云ハム、ヤウニ佛々トハ列ル也、彼是ノ差別ナキ所ヲ、佛々ト云也、邊際

三三〇

アラム法ハ、大道ノ詞詮ナシ、ユヘニ大悟現成シ不悟至道シ、失悟放行ナムト云也、▲綿
密ト云ハ、タユル所ナク、ツタハルコトノキヒシキトナリ、密ハカクスキニテハナシ、キ
ヒシキ也、祖々ノ功業ト云、是モ上ノ心ナルヘシ、功業ニヨリテ、イカナル賞ヲマツトイ
ハス、ユヘニ平展ト、クナリ、大明録ナムトニハ、悟ノスカタヲ種々ニ立テ、勝劣ヲ判ス
不可然事歟、▲雲門ノ三句ナムト云テ、談スルニハイハユル、隨波逐浪、函蓋乾坤、截斷衆流
コレ三也、是ヲ教ニイハムニハ、隨波逐浪ハ和光同塵ナムト云ヒ、函蓋乾坤ハ境智冥合
ナムト云ヒ、截斷衆流ハ法身ノ理ナリ、非青黃赤白非長短方圓ナムト云ハムスル也、今
禪宗ナムト號スル輩モ、又言語ニカ、ハラス、無分別ナル所カ禪ナルユヘニ、截斷衆流
トハイフソナムト心得シカニハアラス、一者三界ヲ唯一心トトキ、二者一心唯三界ト
トキ、三者三界唯三界ト、カムソ、雲門ノ三句ナルヘキト、コナクニハ心得也、シカアレ
ハ則一句是三句也、千句一句コレ三句ナリ、ユヘニ三句コレ三句ニアラサルナリ、高下
大小ナク、タヒラニノヘタリト也、タトヘハ綿密ノ詞トヲナシ、盡界トツカフ程ノ詞也
佛々ト云ヨリ、平展也ト云マテハ、惣表ノ詞ナリ、佛々ト云カヤカテ、大道綿密ノ義ニモ
アタル也、▲佛佛ノ大道ト云ヨリ、平展也ト云マテ、一段此故ニト云ヨリ、家常也ト云マ
テ、一段、舉拈スルト云ヨリ、弄精魂ト云マテ、一段、以上三段ト見分ヘシ、▲六塵ノ說法ト

三三一

云事アリ所謂六根也、其中此界耳根利也、但根境相對ノ時コソアレ、一佛乘ノ時ハ能所
 ナシ、今ノ佛々相傳ノ大道ハ、六根皆同シ、然而六根ヲ無シト聞モ、聲塵也、耳根利ナルト
 云ヘシ、但又理ノ如ク云時ハ六塵ニカ、ハレス、平展ノトキ、根境識ト云差別モアルヘ
 カラス、▲舉拈スル使得十二時アリ、抛却スル被使十二時アリト云、コレハ省悟弄悟ナ
 ムト云タケテ、舉悟トモ、失悟放行ト云タケテ、抛却トモツカフ也、ツカヒウルト、ツカハ
 ル、ト云共ニ、十二時ノ上ニトク、コレ大道ノツタハルヲ、大悟現成ト云フ弄悟失悟ト
 モ、放行トモイハル、如ク、使得シ被使スルナリ、大悟ノ上ト、十二時ノ上トカハラサル
 也、此ツカハルト云事、誰人カ何ヲ仕ト云ハス、平展至道ソ仕ニテアルヘキ、又今ノ十二
 時ハ午未子丑ナムトヲカソヘムトニハアラス、所詮諸法カ實相ヲ使得シ、實相カ諸法
 ニ被使得程也、又諸法諸法也、實相實相也トモ云ヒ、或弄泥團トモ、弄精魂トモイフコレ
 ナリ、一心即一心ナリ、三界ヲカルヘカラス、但又一心一心ニアラス、三界三界ニアラス
 トモ云ツヘシ▲弄泥團弄精魂ト云フ、泥ノマロカシ、又我等カタマシ非ヲモテアソフ
 ト見タリ、然而佛々ノ大道祖々ノ功業ニハ、是ヲクダシ、是ヲアクル事ナシ、諸法佛法ナ
 ル時節ニハ、佛アリ象生アリト云フ心地ニテ、今ハ弄泥團弄精魂ト云也、タトヘハ大地
 ヲ弄シ、虚空ヲ弄シ、山河ヲ弄ストモイハム同タケナリ、弄精魂ナムト云ヘハ、我等カ肉

身カコトトキコユ、今ハ佛道ノ上ニ心得ヘキ也▲大悟ヨリ佛祖必恁麼現成スル、參學ヲ
 究竟スト云ヘトモ、大悟ノ渾悟ヲ佛祖トセルニハ非ス、佛祖ノ渾佛祖ヲ渾大悟也トニ
 ハ、アラサルナリト云ハ、コノ究竟ト云心地ハ、佛祖ハ大悟ノ邊際ヲ跳出シ、大悟ハ佛祖
 ヨリ向上ニ跳出スル、面目也ト云心ナリ、カナラス悟ヲ用ムトニハアラス、失悟放行ト
 云フユヘニ▲無師知者アリ、善知識ニヨラス、經卷ニヨラス、性ニヨラス、相ニヨラスト
 云、法性ノ草子ニハ、或知識ニシタカヒ、或ハ經卷ニ隨テ參學スルニ、無師獨悟ストアリ
 今ハ善知識ニヨラス、經卷ニヨラスト云フ不同ナリ、如何、コノ疑尤有其謂、無師獨悟ト
 無師知者ト必一ト心得ヘキ歟、又シカアラサルカ、雙ウケテヲクヘシ、法性ニ云經卷ニ
 隨トアル、經卷ハ法華經ノ十方佛土中唯一乘法ノ心ナルヘシ、シカラハイツレノ經ニ
 シタカヒイカナル知識ニアフトモイヒカタシ、此前ニハ無師獨悟トコソサトラルレ、
 佛ハ我行無師法ト被仰、此上ハ外道佛ヲツメタテマツルヘキ詞ナシ、又無師知者ハ、衆
 生如教行自然成佛道ノ自然ニ可心得合此生知學而知佛智者無師知者ト置テ云時ニ、
 先只父ニ對シテ、無師ト云ハムトキハ、經卷ニヨラス、知識ニヨラスト、心得テ可置也、始
 終道理ニ叶ヘキ也、經卷知識等ニヨラスト云詞ヲ、フカキニトリ入ハ、性ニヨラス、相ニ
 ヨラスト云、性相又イカ程ノ義ナルヘキソ、一句ノ詞ナレハタ、詞ノ如ク可心得、▲無

師知者トハ、前終行久學ノ者今ノ龍女如キカ、無師知者ハマタイハハ、盡十方界眞實人
 体ナルヘキ歟▲正當恁麼時ハ而今也ト云、正當ト云ハフルキ詞ナリ、十五日以前、十五
 日以後正當十五日ト云也、コレハ前後ヲ立ルニ似タレトモ、只十五日上ニ前後ヲハ置
 也、正當ハ而今也、▲慧照大師段 臨清院慧照大師云大唐國▲不悟者難得ニツキテ、二
 アリ、悟者ノミアリテ、不悟者ナシト心得ル方モアルヘシ、又不悟者ノ面目カヤカテ難
 得トイハル、也、タトヘハ心不可得ノ心也、心不可得ノ草子ニ、不可得裏ト云シカ如ク
 今ハ難得裏ナルヘシ▲盡界ニカ、ハレス、塵刹ニト、マラストアル、日來ノ見解悉相
 違ス、國土ト云程ニテハ、爭盡界ニカ、ハレス、又塵刹ニト、マラヌ事アルヘキナレハ
 旁被心得ヲトモ、眼睛盡界塵刹コノ三ヲ、大唐國トサスヘキ也、此三ニ各裏ノ字ヲツケ
 テモ難得ナルヘキ也、然者又悟不悟モ是程ニコソ可心得トキニ、サトラサルモノヲモ
 トムルニ不得ト云ヘハトテ、我等カ不得ノヤウニハ心得マシ、不悟者難得ハ、不悟至道
 ノヲナシ詞也、悟者難得ハ、弄悟省悟トモ心得ヘシ、抑難得ハアルヘキモノカ、ナキモノ
 カ、法華經ニ難解難入ト、ク、唯佛與佛ト、ク上、一乘ノ法外ニ難解難入ノ者アルヘシ
 ヤ、論帖ノ經ニハ難覺難知ノ詞ヲ加ル也、難得ト云ヘハトテ、得カタキニハアラス、タト
 ヘハ心不可得ノ詞程也、實相ノ理ヲハ難解難入ト、ク也、▲スヘテサトリハ難得ノ法

ト云ヘキヲヤ▲自己ノ昨自己ト云ハ、過去未來現在、三世ヲサス也、此詞自與他、昨與今
 入チカヘテ云フ、イカナル様アルヘキソト覺ユレトモ、不悟者ニアラス、所ナキ道理ハ
 カリ也、▲一人半人ハ悟者不悟者也、不悟者ノ上ニ悟者アル事ヲ、今半人トハ云也、人裏
 ニ國ヲモトムル事、悟ト不悟トヲナシクハ、又難得難得ナラスト心得合スヘシ、スヘテ
 國與悟人ト各別ニ不心得上ハ、人ノ裏ニ國モトメカタシト疑ヘカラス、教ニモ身土不
 二トハ談ス、ユヘニ普賢色身如虚空、依身而住非國土ト云テ、依身テ國土ニヨラスナム
 ト云義モアリ、所詮國中ニ國アリ人ノ中ニ人アリトモ、又モトムトモ云ヘシ、▲寶智大
 師ノ段、大悟底人○破鏡不重照○三界ニ住スル人一心ヲサトルトキ、如何ニト云ハム
 モ是程ノ事ナルヘシ▲大悟ノ種草ノ爲ニ、ハシメテ迷者トナラムト、擬スヘキニモア
 ラスト云フ大悟與迷者無差別ナレハ、大悟ノシナクアル中ニ、イラムトテ迷者トナ
 ラムト擬スヘキニモアラストハ云也、但大悟ノ種草ノ爲ニハシメテ迷者トナラムト
 擬スヘキニモアラスト云フ、法華ノトキ所被機緣多カリシト云ハ、皆內秘菩提行、外現
 是聲聞トコソアレハ、本高迹下ノ義也、ナトカ迷者トモナラサラム、但是ハ不可然、大悟
 無端、却迷無端ト云、ユヘニ念佛宗ニハ專此事ヲヒキテ、法華ノトキ、記前ニアツカルモ、
 內秘菩薩行ノ輩也、今ノ念佛往生コソ我等カ得分ナレト云フ、尤似有謂、但如此イハハ、

又凡夫往生トハ難云、佛往生トヤ云ヘカラム、佛ステニ成道ノトキハ、大地有情同時成道ト仰セラル、定妄語ニアラシ、然者何ソ我等有情ノ中ニ入サラム、然者佛ノ成道スルニアタレリ、凡夫往生ト難云、▲大悟人サラニ大悟ス、大迷人サラニ大悟ス、大悟人アルカ如ク、大悟佛有ト云フ、○悟上得悟ノ漢、迷中又迷ノ漢ト云程ノ詞也、大悟人サラニ大悟スト云ナラハ、大迷人サラニ大迷ストモ云ヘケレトモ、大悟ヲ題目トシツルユヘニ、大迷人サラニ大悟ストモ云、▲大悟底人却迷時如何ノ詞ニアハセハ、破鏡ハ大悟底人也、却迷時如何ハ不重照、落花ハ大悟底人、難上樹ハ却迷時如何トキコユ、但非爾、破鏡ト云トキ、未破ノコトヲ不談、不對縁而照ト云カ如シタ、不重照ナルヘシ、鏡ヲ像ニ歸ト云事アリ、何ヲカウツサムヤ、落花難上樹モ、タ、樹ナクトモ、只ノホリカタシト説レムカ如シ、不重ノ不ノ字、難上樹ノ難ノ字モタ、難得ノ難ニ可心得、今落花ト云モ、百尺ノ竿頭ノ上ニ置テ、サカムトモ、チラムトモ、共ニイハムカ如シ、進歩退歩、百尺ノ竿頭ノ心也、▲所詮大悟與却迷、善惡勝劣ニアラス、齋肩ノ上有却迷モ、無却迷モ皆アタラスト心得ヘキ也、不可過之、▲諸佛ハ衆生ノ爲ニ大悟ス、衆生ノ大悟ハ諸佛ノ大悟ヲ大悟スト云フ、此詞聊不相應ニ聞ユ、諸佛ハ爲衆生大悟スト云ハ、衆生ハ佛ノ爲ニ大悟スト云イハマホシケレトモ、是ハ大悟ノ草子ナルユヘニ、大悟ヲムネト、ク也、見成公按ニ悟

上得悟ノ漢、迷中又迷ノ漢ト云詞ノ如クナルヘキカト覺ユ、但カレハ諸法佛法ナル時節ト諸法ワレニアラサル時節トヲ出シテ、一句一句モノヲヒトシメテイヘハコソアレ、是ハ大悟ヲ沙汰スル所ナレハ也、▲切忌隨他覺ムト云、是大海不宿死屍ノ道理ナリ、隨他事ハナケレトモイムト仕也、▲凡却迷ノ有無ハ沙汰ノカキリニアラス、ソノ上ハ何ノ事モ僻見ナリト云ヘシタ、大悟ト又却迷トハ、同詞ト心得ヘキ也、▲米胡段 京兆米胡和尚令僧問仰山○過去現在未來イク千萬也トモ、今時ナリ、人ノ分上ハ必今時也ト云フ、此今時ハ三世ナキ心地也、我ヲシテ過去未來現在ヲ念セシムルト云ハ、過去ト云モ、未來ト云モ、今時ノ人カ念ヲヤルハカリマテコソアレ、念又身ニハナレテハ、念々具足シテユクヘクハ、過去モ今時ナルヘシ、未來モ今時ナルヘシト云心地也、人モ佛道人ナルヘシ、今時モ佛法ノ上ニ心得ヘシ、今時ノ人トハ、サトリヲカルト云、同程事也、又今時人ハ、山人水人眼睛人ナリ、悟ヲカリテ大悟スト云詞モアリ、コレハサトリカ、サトリヲカルト云ヘシ、木石ヲカリテ大悟スト云程ノ事也、▲三世ニアリツル身トコソ思ツレトモ、今ハ我ニ三世アルナリ、此三世我等カ、日來思カ如ク、吾我ニ對シテスキヌルヲ過去トトキ、住スルヲ現在ト、キ、未キタラサルヲ未來ト、クハ、ワツカノコトナリ、刹那ノ程ニモコソ三世ハアルヘシ、過去ノ千佛、現在ノ千佛、未來ノ千佛ト、トクコレハ

只紙三枚ヲ一枚ヲ以テ過去ト、キ、一枚ヲ現在ト、キ、一枚ヲ未來ト、クヘキカ、不審也、心外無別法ト云時、三世イカニカワカツヘキ唯一心ノ三世ニハ、一心カアリテトクカ、傍觀者ノアテサタムルカ、佛法ニハ三世アタラサル也、▲今時人ノ今ハ、過去モ現在モ未來モイツレノ所ニテモ、今ト云ハルヘシ、今時ノ人又誰トサスヘキニアラス、盡十方界眞實人躰ノ人ナルヘシ、今時人ト云ツル時ニ、眼睛鼻孔トハアルナリ、別子細ナシ、又サトリヲカルト云、此悟ナニト難云、ユヘニシツカニ參究スレハ、胸襟ニモ頂額ニモ、換却シツヘシ、何トサシテ云ヘキナラヌ也、祖師ノ詞ト云ハ皆以如此、▲古佛ノ出世ニモ度脱セサリヌヘシト云フ、古佛トサスコト如何、未來ノ新佛ノ出世ニハイカナルヘキント一旦ハ覺ユレトモ、佛ハ新古ニカ、ハラス、タトヘハイツレノ佛ノ出世ニモ、コノ僻見ハ難被度脱トナリ、▲第一頭ハラクキモアリヌ失スト心得ル方モアリヌヘシ、佛ノ一乗ト、カセヲハシマス、コレ二三ニ對シタルニアラサレハ、一ト云詞モアリタリ假ト云ヒ不落ト云トヲナシカルヘシ、▲落便宜ト云詞アリ、便宜アリ、便宜ニ隨ナムト云程ノコトニ仕フ●此落ヲ脱落ノ落ニ心得ム如何、但是經豪私愚案也可恐可恐可早改可早改、▲第二ト云詞ハ、第二月ト云詞ヨリ云ソメタリ、悟ヲ得カ第二頭ニラツルニテアルナリ、第二月ト云ハ、目ヲサシテ月ヲ見レハ、月ニアリ、コレ非實月、第二ノ月ハ

大 悟 終

妄月也、コノユヘニ第二頭ハサトリニアラスト云ヘシ、然而サニハアラサルヘシ、第二頭カヤカテサトリナル也、第二月ヲ迷トハ心得ニモ、タ、第一月ノミアルヘシ、第二月ノ下ニコソヤカテ、第一ノ義ハアラハルレ、ユヘニ如此トクナリ、▲悟道是本期ト云フ教ニ云フ待悟爲則ノ心地也、非可用也、▲昨日ノワレヲ我トスレトモ、昨日ハケフヲ第二人ト云ハムカ如シ、而今ノサトリ昨日ニアラストイハス、ハシメタルニアラスト云、如文昨日ト云ヒ、而今ト云ヘハトテワレ不各別也、▲シカアレハ大悟頭黒、大悟頭白ト云フ、黒白ノ詞カハレトモ、所詮大悟頭ノ上ニ、二ナカララク、十二時ノ上ニ擧括スル使、得トモ、抛却スル被使トモ云カ如シ、究竟スル所、サトリヨリ外ニアマル所不可有ト也、▲今時人ト云、今時ハ頭黒ナルヘシ、▲假悟否ノ假悟ハ頭白ナルヘシ、

坐禪儀 第十一

▲此帖無別子細、只坐禪スヘキ進退威儀等ヲ委被說也、諸緣ヲ放捨シ萬事ヲ休息スヘシ善也、不思量也、惡也、不思量也、心意識ニアラス、念想觀ニ非ス、作佛ヲ圖スル事ナカレ坐臥ヲ可脫落トアリ、諸緣ヲ放捨シ萬事ヲ休息スヘシトアレハ、諸ノ緣務ヲ拂ステ、萬事ヲ抛テ可坐禪ト云ヤウニ聞エタリ、實ニ此分モ傍ニナカルヘキニアラテトモ、一向如此心得レハ、取捨ノ法ニ聞ユ、又惡ヲ制シ善ヲヲシヘタルニモ似タリ、只此詞ヲハ坐禪ノ姿カ諸緣ヲ放捨シ萬事ヲ休息シタルスカタ也、乃至心意識ヲ離レ念想觀等ヲ離タル姿也、諸惡ヲ置テ是非ト制シタルニ非ス、諸惡ノ姿カ莫作也ト心得カ如シ、▲兀兀坐定シテ思量箇不思量底也、不思量底如何思量コレ非思量也、此詞坐禪箴ノ時、能々沙汰アリ仍畧之、▲善也、不思量、惡也、不思量也、心意識ニアラス、念想觀ニアラサルユヘニ如此イハル、也、身ノ威儀意ノ止觀ナムトハ非禪、心外無別法ト云ユヘニ、▲坐臥ヲ脫落スヘシトハ、坐禪カ坐臥ニアラサル事ヲシルヲ、脫落スヘシト云也、▲兀々ト坐定シテ思量箇不思量底也トハ、坐禪シ定テ、思量スヘキ事アルヘシトニアラス、坐禪ノトキハ思量箇不思量底ナルヘシ、▲坐禪ハ習禪ニハアラス、大安樂ノ法門也トハ、習禪ニ

アラスト云ハ、教ニ談スル禪定ノ儀ニテハナシト云也、大安樂ト云ハ坐禪コソ大安樂
 ナレ、教ニ談スル樂ハイカニモ苦ニ對シタル樂ナルユヘニ、小樂也非大安樂、▲他本坐
 禪儀ニ(覺動坐禪) 停心意識之運轉、止念想觀之測量ト云、コレ全機ノ心アリ、坐禪カヤ
 カテ運轉測量等ナキ全坐ナルナリ、▲不染汚ノ修證也トハ、不期成佛、脫落坐臥ソ不染
 汚ナルヘキユヘニ如此云ナリ ●此坐禪ノ儀委見坐禪箴草子諸緣ヲ放捨シ萬事ヲ休
 息スヘシトアリ心意識ニアラス念想觀ニアラス作佛ヲ圖スル事ナカレ坐臥ヲ脫落
 スヘシト云フ是等ヲス、ムル所ノ坐禪カ脫落スヘキソト思フ凡夫見解ニハ尤イハ
 レタリタ、シイマス、ムル所ノ坐禪カ脫落ニテアルナリ坐禪カ坐臥ニアラスイハ
 レヲ相像シヌルヲ脫落スト云ヘシ當時明師東福寺長老聖一房ハ得旨後可坐禪トス
 ヲム健仁寺長老道隆禪師ハ爲得旨コソ坐禪ヲハス、ムシ得旨後ハ必坐禪ヲ不可好
 云云此事何モ不當覺ユ其ハ江西大寂禪師南嶽大慧禪師ニ參學スルニ密受密印ヨリ
 コノカタツ子ニ坐禪ストアリ是ハ得旨前トモ後トモミエス密受印後トアレハ得旨
 後モ坐禪之條辨異儀又作佛ヲモ不圖上ハ旨ヲ得ムトテ坐禪スヘクハ助法ノ義ナル
 ヘシ兩様イツレモ不當覺ユ如何坐シ定テ思量スヘキ事アルヘシニハアラス坐禪ノ
 時カ思量箇不思量底ナルナリ ●普勸坐禪儀ニ停心意識之運轉止念想觀之測ト云量

フ是全機ノ心也坐禪スルカヤカテ運轉測量等ナキ全坐ナルナリ不染汚ノ修證也ト
 云ハ不期成佛脫落坐臥ヲ不染汚ナルヘキ

坐禪儀 終

坐禪箴第十二

箴ナシヘシルシヘ
アカルツ
誨ナシヘムナリク

坐禪箴談十一段事

- 第一 答山弘道大師與僧問
- 第二 圖西南嶽問答
- 第三 磨塲作鏡事
- 第四 不如人駕車々々
- 第五 為南嶽汝學坐禪
- 第六 非若學坐禪
- 第七 非若學坐禪
- 第八 汝若坐佛即
- 第九 若執坐相非
- 第十 宏智禪師坐
- 第十一 永平寺和尚坐禪箴事

藥山弘道大師坐次有僧問兀々地思量什麼師云思量箇不思量底僧云不思底如何思量師云非思量大師ノ道カクノ如ナルヲ證シテ兀坐ヲ參學スヘシ兀坐正傳スヘシ……

此問答ヲ心得ヌヘキ様ハ兀々地ト云ハ今ノ坐禪ノ姿ヲ云也坐禪シテハ何事ヲ思量スルントタツテタル返事ニ不思量ヲ思量スルソト被答タルヲ僧重テ又不思量ヲハナニト思量スルソト尋申ニ付テ師又非思量ト被答タルヤウニ聞ユ今ノ問答更非爾所詮今ノ坐禪ノ姿カ思量トモ不思量トモ非思量トモイハル也此道理ナルユヘニ思量トヤ云ヘキ不思量トヤ云ヘキ非思量トヤ云ヘキユヘニ如何ノ詞アルナリ以此道理大師ノ道如此ナルヲ參學シテ兀坐ヲ正傳スヘシトハ云也

兀兀地ノ思量ヒトリニアラスト云ヘトモ、藥山ノ道ハ其一也、イハユル思量箇不思量底也、思量ノ皮肉骨髓ナルアリ、不思量ノ皮肉骨髓ナルアリ、

此詞ニハ二ノ心アルヘシ、一ニハ禪坐ノ儀ヲトカル、コトハ祖師等多其儀ヲ被述タレトモ、今ノ藥山ノ思量箇不思量底ノ詞、拔群シタリト被讚タル詞也ト云儀一又藥山ノ道ノ出現スルトキハ、自餘ノ祖師等ノ詞ハ皆藥山ニ藏身シ打取レテ、藥山ノ道ハカリ也ト云儀モアリヌヘシ、イハユル思量箇不思量底ナリトハ、此詞ノ吉ヲ殊被擧也、又思量ト云フ事ハ心意識ニ仰テ云詞ナリ、皮肉骨髓ハ身ニ仰テ是ヲ談ス、シカルニ思量ノ皮肉骨髓トアル詞、大ニ不被心得、但今坐禪ノ姿ヲステニ思量ト談スル上ハ、坐禪ノ皮肉骨髓ニテアルヘキナリ、今更非可驚、

僧ノ云フ不思量底如何思量マコトニ不思量底タトイヒフルクトモサラニコレ如何思量也、

不思量底タトヒフルクトモト云ハ、不思量底ハシハラクサテ置ト云心地也、其ハサテヲク更ニコレ如何思量ト云也、不思底ノ道理ハサテヲク、如何思量ト云ハ、不思量ト云ヘキカ、思量ト云ヘキカノ道理ヲ如何トハ云也、是則不思量ニモアタリ、思量ニモアタリ如何ニモアタル也、

兀々地ニ思量ナガラムヤ兀々地ノ向上ナニヨリテカ通セサル賤近ノ愚ニ非スハ兀々地ヲ問著スル力量アルヘシ思量アルヘシ、

實爭兀々地ニ思量ナカルヘキ、兀々地ノ向上何ニヨリテカ通セサルヘキ、賤近ノ愚ニ非ハト云フハ、今ノ佛祖ノ坐禪ノ儀ニクラキ人ヲ指歎、兀々地ヲ問著スル力量アルヘシ思量アルヘシトハ、佛祖ノ坐禪ノ理ヲ參學スル人ヲ云也、

大師云非思量イハユル非思量ヲ使用スル事玲瓏也ト云ヘトモ、不思量地ヲ思量スルニハ必非思量ヲ用ルナリ、

非思量ヲ使用スル事玲瓏也ト云ヘトモトハ、非思量ノ玲瓏ナル姿、スキトヨリテヘタテナク、殘物ナシト云ヘトモ、不思量地モ思量モ皆非思量ト一ナル故ニ、必非思量ヲ用也トハアル也ト云也、非思量不思量地思量此三不可有差別也、皆坐禪ノ姿ヲ指ユヘニ非思量ニタレアリタレワレヲ保任ス兀々地タトヒ我ナリトモ思量ノミニアラスト兀々地ヲ擧頭スルナリ、

非思量ニタレアリト云ハ、不思量地ト思量トノ二ヲシハラクタレトハサスナリ、タレワレヲ保任ストハ、不思量地ト思量トカ非思量ヲ保任スル也、不思量地思量ハタレニアタル、ワレト云ハ非思量ニアタル也、兀々地タトヒ我也トモ、思量ノミニアラスト云

ハ、兀々地ノトキハ、思量トハイワス只兀々地ヲ舉頭スルナリ、
 兀々地タトヒ兀々地也トモ兀々地争カ兀々地ヲ思量セムシカアレハ則チ兀々地ハ佛
 量ニアラス法量悟量會量ニアラサルナリ、
 兀々地ノカサナリタルコトハ、坐禪タトヒ、坐禪也トモ、坐禪争坐禪ヲ思量セムト云詞
 也、坐禪究盡ノ道理如此イハル、ナリ、兀々地佛量法量等ニアラサル條勿論事ナリ、
 藥山如此單傳スル事ステニ釋迦牟尼佛ヨリ直下三十六代也、藥山ヨリ向上ヲタツヌル
 ニ三十六代ニ釋迦牟尼佛アリ如此正傳セルステニ思量箇不思量底アリ、
 釋尊與藥山、向上向下ノ代々ヲ舉ス、是ハ次第次第ニ思量箇不思量底ノ道得ヲ正傳シ
 タル様ニ聞ユ、出義モナカルヘキニアラス、然而如此談スレハ、人與法各別ナルヤウニ
 キコユ、釋尊ニハ藥山藏身シ、藥山ニハ釋尊藏身ス、コノ時ハアマタ代ヲカサヌナムト
 難算歟、又思量箇不思量ハ釋尊與藥山アタルヘキカ、釋尊與藥山ノアハヒ思量箇不思
 量ニアタルヘキ也、
 シカアルニ近年ヲロカナル杜撰云功夫坐禪得胸襟無事了、便是平穩地也、コノ見解ナリ
 小乗ノ學者ニ不及人天乘ヨリモ劣ナリ……
 如文所詮胸ノ内ニ物ナクキラ／＼トアル所ヲ便是平穩地也ト云フ也、此見解ヲ如此

被嫌ナリ、

見在大宋國ニ恁麼ノ功夫人多シ……

如文

又一類ノ漢アリ坐禪辨道ハコレ初心晩學ノ要機也カナラスシモ佛祖ノ行履ニアラス
 行亦禪坐亦禪語默動靜體安然ナリ……

坐禪ヲ初心晩學ノ要機ト嫌テ、行モ禪坐モ禪語默動靜體安然ト云事ヲ被嫌ナリ、是ハ
 坐許ニテモアルマシ、行モ住モ禪ナレハ必坐シテ無其詮ト云心地ヲキラフナリ、況ヤ
 又今ノ我等カ行住坐臥等ヲ指テ如此イハムハ、又彌沙汰ノ外事也、已下如文、
 何カコレ初心イツレカ初心ニアラサル初心何ノ所ニカヲクシルヘシ學道ノ定レル參
 究ニハ坐禪辨道スルナリ、

此詞ハ坐禪ハ初心晩學ノ要機也ト云詞ヲ被釋ナリ、抑初心トハイカナルヲ可云乎法
 界唯心トモ三界唯心トモ談セム時ノ初心ハ何ノ所ニ置クヘキノ、何カ初心ニアラサ
 ル、初心ト談セム時ハ法界悉初心ナルヘシ、更初心ノ置所アルヘカラス、
 ソノ榜樣ノ宗旨ハ作佛ヲモトメサル行佛アリ行佛サラニ作佛ニアラサルカユヘニ公
 按現成ナリ、

今ノ坐禪作佛ヲ不修行佛アリ、行佛更非作佛道理ナルヘシ、作佛ノ公按見成也、行佛ノ公按現成ナルヘシ、
 身佛サラニ作佛ニアラス羅籠打破スレハ坐佛サラニ作佛ヲサエス、
 佛ニ成ト云ヘハ、カナラス先身ヲサシイタスナリ、身佛ト云ハム時ハ、一向身佛ナルヘシ、身佛外ニ餘佛アルヘカラス、身佛ヲ作佛スト不可思、羅籠打破トハ、今サキ云行佛作佛身佛等ノクサ、トアル詞共ヲ打破ツレハ、坐佛サラニ作佛スト云ヘトモ、サラニサエスト云ナリ、所詮此心地ハ至極解脱ノ理ニイタリヌレハ、身カ作佛スルト云モ何ト云詞モサエヌナリト云也、
 正當恁麼ノ時千古萬古トモニモトヨリ佛ニ入り魔ニ入チカラアリ進歩退歩シタシク溝ニミチ壑ニミツ量アルナリ
 此ノ羅籠打破ノ正當恁麼ノ時ハ、佛ニ入魔ニ入ト云、魔モ進モ退モ皆圓滿々足ノ儀也故溝ニミチ壑ニミツ量アリトハ云也、
 江西大寂禪師チナミニ南嶽大慧禪師ニ參學スルニ密受(此密際密ノ密ニアラフスシ)心印ヨリコノカタツテニ坐禪ス南嶽アルトキ大寂ノトコロニユキテ問大德坐禪圖箇什麼コノ問シツカニ功夫參究スヘシ

此功夫參學スヘシト云言モ、不審ナキニアラス、其故ハ汝カ坐禪シテハ何事ヲハカルソト、尋ヌル言アナカチニ、不審ナルヘシトモ覺ヌヲ此問能々功夫參學スヘシトアリ知ヌ我等カ心得タル問ノ言ニテナシト云事ヲ、
 ソノユヘハ坐禪ヨリ向上ニアルヘキ圖ノアルカ坐禪ヨリ格外ニ圖スヘキ道ノイマダシキカスヘテ圖スヘカラサルカ當時坐禪セルニイカナル圖カ現成スルト問著スルカ審細ニ功夫スヘシ、
 此圖箇什麼ノ言ヲ如此被釋也、打任圖ト云言ヲ心得ルハ、物ヲ一置テコレヲツスルソ是ヲハカルソナト云フ、是ハステニ坐禪ヲ以テ圖ト仕フ上ハ、別ノ物ニ非ス、今ノ圖ハ坐禪ナルヘシ、圖箇什麼ノ言、例ノ不審ノ詞ニアラス、自坐禪向上ニ可有圖ノアルカ當時坐禪セルニイカナル圖カ現成スルト問著スルカト云言トモカ、圖箇什麼ノ言ニハアタルナリ、所詮是等皆坐禪ノ道理ナルヘシ、
 彫龍ヲ愛スルヨリス、ミテ眞龍ヲ愛ヘシ、彫龍眞龍トモニ雲雨ノ能アルコト學習スヘシ是ハアマリニ龍ヲ愛テ繪ニモカキ、木ニモ作テイクラモ龍ヲ翫ケリ、コノ志ニコタヘテマコトノ龍カ現タリケル時、恐怖シテハシリ去ヌ是喻ヲ今被引出也、コレハ坐禪與作佛ノアハヒヲ、此眞龍彫龍ニ被喻也、其故ハ坐禪ハ今ノ作業、此作業ノ力ニヨリテ、成

佛得道スト、打任テハ心得也、今ノ坐禪非爾坐禪作佛只差別不可有坐禪ヲハ彫龍ニタトヘ作佛ヲハ真龍ニタトフ、詮ハ彫龍モ真龍モ一ナリト心得ル佛祖相傳ノ坐禪ノ道理ナルヘシ、作佛ヲマタサル坐禪ナルカユヘニ、彫龍真龍共ニ雲雨ノ能アルコトヲ學習スヘシト被決也

遠ヲ貴スルコトナカレ、遠ヲ賤スルコトナカレ、目ヲ輕スルコトナカレ、目ヲモクスル事ナカレ耳ヲモクスル事ナカレ、耳目ヲシテ聰明ナラシムヘシ、遠ハ作佛ニアタリ、近ハ坐禪ニアタルヘキカ、遠近共ニ作佛也坐禪也、何ヲ貴シ何ヲ賤ムヘキ道理アルヘカラスト也、又目ヲカロクスル事ナカレ、目ヲモクスル事ナカレト云ハ、世間ニモ千聞ハ一見ニシカストテ目ヲ重スル事モアリ、又一見ヨリモ耳ニテ聞コソシタシケレナムト云儀モアルカ、是等皆一ヲ用レハ一ハステラル、道理アリ今ノ坐禪作佛ノアハヒ惣テ一ヲ用一ヲスツルト云勝劣取捨ノキニアラス、故一ヲ重クシ一ヲ輕スル事不可有、坐禪モ法界ヲ盡シ、作佛モ法界ヲ盡ス、以此道理耳目ヲシテ、聰明ナラシムヘシトハ云也、

江西イハク圖作佛此道アキラメ達スヘシ作佛ト道取スルハイカニアルヘキノ佛々作佛セラル、ヲ作佛ト道取スルカ佛ヲ作佛スルヲ作佛ト道取スルカ佛ノ一面出兩面出

スルヲ作佛ト道取スルカ、

江西南嶽ニ大德坐禪圖箇什麼ト被問テ、圖作佛ト被答、是ハ無風情佛トナラムスル事ヲ圖スルソト被答タルヤウニ聞ユ、非爾、此圖カヤカテ作佛ニテアル也、此圖作佛ノ道理カ佛ニ作佛セラル、ヲ作佛ト道取シ、佛ヲ作佛スルヲ作佛ト道取スルヤト云、道理ニテアル也、又佛ノ一面出兩面出ト云ハ、一佛二佛ト云言也、一佛二佛ヲ道取スルカト云也、此圖作佛ノ道理カ、是等ノ儀ニ當ル也、坐禪作佛ノアハヒ、如此親切ナル道理ナルヘシ

圖作佛ハ脱落ニシテ脱落ナル圖作佛カ作佛タトヒ萬般也トモ、此圖ニ葛藤シモテユクヲ圖作佛ト道取スルカシルヘシ、大寂ノ道ハ坐禪カナラス圖作佛也坐禪ナカラス作佛ノ圖ナリ圖ハ作佛ヨリ前ナルヘシ作佛ヨリ後ナルヘシ、

圖作佛ハ脱落、脱落ハ圖作佛、只同詞ヲ打チカヘテ云也、是ハ坐禪作佛ノアハヒ如此被云也、作佛タトヒ萬般也トモ、コノ圖ニ葛藤シモテユクトハ作佛ノ道理アマタナリトモ、只此圖ノ道理也、此道理ハ葛藤々々ヲマトフ、坐禪々々ヲマトヒ、作佛々々ヲ纏ト云道理也、圖ハ作佛ヨリ前作佛ヨリ後ナリト云モ、只圖作佛ノ上ノ前後ナルヘシ、且問スラクハ此一圖イクソハクノ作佛ヲ葛藤ストカセム、此葛藤サラニ葛藤ヲ纏ヘシ

此時盡作佛ノ條々ナル葛藤カナラス盡作佛ノ端的ナル皆共ニ條々ノ圖也、
 シハラク問ストテ此一圖不幾ノ作佛ヲ葛藤ストカセムトハ此圖カ作佛ナル時ニ此
 圖ニ作佛セラレス作佛アルヘカラスト云心地也、坐禪作佛ノアハヒヲ葛藤々々ヲ纏
 ト心得上ハ作佛ヲ葛藤ストカセムノ詞ハ此心ニ當ルヘシユヘニ葛藤サラニ葛藤ヲ
 可纏ト云盡作佛ノ條々ナルト云ハ此作佛ノ道理カトモカクモ被云心地ナリ盡作佛
 ノ端的ナルトハ此作佛ノ道理ナニニモアタリタル心地也、ユヘニ皆共ニ條々ノ圖ナ
 リトハ云也、

一圖ヲ廻避スヘカラス一圖ヲ廻避スルトキハ喪身失命スルナリ喪身失命スルトキ一
 圖ノ葛藤ナリ、

此一圖ノ道理カ或時ハ不可廻避トモ云ハレ或時ハ廻避ストモ云ハル、也、廻避セサ
 ル時モ作佛廻避スルモ作佛ノ道理ナルヘシ此作佛ヲ以テ喪身失命スト云ヒ此坐禪
 ノ道理ヲ以テ喪身失命スル時一圖ノ葛藤也トハ云ナリ盡十方界眞實人體ト廻避ス
 ルコソ喪身失命ノ至極ナレ、
 南嶽トキニ一磚ヲ取テ石上ニアテトク大寂ツイニ問ニ云ク師作什麼實ニタレカ之
 ヲ磨磚ト見サラム誰カ是ヲ磨磚トミム、然而磨磚ハ如此作什麼ト問セラレ來也、

此問答如文此大寂ノ作什麼ノ詞ハ兀々地思量什麼ト云也什麼同詞也、是モ打任タル
 見解ニハ磚ヲ磨ヲ見テ何事ヲナスト問シタル様ニ聞ユ、是ハ坐禪トヤ云ヘキ思量
 箇不思量トヤ云ヘキ作佛トヤ云ヘキ、磚トヤ云ヘキ鏡トヤ云ヘキイツレト云カタキ
 道理ヲ例如此問トナルナリ實誰カ是ヲ磨磚トミサラム、但此大寂ノ作什麼ノ道理ヲ
 ウルハシク知人不可有、ユヘニ誰カ是ヲ磨磚ト見ムトハ云也、磨磚ノ道理ハ如此作什
 麼ト云ハルヘキ也、

此土他土コトナリト云ヘトモ磨磚イマタヤマサル宗旨アルヘシ、
 是ハ此土地土盡十方界皆磨磚ノ道理也、ユヘニ磨磚イマタヤマサル宗旨有トハ云也
 自己ノ所見ヲ自己ノ所見ト決定セサルノミニアラス萬般ノ作業ニ參學スヘキ宗旨ア
 ル事ヲ一定スルナリ、

是ハ自己ノ所見ヲ自己ノ所見ト決定セサルノミニ非ストハ、慳是ハ我ニ仰タル自己
 ノ事也、吾心ニ山トモ河トモ火トモ水トモ思所見ヲ決定セサルノミニアラス、萬像森
 羅ノ作業ニ參學スヘキ宗旨アル事ヲ一定スヘシトナリ、
 シルヘシ佛ヲ見ニ佛ヲ不知會セサルカ如ク水ヲ見ヲモ不知山ヲ見ヲモ不知也眼前ノ
 法サラニ通路アルヘカラスト倉卒ナルハ佛學ニアラサルナリ、

實ニモ佛ヲ見モ佛ヲ不知、水ヲ見テモツヤノ、眞實ニハ水ノ理ヲモ不知、山ヲ見テモ其理ヲ不知、凡夫ノ作法顯然也、只我山ヲ見、水ヲ見テ、山ハ山水ハ水ト心得タル許ニテ不可有、此外通路アルヘシ、我見ノ外不可有ト倉卒ニ思事ナカレ、是非佛學ニト被嫌ナリ此定ニ博ヲ磨ヲ只尋常ノ如ク、博ヲ磨許ト思事ナカレ、博ヲ磨スル道理、凡見ノ如クハナキ道理ヲ示サム料御詞也、

南嶽曰磨作鏡コノ道旨アキラムヘシ磨作鏡ハ道理カナラスアリ見成ノ公按アリ虚説ナルヘカラス、

大寂ニ師作什麼ト被問テ、南嶽磨作鏡ト被答タリ、是ハトヒテ鏡ト成サム料ト被答様ニ聞ユ、博ハツチクレヲ燒、カタメタルモノイタツラ、物ナリ、鏡ハ銅萬像ヲウツス寶ナリ、如此凡夫ハ思付タルニヨリテ、博ト鏡トノアハヒ輕重トナレリ、今ノ磨作鏡ノ道理非爾、博イカニトクトモ鏡ト成ヘカラス、大略徒事也、是程ノ博ナラハ又トカストモ鏡ト成ナム旁不審也、但以鏡磨トツカフ、以博鏡ト談ス、更博ト鏡ト別ノ物ニアラス坐禪作佛ノアハヒモ如此ナリ、コノ道理アルマヘニ、磨作鏡ハ道理必アリトハ云ナリ、又見成ノ公按アリ、虚説ナルヘカラストハ云ナリ、

博ハタトヒ博也トモ鏡ハタトヒ鏡也トモ磨ノ道理ヲ力究スルニ許多ノ榜樣アル事ヲ

シルヘシ、

是ハ博ハ博ニテモアレ、鏡ハ鏡ニテモアレ、磨ノ道理カ力究スルニ、許多ノ榜樣有事ヲシルベシトハ、博鏡ヲハシハラクサテヲク、磨ノ道理ヲ盡ストキ許多ノシナノアルナリト云也、

古鏡モ明鏡モ磨博ヨリ作鏡ヲウルナルヘシモシ諸鏡ハ磨博ヨリ來トジラサレハ佛祖ノ道得ナシ佛祖ノ開口ナシ佛祖ノ出氣ヲ見聞セス、

是ハ磨ノ道理ヲ能々可參學心地也、所詮博ハイタツラナル物、磨スルハ作業ト思ツル白見ヲ返返被嫌也、磨則坐禪博則坐佛ナルカユヘニ、

大寂曰磨博豈得成鏡耶

前ニハ磨博作鏡ト云ハレ、斯ニハ又磨博豈得成鏡耶ト云、是相違ノ詞ニ聞タレトモ非相違義其故ハ此磨作鏡ノ道理ノウヘニ、磨博作鏡トモ云ハレ、磨博豈得作鏡耶トモ云ハル、ナリ、

マコトニ磨博ノ鐵漢ナル他ノ力量ヲカラサレトモ磨博ハ成鏡ニアラス成鏡タトヒ鑿也トモスミヤカナルヘシ、

磨博ノ鐵漢ナルトハ、磨博ノ獨立ノ姿歟、實ニ磨博究盡ノ道理、他ノ力量ヲカルヘキニ

アラス磨埵ハ不可成鏡トハ例ノ磨埵成鏡ハ成鏡ナルヘキ道理也成鏡タトヒ響也トモ、スミヤカナルヘシトハ埵ヲトキテ鏡ト成スト云トモ、強爲シテ成スヘキニアラス埵カヤカテ鏡ナル所ヲ響也トモスミヤカナルヘシトハ云ナリ、

南嶽曰坐禪豈得作佛耶アキカラニシリヌ坐禪ノ作佛ヲマツニアラサル道理アリ作佛ノ坐禪ニカ、ハレサル宗旨カクレス、

坐禪豈得作佛耶ノ詞ハ坐禪與作佛アハヒカ如此云ハル、也坐禪與作佛至テシタシキ時ノ理ナリ坐禪トヤセム作佛ヲ不待坐禪ナルエヘニ如此被云也故ニ坐禪ノ作佛ヲ待ニ非サル道理アリ作佛ノ坐禪ニカ、ハレサル宗旨カクレストハ云也、

大寂曰如何即是今ノ道取ヒトスチニ這頭ノ問著ニ相似也ト云ヘトモ那頭ノ即是ヲモ問著スルナリ、

是ハ南嶽ハ坐禪豈得作佛耶トテ坐禪シテ佛ニ成ヲ被不審タル詞ヲイカナルカ即是ト大寂云タル様ニ心得ヌヘシ非爾努々非不審詞イカナルモ作佛ト云詞也作佛ナラヌ道理不可有、エヘニ這頭ノ問著ニ相似セリトハアル也此如何即是ノ詞カ、又那頭ノ即是ヲモ問著スル道理ナル也、

タトヘハ親友ノ親友ニ相見スル時節ヲ可知我ニ親友ナルハカレハ親友也、

此親友ト者坐禪與作佛ノシタシキ所ヲ親友トハ云ナリ、

如何即是則一時ノ出現ナリ

此如何即是ノ詞カ、只疑詞ニテハナクシテ、一時ノ現成公按トナル也、此一時ト云ハ、作佛ノ一時ナルヘシ、無邊際ノ一時也、

南嶽曰如人駕車車若不行打車即是打牛即是シハラク車若不行ト云ハイカナラムカコレ車行イカナラムカコレ車不行、

大寂ノ如何即是ノ言ニ付テ、南嶽今重テ如人駕車ノ言ヲ被示也、如何即是ノ言ハ、イカナルモ作佛ト云心地ニ付テ、車牛行不行ノ言ヲ重テ示スニ付テ、今大寂ノ如何即是ノ言ニ付テ被述也、實ニモイカナラムモ、作佛ナルヘカラムニハ、車牛モルヘキニアラス、但如此草子、車若不行イカナラムカコレ車行、イカナラムカコレ車不行ト、能々心ヲ付テ可參學也、世間ニ人ノ乘車其ニ牛ヲ懸テ、行ナムト心得ムニハ、今佛祖所談ノ車牛ニハ、大ニ相違スヘキナリ、法華經三乘ノ車ヲマウク、三乘ノ車ノ上ニ大白牛車ヲ説は大ニワレ、カ思タル車ニカハル、佛道ノ牛車倉卒ニ不可心得是ヲ被釋ニ

水流ハ車行ナルカ水不流ハ車行ナルカ流ハ水ノ不行ト云ツヘシ水ノ行ハ流ニアラサルモアルヘキナリシカアレハ車若不行ノ道參究セムニハ不行アリトモ參スヘシ不行

ナシトモ參スヘシ時ナルヘキカユヘニ、
 是ハ如文ハ水流ハ誠車行ニアタルヘシ、水不流ハ車不行ニコソアタルヘキニ、水不流
 ハ車行也トアリ、文ノ面不被心得様ニミユ、但流ヲハ行ト心得、不流ヲハ不行ト心得、此
 流不流凡見ヲ謝セムカ爲トモ心得ツヘシ、其上此水流水不流、我我カ眼前ノ法ト不可
 心得、坐禪與作佛ノ面目ヲ水流水不流ト心得ヘシ、車行車不行モ是等程ノタケナルヘ
 シ、水流水不流共ニ車行トアリ、是ハ流不流ニカ、ハラス、車行車不行モ只水流水不流
 程ニ心得ヘキ也、流ハ水ノ不行ト云ツヘシ、打任テ思ニハミナ上ヨリ水ハナカル、ヲ
 流トイヒ、車ノ行ヲハ行ト心得ナムトスルヲ、佛法ニハ水ノ流ノ上ニ不流ノ道理アリ、
 不流ナル上ニ流ノ道理アルヘシ、車ノ行不行モ如此ナル道理ヲ云也、又車若不行道ヲ
 參究スルニハ、不行アリトモ不行ナシトモ參ヘシトハ、行不行ニカ、ハラス道理ナル
 ヘシ、時ナルヘキカ故ニトハ、此行不行ト一時ノ公按現成スルヲ、時ナルヘキカユヘニ
 トハ云ナリ、

若不行ノ道ヒトエニ不行ト道取セルニアラス、打車即是打牛即是ト云、打車モアリ、打牛
 モアルヘキカ、打車ト打牛トヒトシカルヘキカ、ヒトシカラサルヘキカ、世間ニ打車ノ法
 ナシ、凡夫ニ打車ノ法ナク、トモ佛道ニ打車ノ法有事ヲシリヌ參學眼目ナリ、

マコトニ不行ノ道ヲ、偏ニ我等カ不行ト心得テハアタルヘカラス、打車即是ト云言ニ
 テ我々カ不行ナルヘカラスト云言ハ被心得ヌヘシ、佛道打車ト云言談スヘキナリ、打
 車ハ佛法ノ上ニツカフ言、打牛ハヨノツテ、我々カ思ナラハシタル打牛ト不可心得
 打車モ打牛モ只同言同心ナルヘシ、

タトヒ打車ノ法有事ヲ學ストモ打牛ト一等ナルヘカラス、審細ニ工夫スヘシ……
 是ハ打牛ハ打牛、打車ハ打車ナルヘキ所ヲ一等ナルヘカラストハ云ナリ、又此道理ノ
 下ニハ、打車打牛一等ナルヘシト云、道理モ可有也、如常、
 水牯牛ヲ打牛スルカ、鐵牛ヲ打牛スルカ、泥牛ヲ打牛スルカ、鞭打ナルヘキカ、盡界打ナル
 ヘキカ、盡心打ナルヘキカ、打進髓ナルヘキカ、拳頭打ナルヘキカ、拳打拳アルヘシ、牛打牛
 アルヘシ、

此水牯牛、鐵牛、泥牛等ノ言、是ハ皆古キ詞共ヲ引キヨセテ被書タルナリ、所詮水牯牛、鐵
 牛、泥牛ナムト云ヘハ、何事ソヤト覺エタリ、是ハ皆水牯牛モ、鐵牛モ、泥牛モ、佛ト云也、水
 牯牛、打鐵牛、打泥牛、打トソ云ヘキヲ、皆牛牛ノ詞下ニツケタルハ、聊子細アルヘシ、其故
 ハ、只打ノ詞許ヲ付テ云ヘハ、猶人アリテ打ヘキヤウニ、能所アリテ聞ユ、牛ノ字ヲ面々
 ニツケツレハ、能所ヲハナレ人アリテ牛ヲ打ト云見解ヲハナル、也、鞭打ナルヘキカ

トアリ、是ハヨノツチナル詞ニ聞ユ、但此車即是ヲ打ヘキ、鞭ハイカナルヘキソ、只法界ヲ法界カ打程ノ道理ナリ、仍盡界打盡心打（是ハ三界唯心）打進（是ハ打心ナリ）頭打ナルヘシト云フ、打任タル打牛ノ心地ニカハルヘキ條顯然也、コノ落居スル道理ヲ決セラル、ニ拳打拳牛打牛ト云フ此道理ナルヘシ、

大寂無對ナルイタツラニ蹉過スヘカラス、拋擲引玉アリ、回頭換面アリ、コノ無對サラニ攬棄スヘカラス、

南嶽ノ如人駕車ノ言ノ後、大寂無對ナリ、此無對ハ至極此南嶽ノ言ヲ答ラレタル無對ト可心得、只徒ニ云ヘキヲ云ハス、閉口シタル無對ニハアルヘカラス、ユヘニ徒ニ蹉過スヘカラスト被云也、拋擲引玉アリトハ、カハラヲナクテ玉ヲ引ト云、因縁アリ、回頭換面トハカシラヲメクラシテ、面ニカウト云フ、只同コト也、所詮坐禪作佛、打車打牛ノ心ノアハヒ、回頭換面程ノ心ナリ、攬奪トハ市ニテ商人カ心モユカヌ物ヲヲシテカウ事ヲ云フ、是非道ナリ、今ノ無對ヒカ事ナラヌ心ナリ、

南嶽マタシメシテ曰、汝學坐禪爲學坐佛……イハユル學坐禪ノ端的イカナリトシラサルニ學坐佛トシリヌ、正嫡ノ兒孫ニアラスヨリハ爭學坐禪ノ學坐佛ナルト道取セム、是ハ無殊子細如文、坐禪ハ作業トノミ思之シカルニ坐禪ヲ坐佛トシル事ヲ、正嫡ノ兒

孫ニ非ハト云ハル、ナリ、

シルヘシ初心ノ坐禪ハ寂初ノ坐禪ナリ、寂初ノ坐禪ハ寂初ノ坐佛也

此草子ニ初心、晚學ノ要機トテ坐禪必不可用ナムト云人モアリ、此邪見ナル様ヲ被出ナリ、初心ト云詞ヲ被嫌ナリ、坐禪ニ初心後心アルヘカラス、縱初心後心アルヘクトモ坐禪ノ上ノ初心後心ナルヘシ、前後ニ不可拘也、

坐禪ヲ道取スルニ云、若學坐禪々非坐臥イマ云所ハ坐禪ハ坐禪也、坐臥ニアラス、坐臥ニアラスト、單傳スルヨリコノカタ無限ノ坐臥ハ自己ナリナムソ、親疎ノ命脉ヲタツテム、爭迷悟ヲ論セム、誰カ智斷ヲモトメム、

是ハ坐禪ト談セハ、一向坐禪ナルヘシ、坐禪ノ外ニ坐臥ト云事不可有、アマリニ坐禪ノ道理ノ外ニ、余物交ハラヌ所ヲセメテモ云ハム料ナリ、無限ノ坐臥ハ自己ナリトハ、坐臥ナルヘクハ坐臥ノ脱落、無限ノ坐臥ト云ハレヌヘシ、然者我等カ思付タル行住坐臥ノ臥ニアラス、此自己ハ無限ノ坐臥ヲ自己トサスナリ、實ニ此無限ノ坐臥ノ上ハ、親疎ノ命脉、迷悟智斷ノ義不可有、又此草子ノ初ニ、行亦禪坐亦禪語、默動靜體安然ト云、此行モ坐モ禪モ無限ト心得ハ、今ノ道理ニ不可違也、

南嶽曰、若學坐佛、佛非定相イハユル、道取ヲ道取セムニハ、恁麼ナリ、坐佛ノ一佛二佛ノ如

クナルハ非定相ヲ莊嚴トセルニヨリテナリ……
 此詞ハ佛非定相ノ非ヲ打任タル是非ノ非ニ心得ル邪見ナリ、坐佛ノ佛ハ定レル相ナ
 シト心得ム、僻見也、坐佛與非定相ヲ一佛二佛ト云歟、今ノ非定相ヲ莊嚴トセルニヨリ
 テト云ヘハトテ、打任タル佛ノ天蓋瓔珞寶冠ナムトノ様ナル莊嚴ト云ニハアラス、只
 非定相ト云佛ノアルヘキヲ、坐佛ト非定相トヲ、一佛二佛トハ云也、ユヘニ今佛非定相
 ト道取スルハ、佛相ヲ道取スルナリトハ云ナリ、
 非定相佛ナルカユヘニ坐佛サラニ廻避シカタキナリシカアレハ、則佛非定相ノ莊嚴ナ
 ルカユヘニ若學坐禪則坐佛也、
 前段ニハ只非定相ト許アリ、コ、ニハ己非定相佛ナルカユヘニトアル時ニ、非定相カ
 佛ナル條顯然ニキコユ、非定相佛ト云道理ニテ、行佛トモ殺佛トモ、無盡ニイハルヘキ
 道理アルユヘニ、坐佛モ廻避スヘカラスト云ハル、也、實ナニトシテカ、坐佛カ此理ニ
 モルヘキ勿論事也、又前段ニハ坐佛ノウヘニ非定相ヲ莊嚴トシ、今ハ佛非定相ノ莊嚴
 ヲ坐禪ノ莊嚴トセリ、打チカヘタレトモ、只同心ナルヘシ、
 誰カ無住法ニ置テ佛ニアラスト取捨シ佛也ト取捨セム取捨サキヨリ脱落セルニヨリ
 テ坐佛也、

是ハ南嶽ノ詞ニ、於無住法不應取捨ノ詞ノ釋ナリ、實於無住法ノ時節、誰アリテ佛也ト
 モ佛ニ非ストモ取捨セム、サラニ取捨スヘキ人ナシ、取捨サキヨリ脱落セリトハ、今ノ
 取捨ト云モ脱落ノ上ノ取捨ナルヘシ、ユヘニ如此云也、

南嶽曰、汝若坐佛即是殺佛イハユルサラニ坐佛ヲ參究スルニ殺佛ノ功德アリ坐佛ノ正
 當恁麼時ハ殺佛ナリ殺佛ノ相好光明尋テムトスルニ必坐佛ナルヘシ、
 坐佛即是殺佛ノ詞大ニ驚耳目様ニ聞ユ、但佛ハ更殺ヲウケ給ヘカラス、五逆ノ罪ノ中
 ニモ出佛身血罪ナリ、殺佛ト云事名目ヨリ不可有佛在世ニモ佛ヲ奉殺トセシカトモ
 終不叶、提婆達多磐石ヲ投タリシニ、石ノカケ佛ノ御足ニアタリテ、血タリタリシ事ア
 リキ、是則達多カ五逆ノ内ノ隨一也、今ノ殺佛ノ詞ハ、坐禪ノ姿ヲ殺佛トツカフ也、坐ノ
 外ニ又物ナキ道理カ、殺佛ト云ハル、也、至テ坐禪ノ親切ナル道理カ、殺佛ト云ハル、
 ナリ、故坐佛ノ正當恁麼時ハ殺佛也トモ云フ、殺佛ノ相好光明ハ尋テムトスルニカナ
 ラス坐佛ナルヘシトモ云也、
 殺ノ言タトヒ凡夫ノ如クニヒトシクトモヒトヘニ凡夫ト不可同又坐佛ノ殺佛ナルニ
 有什麼形段ト參究スヘシ、
 實殺ノ言凡夫ノ殺ト爭同ヘキ勿論也、又坐佛ノ殺佛ナルハ有什麼形段ト參究スヘシ

トアリ、此有什麼形段トアル詞、ヤカテ坐佛ナルヘシ、殺佛ナルヘシ、思量ナルヘキカ、不
思量ナルヘキカ、非思量ナルヘキカ、坐佛ナルヘキカ、殺佛ナルヘキカ、此道理カ有什麼
形段ト云ハル、也、何義ニモアタルヘキ形段也、

佛功德ステニ殺佛アルヲ拈擧シテワレカ殺人未殺人ヲモ參學スヘシ
是ハ此殺佛ノ道理ヲ拈擧シテ、我等カ殺人未殺人ヲモ參學云云如文可得意、今ノ我
等カ坐禪ノ姿コソ殺人ノ至極ナル、坐禪ノ外餘人ナキユヘニ、

若執坐相非達其理イハユル執坐相トハ坐相ヲ捨シ坐相ヲ觸スル也、

此若執坐相非達其理ノ詞ハ被嫌タル詞カト聞ユ更非其義次文ニ聞エタリ、

此道理ハ已ニ坐佛スルニハ不執坐相ナルコトエサルナリ不執坐相ナル事エサルカユ

ヘニ執坐相ハタトヒ玲瓏也トモ非達其理ナルヘシ……

抑坐相ヲ執ストハ何物カアリテ可成執乎、非定相佛ヲ是非ノ非ニハアラスト云云カ

如シ、今ハ不執坐相ナル事、エサルカユヘニ執坐相タトヒ玲瓏也トモ、非達其理ナルヘ

シトハ、執坐相カスキトヨリテカクル所ナクトモ、非達其理ナルヘシト也、執坐相ノ

姿カ非達其理ナル也、人ヲ置テ其理ニ達ソ不達ソト云ニハアラス、

イマタカツテ坐セサルモノニ此道ノアルニ非打坐時ニアリ打坐人ニアリ打坐佛ニア

リ學坐佛ニアリ

是如文、實今ノ坐禪ノ理ニモル、モノ不可有、然而坐セサル物ニハ實此道アルヘカラ
ス、打坐時打坐人打坐佛學坐佛等ニ上ノ道理アルヘシト也、

只人ノ坐臥スル坐ノ此打坐佛ナルニアラス人坐ノヲノツカラ坐佛佛坐ニ相似也ト云
ヘトモ人作佛アリ作佛人アルカ如シ作佛人アリト云ヘトモ一切人ハ作佛ニアラス佛
ハ一切ノ人ニアラス一切佛ハ一切人ノミニアラサルカユヘニ人カナラス佛ニ非ス佛
カナラス人ニアラス坐佛モ如此、

是ハ人ノ坐臥スル坐ト云ハ打任タル人ノ坐ヲ云ナリ、此坐ハ打坐佛ナルニ非スト被
嫌也、非坐佛故也、人坐ノヲノツカラ坐佛佛坐ニ相似也ト云ヘトモ、人作佛アリ、作佛人
アルカ如シト云ハ、坐ノ姿ハ似タレトモ、此道理ヲ參學スル人ニ取テコソ、作佛人人作
佛トハ云ハルレト云心也、此理ヲ得スシテ、只イタツラニ坐スル人ノ上ニハ實ニモ一
切人ハ作佛ニアラスト云ハルヘキ也、佛ハ一切人ニアラス、一切佛ハ一切人ノミニア
ラサルカユヘニトハ、佛ハ佛人ハ人ノ心地也、人カナラス佛ニアラス、佛カナラス人ニ
アラスト如前云、但如此云ヘハトテ、一向非スヘキニアラス、人カ佛佛カ人ト云道理又
此下ニハ有ルヘキ也、

南嶽江西ノ師勝資強如此坐佛ノ作佛ヲ證スル江西是ナリ作佛ノ爲ニ坐佛ヲシメス南嶽コレナリ、

是ハ如文坐佛ヲ作佛ト證スルハ江西作佛ヲ坐佛トシメス南嶽是也云云只同事ヲ打チカヘラレタリ抑又南嶽江西ハ祖師ニテ此詞ヲ被示ト可心得歟今ノ南嶽與江西ノアハヒ坐佛ナルヘシ如此可心得ナリ、

南嶽ノ會ニ恁麼ノ功夫アリ藥山ノ會ニ向來ノ道取アリ……

恁麼ノ工夫トハ南嶽ノ詞ヲ指シ藥山ノ會トハ最初ノ兀々地思量什麼思量箇不思量底等ヲサス也是以下詞如文佛祖ノ光明ニ照臨セラレト云ハ此坐禪ヲ光明ト云フ也日月珠火等ノ光ヲ光明ト不可心得也

古來ヨリ近代ニイタルマテ坐禪銘ヲ記セル老宿一兩位アリ坐禪儀ヲ撰セル老宿一兩位アリ坐禪箴ヲ記セル老宿一兩位アル中ニ坐禪銘トモニトルヘキ所ナシ……景德傳燈錄ニアル坐禪箴ヲヨヒ嘉泰普燈錄ニアル所ノ坐禪銘等也……

是等ハ皆不可用ト被嫌也

彼等カ所集ハタ、還源返本ノ様子ナリイタツラニ息慮凝寂ノ經營也觀練薰修ノ階級ニヲヨハス十地等覺ノ見解ニヲヨハス爭佛々祖々ノ坐禪ヲ單傳セム……

是ハ彼等カ所集トハ右ニ所出之坐禪銘坐禪儀坐禪箴等傳燈普燈兩錄ニ所載ノ事也彼所集ノ心地ハ六塵ノ妄ヲ止メレハ息慮凝寂坦然トシテ還源返本スル也ト云ヘリ此心地ヲ被嫌也佛祖ノ坐禪非爾實ニモ錄ハ俗ノ錄スル也然者錄モ強不可決定事歟坐禪箴ハ大宋國慶元府太白名山天童景德寺宏智禪師正覺和尚ノ撰セルノミ佛祖ナリ己下如文只宏智ノ坐禪箴ヲ被讚嘆ナリ、

イハユル坐禪箴ノ箴ハ大用現前也聲色向上ノ威儀也父母未生前ノ節目也莫謗佛祖好也未免喪身失命也頭長三尺頸長二寸也

坐禪箴ノ箴ノ心地ハ如右註用ト云ハ水鉢ヲ置テアタ、カナルハ用也ト云フ今ノ用非爾今ノ用ハ以坐禪爲用故大用現前ト云也聲色向上ノ威儀ト云ヘハトテ聲色ノ上ニ又別ノ非キアルヘシト云ハスヤカテ聲色ヲ以テ向上ノ非キトトルヘシ父母未生前ノ節目ト云ハ歪生ノ姿是也則今ノ坐禪ノ姿父母未生前ナルヘシ莫謗佛祖好モ坐禪ノ姿ヲ指ナリ未免喪身失命今ノ坐禪コソ喪身失命ナレ頭長三尺頸長二寸ナムト云ヘハサル異形ナルモノ、アラムスル様ニ聞ユ非其儀今ノ坐禪ノ上ノ頭長何程ナルヘキノ三尺二寸ノ詞非尺寸無縫塔ノ高サ七尺八尺トイヒ世界ノヒロサ一丈ナムトイヒシ程ノ丈尺ナリ凡見ノ寸尺ニ不拘尺寸道理ナリ、

佛佛要機 佛々ハカナラス佛々ヲ要機トセルソノ要機現成セリ是坐禪也、
 機ハ可發ノ義也ト云機ト云ハ佛ニ成ヘキ機ヲ置テ此機萬行萬善ヲ修スレハ成佛ス
 ト心得也祖門ニ機ヲ談スルニハヤカテ以佛爲機也故佛佛ハ佛々ヲ要機トセリトハ
 アル也其要機又坐禪ナリト云也、
 祖々機要 先師無此語也此道理是祖々也法傳衣傳アリ、
 三世諸佛六代祖師不云詞アリトテ如三世諸佛說法之儀式我今亦如是說無分別法ト
 先師被仰此文正シキ經文也今御詞大不審ニ聞ユ然而先師被出此詞時ハ三世諸佛六
 代祖師等皆先師ニ藏身スユヘニ此道理アリ以此謂先師無此語ト被云也先師祖師等
 ノ詞モ道理ノヒク所ニテコソ此道理ハ被云トモ今宏智ノ此詞イテクル時ハ先師
 無此語ノ道理現前スル也法傳衣傳アリト云云先師無此語ノ道理ニ同也、
 凡回頭換面ノ面而コレ佛々要機也換面回頭ノ頭々是祖々機要也、
 是ハ回頭換面換面回頭只同事也打チカヘタル許也佛佛要機祖々機要ハ只回頭換面
 換面回頭程ノ理也ト云也只同事也、
 不觸事而知 知ハ覺知ニアラス覺知ハ小量也了知ノ知ニアラス了知ハ造作也カルカ
 ユヘニ知ハ不觸事也不觸事ハ知也……

知ト云事打任ハ世間ニハ能知所知ヲ置テ是ヲ談ス境ヲ不置シテ知ト云事ハ不被談
 也今ノ不觸事而知ノ知ハ非爾ユヘニ知ハ覺知ニアラス覺知ハ小量也了知ノ知ニ非
 ス了知ハ造作也ト被嫌也今ノ知ハ不觸事ヲ以テ知ト談スユヘニ不觸事ハ知也ト被
 釋也遍知ト不可度量自知ト不可度量ト是ヲ被制也、
 ソノ不觸事ト云ハ明頭來明頭打暗頭來暗頭打也坐破孃生皮ナリ、
 此詞ハ普化禪師ト云シ人此文ヲ誦シテ鈴ヲフリテアリキシ也其詞也此文ノ心地ハ
 明ノ時ハ法界悉明暗ノ時ハ法界悉暗也ト云也此法文ノ所談一切皆此道理ナルヘシ
 坐破孃生皮ノ心地ハ母ノ生タル皮ヲ破トナリ今ノ坐禪ノ姿坐破孃生皮ノ道理也父
 母未生前ナムト云詞同心也、
 不對緣而照 コノ照ハ照了ノ照ニアラス靈照ニアラス不對緣ヲ照トス照ノ緣ト化セ
 サルアリ緣コレ照ナルカユヘニ、
 此照又能照所照ト談一物ヲモ不置シテ照スト云事難談ユヘニ照了ノ照ニアラス靈
 照ニアラスト被嫌靈照ナムト云ヘハ神變ナムトニテ照ス様ナル事モアリヌヘケレ
 トモイカニモ談セヨ今ノ照ノキニハニルヘカラス今ノ照ハ不對緣ヲ以テ照ト談ス
 ル也緣コレ照ナルカユヘニ照ノ緣ト化セサル有トハ被釋也、

不對ト云ハ遍界不會藏ナリ破界不出頭ナリ微ナリ妙也回互不回互也

遍界不會藏ノ道理不對也破界不出頭マコトニモ謂アリ破界ノ上何ノ出頭スル物カ
アラム微也妙也トハ微妙ノ言也遍界不會藏ノスカタカ如此イハル、ナリ回互不回
互モ同心ナルヘシ是能所ナリ解脱ノ上ミツカハル、詞ナリ

其知自微會無分別之思、思ノ知ナルカナラスシモ他力ヲカラス其知ハ形ナリ形ハ山
河也此山河ハ微ナリ此微ハ妙ナリ使用スルニ活鱖々ナリ

此詞ハ會無分別ノ思ナキ心地ヲ知トスルソト心得テ分別ノ思ト云ヘハ嫌ヘキ詞ナ
シト云ヘハ此思ヲソキタルヨキ知ト心得ヌヘシ非爾思ノ知ナル必シモ他力ヲカ
ラスト云フ分別ノ思ヲ知ト談スル上ハ取捨ノ詞ニ非サル條顯然也此思知ナル道理
ノ上ハ又他力ヲカルヘカラサル條勿論也此知ノ形ハ山河ナリトアリ山河ヲ以テ今
ハ知ト談ス佛性ノ草子ニモ一山河大地二山河大地ヲ以テ佛性ト談セシカハ此知ノ
形ノ山河ナリトアル初テ非可驚此山河ハ微ナリ微ハ妙也トアリ如文使用スルニ活
鱖々也トアルハ使用トハ此道理ヲツカウニト云フ道理ナリ使用スル時ハ活鱖々也
ト云フ活鱖々トハイキタル心地解脱ノ心地也イツクマテモトヲリタル心地也
龍ヲ作スルニ禹門ノ内外ニカハハレスイマノ一知ヲツカニ使用スルハ盡界山河ヲ拈

來シ盡力シテ知スルナリ……

蛇ハ禹門ニ登テウツル時必蝮トナル也ノホリハツシツレハ龍トハナラスシテ死ス
ルナリ今ノ坐禪ハ蝮ナル時モ坐禪龍ナル時モ坐禪禹門ニ登時モ不登時モ皆共坐禪
也ユヘニ禹門ノ内外ニカハハレストハアルナリ今ノ一知ヲ使用スルハ盡界山河ヲ
拈來シ盡力シテ知スル也トハ所詮盡界山河ヲ以テ知ト談スルト云心地也山河ノ親
切ニ我知ナクハ一知半解不可有トハ山河ヲ以テ知ト談スル間此道理カ山河ノ親切
トハ云ハル、也我ト云フ我ハ山河也知也此外ハ一知半解不可有也

分別思量ノヲソク來到スルト不可歎已會分別ナル佛々ステニ現成シキタレリ會無ハ
已會ナリ已會ハ現成也シカアレハ則會無分別ハ不逢一人ナリ

是ハ知ノ外ニ一知半解不可有ト上ニハ云フ然而此上ハ分別思量ハアルマシキカト
覺ユル所ヲ分別思量ハナトナカルヘキノナレハ尤分別思量有ヘキ也其分別思量ハ
イカナルソト云ヘハ已會分別ナル佛々ステニ現成シキタレリトアリ已會分別トハ
今始テイテキタル義ニ非ス無始無終ナムト云心地也所詮以佛々已會分別トハ云也
會無ト云ヘハ無ノ詞カト聞ユルヲ會無ハ已會也トアリ現成ノ詞也會無分別ハ不逢
一人トハ會無分別ノ外又マシハル物ナキ所ヲ不逢一人トハ云也

其照自妙會無毫忽之兆 毫忽ト云ハ盡界也シカアルニ自妙也自照也コノユヘニイマ
タ將來セサルカ如シ、

毫忽ト云ハワツガノ少分ノコトニ思習ハシタリ、毛端ナムト云テ、スクナキ事ニ思ナ
ラハシタルヲ、今ハ毫忽トハ盡界也トアリ、大ニ舊見ニ相違ス自妙也自照也トアリ、此
照イツクヨリイカニ來レリト云事ナシ、ユヘニ將來セサルカ如シト云也、

目ヲアヤシム事ナカレ耳ヲ不可信直須旨外明宗莫向言中取則ナルハ照也、……

是ハ所詮我カ目ヲ用耳ヲ信スヘカラスト被嫌詞也、クニモ此坐禪所談ノ前、今ノ照
ノ道理ノ上ニ爭我等カ六根六境ヲ用ル事アラム、此直須旨外明宗莫向言中取則ナル
ハ、照也トアリ、莫向言中取則ノ詞、被嫌タルニ似タリ、只旨外明宗モ、莫向言中取則モ、皆
照ノ道理也トトルヘキ也、此道理カ無偶ナリ、無取也、奇也ト住持シキタリ、了也ト保任
シキタルトハ云ナリ、

我都疑著ナリト云フ、

此疑著ノ詞、ウタカフニアラス、什麼物恁麼來ノ疑著ナルヘシ、說似一切即不中ノ道理
ナルヘシ坐禪トヤイハム坐佛トヤイハム思量トヤイハム非思量トヤ云ハム佛性ト
ヤ云ハム蚯蚓トヤイハムノ疑著ナルヘシ此下ニハ坐禪ニモ坐佛ニモ思量ニモ非思

量ニモ佛性ニモ蚯蚓ニモ皆アタルヘシユヘニウケラルル詞トコ、ロウヘシ我々カ
物ヲ置キテ是非取捨スル非疑著直須旨外明宗莫向言中取則ハ古キ詞也

水清徹底兮魚行遲々、水清ト云ハ空ニカ、レル水ハ清水ニ不徹底也イハムヤ器界ニ
泓澄(水ノ深キ也)スル清水ノ水ニアラス邊際ニ涯岸ナキ是ヲ徹底ノ清水トス魚モシ

コノ水ヲ行ハ行ナキニアラス行ハイク萬程トナクススムト云ヘトモ不測ナリ、……

如文可心得、打任テ日來我々カ心得ツル水ヲ、水清ノ不徹底トハ不可心得、ソノ徹底ノ

清水トハイカニアルヘキソト云ヘハ、邊際涯岸ナキヲ清水ノ徹底ト云ヘシ、魚ノ水ヲ

行ハ、マコトニ行ナキニハアラスタ、シコノ行イク萬程ナクス、ムト云ヘトモ不測

ナリ不窮ナリ、ハカルキシナシ、ウカフソラナシ、シツム底ナキカユヘニ、測度スルタレ

ナシ測度ヲ論セムトスレハ、徹底ノ清水ノミナリトアリ、是則水與魚一跡ナル心地也、

皆文ニ聞エタリ、故坐禪ノ功德彼魚行ノ如シト云ナリ、

徹底ノ行程ハ、舉體ノ不行鳥道也、

徹底ノ行底ヲ云ハ、舉體ノ不行ト云ヌヘシ、コノ行ハ不行ノ道理アリ、舉體ハ全體ノ

儀也行程ノ不行ハ會不會程ノ心ナリ、鳥道ハ無跡ナリ、解脱ノ心地ニ仕ナリ、

空澗莫涯兮鳥飛杳杳 空澗ト云ハ天ニカカレルニアラス、……

如文是又凡見ノ空濶ノ見ヲキラウ心地ナリ此坐禪箴ノ空濶トハ隱顯ニ表裏ナキ足
ヲ空濶ト云トアリソノ理分明也

鳥モシコノ空ヲトフハ飛空ノ一法也飛空ノ行履ハカルヘキニアラス飛空ハ盡界也盡
界飛空ナルカユヘニコノ飛イクソハクソト云事シラストイヘトモト度ノ外ノ道取ヲ
道取スル者々ト道取スル也

鳥與空ノアハヒサキノ水ト魚トノ如ク可心得鳥ノ空ヲ飛ハ飛空ノ一法ナリコノ飛
空ノ行履ハカリシルヘキニアラス飛空ハ盡界ナリ盡界飛空ナルカ故ニ此飛空イク
ソハクソト云事ヲシラスト云ヘトモト度ノ外ノ道取ヲ道取スルニ者々ト道取スル
トハ只ヨノツチニ遠トモ遙也トモナムト云ヘハ尋常ノト度ニニタリ此我我カ思慮
分別ト度ノ外ノ道取ヲモチテ道取スルニ者々ト道取スル也トハ只打任テ邊際ナキ
ナト云道理ヲ超越シタル者々ナルヘシ故ニ如此云也
直須足下無絲去也

是ハ解脱ノ詞ニ仕ナリ

空ノ飛去スルトキ鳥モ飛去スル也鳥ノ飛去スルニ空モ飛去スル也

此詞ニテ飛去ノ道理モ空鳥ノ道理モ能々可心得空ノ飛去スルトハ此飛去ヲ空トイ

フ鳥ノ飛去トハ此飛去ヲ鳥ト云フ此道理ニテ鳥ノ飛去スルニ空モ飛去スル也トハ
云ナリ

飛去ヲ參究スル道取ニ云只在這裏ナリコレ兀々地ノ箴ナリ……

飛去トハコヨリカシコヘトヒカシコヨリコヘ去ヲ云フ此飛去ノ道理ハ只在這
裏也只在這裏トハタコノウチニアリト也飛去トモイヒ盡界也飛空トモ云ヘ只々
在這裏ノ道理也只在這裏ト云ヘハトテ又只我々カ思カ如クナル此裏ナムトトハ不
心得盡十方界只在這裏也故ニイク萬程カ只在這裏ヲキホヒイフトアリ如文可心得
宏智禪師ノ坐禪箴如此……

是ヨリ以下ノ文宏智禪師ヲ讚嘆セラル御詞也無殊子細如文可心得此宏智禪師ハ
洞山ノシタ也此宏智坐禪箴ハ紹興二十七年十月八日コレヲ被撰今先師コノ坐禪箴
ヲミテ被撰坐禪箴ハ仁治三年壬寅三月十八日也其前後ノ年記八十五年トアリ●先
師ノ坐禪箴ヲ與ニ被書文字少々宏智ノ坐禪箴ト相替許也其理是同仍不及問答畧之
凡佛禪ノ一大事尤坐禪ヲ勵イトナムヘキ事也

▲坐禪箴箴ト云ハ則ナリ坐禪ノ様也坐禪箴ハ父母未生ノ節目也ヤカテ今ノ坐禪ヲ
サスナリ▲父母未生前ト云ハ佛向上ノ儀也下ニ對スル上ニ非ス父母所生ニ對シタ